4-663-964-**01**(1)

必ずお読みください	17
接続する/準備する	29
コンピュータの基本操作	77
カスタマー登録する/ インターネットに接続する	89
本機の使いかたが わからないときに	151
困ったときは	159
接続/拡張するときは	209
その他	257

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

▲警告 電気製品は安全のための注意事項を守らない と、火災や人身事故になることがあります。 この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項 と製品の取り扱いかたを示しています。 この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使 いください。

S400 パーソナルコンピューター PCV-RX76/RX66/RX56



<u>小警告</u> 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電な どにより人身事故につながることがあり危険です。事故を 防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の 注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに VAIO カスタマーリンク修理窓口、または販売店に修 理をご依頼ください。

万一異常が起きたら



データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録 内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を 負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品で は、次のような表示をして います。表示の内容をよく 理解してから本文をお読 みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守 らないと、火災・感電など により死亡や大けがなど の人身事故につながるこ とがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守 らないと、感電やその他の 事故によりけがをしたり 周辺の物品に損害を与え たりすることがあります。



アース線の接続について

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をは ずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置が ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに 基づく表示)

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合のDVD-RWドライ ブ(PCV-RX76/RX66/RX56)、DVD-ROMドライブ(PCV-RX76)が搭載されています。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を 損なうことは禁じられています。

コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際 は、他国のモードを使用すると電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。 工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本 製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準 を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネ ルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効 率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の 自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコン ピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それ ぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。



緩衝材に段ボールを使用しています。

ϔ 本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部 を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者 からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご 容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する 場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著 作権法を遵守してください。

著作権保護の信号が記録されているソフトウェアおよび放送は録画できません。

マニュアルについて

コンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ず本書からお読みくださ い。読み終わったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。 以下に、本機に付属しているマニュアルを簡単に紹介します。 なお、下記のほかにもマニュアル類が付属している場合があります。

本機に付属しているマニュアル

取扱説明書(本書)	「必ずお読みください」(18ページ)からご覧ください。 「必ずお読みください」、「接続する/準備する」、「コンピュータ の基本操作」、「カスタマー登録する/インターネットに接続す る」、「本機の使いかたがわからないときに」、「困ったときは」、 「接続/拡張するときは」、「その他」
「Giga Pocket」取扱説明書	本機でテレビを楽しむためのソフトウェア「Giga Pocket」の使い かたを説明しています。
VAIOサービス・サポートのご案内	トラブルが発生したときの対処方法、お問い合わせ先、サービ ス・サポートの内容

画面で見るマニュアル

「サイバーサポート (CyberSupport)」	VAIOの使いかたや楽しみ キーワードで内容を検索す 詳しくは「「サイバーサポー ください。	かたを説明する電子マニュアルです。 することもできます。使いかたについて -ト」の使いかた」(152ページ)をご覧
3 Marc 1/2 Challenges 3 In 1909 Minute Bound Totales	「見る Windows	Windowsの基本操作
	インターネット	インターネットへの接続など
Cyber/Support Indodestablished Roles A. Let Cyber/Support Indodestablished Roles A. Let Indodestablished Roles A. Let <	(VAIO の使いかた	音楽 CDや DVDビデオを再生する方 法、ディスクに音楽やデータを記録 する方法、本機を拡張する方法、各種 設定の方法など
()))))))))))))))))))))))))))))))))))))	VAIO の楽しみかた	付属ソフトウェアの紹介
	困ったときは	トラブルの対処方法
	(サービス/サポート)	サービス/サポート情報
	用語集	用語の説明
ヘルプとサポートセンター	Windowsの操作方法/サポートについての情報、検索。 詳しくは、「「ヘルプとサポートセンター」について」(65ページ) をご覧ください。	
ソフトウェアのヘルプ	多くのソフトウェアには^ アの使いかたは、各ソフト	ヽルプが付属されています。ソフトウェ ウェアのヘルプをご覧ください。



安全のために	2
マニュアルについて	5
警告·注意	8

必ずお読みください

必すお読みくたさい

接続する/準備する

こんなことができます	30
操作の流れ	32
付属品を確かめる	34
各部のなまえ	
設置する	
接続する/準備する	44
1 ディスプレイを接続する	
3 キーボードとマウスを接続する	
4 電話回線に接続する	
5 リモコン用受光ユニットを接続する	
6 リモコンを準備する	
7 アンテナを接続する	
8 本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!	
(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーを接続する	
9 電源コードを接続する	59
電源を入れる	60
Windowsを準備する	61
複数ユーザーで使用する	64
「ヘルプとサポートセンター」について	65
テレビを見る準備をする	66
電源を切る	73
	-

コンピュータの基本操作

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき	78
マウスの操作	80
ウィンドウやファイルの操作	82
文字の入力	86

カスタマー登録する/インターネットに接続する

90
101
106

本機の使いかたがわからないときに

「サイバーサポート」の使いかた	152
-----------------	-----

困ったときは

わからないことやトラブルを解決する	160
主なトラブルとその解決方法	162

接続/拡張するときは

i.LINK対応機器をつなぐ	210
AV機器をつなぐ	216
プリンタをつなぐ	220
USB機器をつなぐ	221
ネットワーク(LAN)につなぐ	223
AVアンプなどのデジタル機器をつなぐ(PCV-RX76/RX66のみ)	224
PCカードを使う	225
拡張ボードを増設する	229
メモリを増設する	236
ハードディスクドライブを増設する	245
その他のデバイスを増設する(PCV-RX66/RX56のみ)	251

その他

動画系ソフトウェアの操作の流れ	258
コンピュータウイルスについて	260
リカバリディスクで本機を再セットアップする	262
パーティションサイズを変更する	270
使用上のご注意	274
お手入れ	278
保証書とアフターサービス	280
付属ソフトウェアのお問い合わせ先	281
主な仕様	288
索引	290

下記の注意事項を守らないと**火災・感電** などにより**死亡**や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

警告

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となること があります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- •電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修 理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがありま す。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電 源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク 修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。





むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード(基板)を取り付けたりメモリを増設 する場合など、コンピュータの内部を開ける必要がある ときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機 器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板 などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業 してください。また、指定されている部分以外には触れ ないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、 火災や感電の原因となることがあります。



雷が鳴り出したらテレホンコードや電源プラグに触らない

感電の原因になります。



本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。 海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原 因となることがあります。



内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデ ジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、 モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因 となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回 線などには、絶対に接続しないでください。



╬NETWORK(ネットワーク)コネクタに指定以外のネットワークや電話 回線を接続しない

本機の**いETWORK**(ネットワーク)コネクタに下記の ネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上 の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、 ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続 しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- •PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など





下記の注意事項を守らないと、 健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、 目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。 ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを 感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してくだ さい。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医 師の診察を受けてください。



キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、 腕や手首が痛くなったりすることがあります。 キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や 痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息し てください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないと きは医師の診察を受けてください。



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞く と、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッド ホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事 ができるくらいの音量で聞きましょう。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の **物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因と なることがあります。

接続の際は電源を切る

注意

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続 する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜 いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがありま す。アース線を取り付けることができない場合は、販売店 にご相談ください。









通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因 となることがあります。風通しを良くするために次の項 目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れた り落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、 設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定 した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分 に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを 崩すと落下によりけがの原因となることがあります。ま た、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意く ださい。

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となるこ とがあります。







お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因とな ることがあります。

移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電 の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでくだ さい。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の 原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してく ださい。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。







スラグをコン セントから抜く

|

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につく と、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがありま す。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時 間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水な どのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受 けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で 十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状が あるときは、医師に相談してください。



電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となる ことがあります。 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



C

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



16

注意

市販のアルカリまたはマンガン電池(単三型)以外の電池をリモコンに使 わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わな い

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりし て、けがややけどの原因となることがあります。

+と-の向きを正しく入れる

+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂を したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となるこ とがあります。 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、 けがややけどの原因となることがあります。





指示



必ずお読みください

この章では、本機をお使いになる際の重要な情報について 説明していますので、必ずお読みください。

必ずお読みください

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

• CD再生/録音についてのご注意19ペーシ	Ĭ
• DVDを作成するときのご注意19ペーシ	Ĭ
• DVDを再生するときのご注意19ペーシ	Ĭ
• 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意19ペーシ	Ĭ
 テレビでDVDビデオをご覧になるときのご注意	Ĭ
• DVD-RWドライブおよびDVD-ROMドライブ(PCV-RX76のみ)の 地域番号(リージョンコード)書き換えについて	Ĭ
•「DVDit! for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意	Ĭ
•「Simple DVD Maker」ソフトウェア をお使いになるときのご注意22ページ	Ĭ
•「RecordNow DX」ソフトウェアをお使いになるときのご注意	Ĭ
• 画面の解像度などの設定を変更するときのご注意	Ĭ
•「Giga Pocket」ソフトウェアが起動できないときは25ページ	Ĭ
 AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)または BSデジタルチューナーの映像を本機で録画する際のご注意 	ž
•「PicoPlayer」ソフトウェアを他のVAIOでお使いになるときのご注意25ペーシ	Ĭ
 本機へアナログ入力するときのご注意	Ĭ
• モデム設定のご注意	Ĭ
• 省電力機能について	Ĭ

CD再生/録音についてのご注意

本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しない「コピー防止機構入りCD」などのディスクについては、動作や音質を保証できません。

CDを再生および録音する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

DVDを作成するときのご注意

- DVD-R/RW には、DVD ビデオフォーマットでの記録が可能です。
 ビデオレコーディング規格での記録、再生には対応していません。
- DVD-RW ディスクを使って DVD を作った場合、DVD-RW に対応していない DVD プレーヤーで は再生できません。

DVDを再生するときのご注意

- 本機では、ソフトウェアを用いて DVD を再生しています。このため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU、メモリなどのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちしたりすることがあります。また、ディスクによっては、再生そのものに不具合があるものも確認されています。
- 本機で DVD を再生するときは、「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアなど、映像 を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- DVD ビデオや動画系ファイルを再生しているときに、画面の解像度や色数を変更しないでください。動画が正しく再生できなかったり、システムが不安定になることがあります。 また、DVD ビデオを再生するときには、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVD ビデオの再生中にスクリーンセーバーが起動し、 正しく再生できなくなります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。
- 「PC Friendly」のロゴの入った DVD ビデオを本機のディスクドライブに挿入すると、「PC Friendly」のインストールをすすめるダイアログが表示されますが、本機に「PC Friendly」をイン ストールしないでください。本機に「PC Friendly」をインストールした結果生じた不具合につい ては、保障期間内でも有償修理とさせていただきます。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

- エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「PowerDVD XP for VAIO」ソフト ウェアを起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエ クスプローラを終了してから、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動してください。
- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の ジ(iPower!)をクリックすると、再生ウィンドウ上に「ReadMe」が表示されます。しかし、初めて「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの ジ(iPower!)をクリックするユーザーの権限が「制限付きアカウント」の場合、再生ウィンドウが黒くなり、「ReadMe」が正常に表示されません。この場合、いったん「コンピュータの管理者」 権限でログオンし直してから、ジ(iPower!)をクリックしてください。それ以降は、「制限付きアカウント」権限のユーザーが ジ(iPower!)をクリックしても、「ReadMe」が正常に表示されます。

テレビでDVDビデオをご覧になるときのご注意

本機で再生するDVDビデオをテレビでご覧になるときは、接続するテレビに応じて、アスペクト比の設定、またはDVDビデオのワイド画像を再生するときの画面設定を行ってください。 16:9(ワイドモード):ワイドモードがあるテレビでご覧になるとき

4:3(ノーマルモード):通常のテレビでワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき 16:9 ワイドモード 4:3 ノーマルモード





本機に付属の「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアで画面設定を行うときは、以下の手順に従って操作してください。

- デスクトップ画面左下の タクト をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[CyberLink PowerDVD]、[PowerDVD XP for VAIO]の順にクリックする。
 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動します。
- 2 🔨 (設定)をクリックする。



ここをクリックする。

「設定」画面が表示されます。

- **3** [TV出力]タブをクリックする。 「TV出力」画面が表示されます。
- 4 [映像]の[ソニーMPEG-2エンコーダーボード]の○をクリックして●にする。



「TVタイプ」が選択できるようになります。

- 5 接続するテレビに応じて、[4:3 ノーマルモード]または[16:9 ワイドモード]の○をクリックして●にする。
- **6** OK をクリックする。

本機のビデオ出力は、ID-1方式に対応しています。ID-1方式に対応したテレビでオートワイドの設定をすると自動的に対応した画面モードになります。詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

DVD-RWドライブおよびDVD-ROMドライブ(PCV-RX76のみ)の地域番号 (リージョンコード)書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号(リージョンコード)は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアとは

「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアで作成したMPEGファイルをDVD-RW/ DVD-R/CD-RW/CD-RにDVDビデオフォーマットで書き込みを行うソフトウェアです。

作成した DVD-RW / DVD-Rのディスクは、DVD ビデオディスクを再生できる VAIO や DVD プレー ヤーの一部で再生することができます*。作成した CD-RW / CD-Rのディスクは、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使って再生することができます。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのヘ ルプや電子マニュアルをご覧ください。

を存在していた。 「再生できる VAIO および DVD プレーヤーについて詳しくは、 VAIO カスタマーリンクのホームページ (http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを起動するには

デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[DVDit! for VAIO]、[DVDit! for VAIO]の順にクリックしてください。

ご注意

- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェア使用中は、ユーザー切り替え(ファーストユーザースイッチ)をしないでく ださい。データの書き込みに失敗することがあります。
 ユーザー切り替えは「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを終了してから行ってください。
- 「ビルド」メニューの「DVDディスクの作成」を選ぶと表示される「DVDディスクの作成」画面で、「オプション」の「ディスクのテストと作成」を選んでDVDディスクの作成を実行すると、ディスクのテストが終わった後に、「書き込みを行いますので、イジェクトされたディスクを再度挿入してください。[OK]をクリックして継続してください。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてもこのメッセージは表示されますので、メッセージが表示されなくなるまで何度か[OK]ボタンをクリックしてください。
- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアは、制限ユーザーでは使うことができません。管理者権限のあるユーザーで お使いください。

プロジェクト設定を行うときのご注意

「ファイル」メニューの「プロジェクト設定」を選ぶと表示される「Project Settings」画面で、「プロ ジェクト」タブの「ディスク名」は、必ずアルファベットでタイトルを入力してください。日本語の タイトルで入力すると、文字が正しく表示されません。



著作権について

このソフトウェアで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者には無断で 使用できません。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製 すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのお問い合わせ先

三信電気株式会社 DVDit! サポートセンター
 電話番号:(03)5232-5065
 受付時間:10時~12時、13時~17時、月曜日~金曜日(祝日、年末年始を除く)
 電子メール:DVD-IT@sanshin.co.jp
 ホームページ:http://jp.dvdit.com/dvdit/

「Simple DVD Maker」ソフトウェア をお使いになるときのご注意

- 処理をキャンセルしたり、エラーが出て処理を中断したときに、「Simple DVD Maker」ソフト ウェアを終了することなく、DVD を作るために再び[Make Disc]ボタンを押すと、「ディスクの 作業領域に、消去できないフォルダがありました。」という画面が表示されることがあります。この場合は、いったん「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了して再度操作を行ってください。
- DVD 作成後、できあがった DVD の内容を確認したり、再生するためには、「Simple DVD Maker」 ソフトウェアを終了させてください。
- DV 機器からの取り込み中に、DV 機器の停止ボタンを押すとエラーになります。取り込み中は停止ボタンを押さないようにしてください。
- 乱れた状態の画像(地上波の放送がないときの砂嵐のような画像)を含んだビデオカプセルをド ラッグアンドドロップして DVD を作成しようとするとエラーになることがあります。その場合 は、プレイリストビルダーで問題の箇所を含まないようにカットを作成して、そのプレイリスト をドラッグアンドドロップするようにしてください。

「RecordNow DX」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

データを記録できるディスクについてのご注意

記録できるディスクについて詳しくは、VAIOマニュアル「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの 使いかた]をクリックし、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[使用できるディスク]を ご覧ください。

「RecordNow DX」ソフトウェアを使うときのご注意

「RecordNow DX」ソフトウェアとは

オリジナルのDVD-ROMやCDが手軽に作成できるソフトウェアです。

データを記録(書き込み)してデータDVDやデータCDを作成したり、音楽データを集めて自分だけ の音楽CDを作ったり、オリジナルのDVD-ROMやCDのバックアップを作成することができます。 「RecordNow DX」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「RecordNow DX」ソフトウェアの ヘルプや電子マニュアルをご覧ください。

「RecordNow DX」ソフトウェアを起動するには

デスクトップ画面左下の 22 スタート をクリックして、 [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、 [VERITAS Software]、 [RecordNow DX]、 [RecordNow DX]の順にクリックしてください。

ご注意

- •「RecordNow DX」ソフトウェアを使用するには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでロ グオンしている必要があります。
- DVD-RW/DVD-Rには、コンピュータ用のデータのみ書き込むことができます。
- DVD-Rにディスク・アット・ワンスで書き込む場合、最低限1Gバイト(1倍速で約12分)まで書き込む必要 があります。お客様が書き込むデータの容量が1Gバイト以下の場合、本機では合計で1Gバイトまでダ ミーの書き込みを行います。これは、規格上、再生互換性を保つためです。 そのため、DVD-RW/DVD-Rに書き込むときに、1Gバイト未満の容量のデータを書き込んだ場合、お客様 のデータの書き込みが終了していても、ダミーのデータ書き込み処理完了までさらに20分~40分かかる ことがありますが、故障ではありません。この場合、プログレスバーは100%を示したままで変化はありま せんが、そのままお待ちください。
- データの書き込み処理を途中で中断すると、中断の処理が完了するまでしばらく時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。
- データを書き込むときは、書き込みデータ容量の1割増程度のハードディスクの空き容量が必要となります。データを書き込む前に、必ず、ハードディスクに充分な空き容量があることを確認してください。例えば、4.3Gバイトのデータ(4,617,089,843バイト)を書き込む場合は、ハードディスクには約4.7Gバイトの空き容量が必要になります。
- お買い上げ時は、「RecordNow DX」ソフトウェアの作業領域は、DドライブのImageフォルダ(D:¥Image) に設定されています。また、Dドライブは、NTFSでフォーマットされておりますので、このままでお使いく ださい。
- 複製不可の設定がされた DVD-ROMや DVD ビデオは、バックアップを作成することはできません。
- データを書き込む前に、「RecordNow DX」以外のソフトウェアはすべて終了してください。また、スクリーンセーバーや、「Giga Pocket」ソフトウェアの録画予約などを設定している場合は、データの書き込み中は 起動しないように設定を解除しておいてください。
- 「RecordNow DX」ソフトウェア使用中は、ユーザー切り替え(ファーストユーザースイッチ)をしないでく ださい。データの書き込みに失敗することがあります。
 ユーザー切り替えは「RecordNow DX」ソフトウェアを終了してから行ってください。

- データの書き込み中は、以下の点にご注意ください。
 - 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入/切しない。
 - 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本 機やUSB対応機器の電源を入/切しない。
 - インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしない。
 - 他のソフトウェアを起動しない。
- 書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切の責任を負いか ねますので、あらかじめご了承ください。

🍟 ちょっと一言

- DVD-RW/DVD-Rにデータを書き込む場合は、「ディスク・アット・ワンス」となりますので、ディスクへの 追記(追加書き込み)はできません。少量のデータを書き込むよりも、データを集めて容量をまとめてから書 き込んだ方が、ディスクを効率よく使用することができます。1枚のディスクに記録できるデータの容量は 4.3Gバイトまでです。
- CD-RW/CD-Rにデータを記録する場合は、「ディスク・アット・ワンス」のほかに、「トラック・アット・ワンス」でデータの区切り(トラック)ごとに分けて書き込みをしたり、追加で書き込みをしたりすることができます。

著作権について

本ソフトウェアは、各種 CD 及び DVD を作成するために必要な機能を搭載したソフトウェアです。本ソフト ウェアを使用すると市販されている各種 CDや DVD と同等のものを作成することができます。ただし、テレビ 放送(地上波、衛星放送、CATV等)や市販の CD、DVD 及びビデオなど著作物はすべて、著作者に無断で複製、 改変、再配布の行為を行うことはできません。例えば、他人の著作権を収録した CDの複製物を他人に譲渡し たり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載(改変して掲載する場合を含む)するなどの 行為を行うと、著作権法に違反しますのでご注意ください。著作権法では、個人で「私的」に楽しむという利用 目的に限定するという条件つきで、これらに含まれる音声や映像を複製することを認めています。これらの行 為を行う場合は、著作権法を守り、私的利用目的の範囲内から逸脱した使用にならないように注意してお楽し みください。私的利用目的から逸脱した使用は、法的に罰せられることがあります。また、市販の各種ソフト ウェアや民生用ゲーム機用の CDや DVD などでは、「ソフトウェア使用許諾条項」により複製などの行為を認 めていない場合があります。ソフトウェア使用許諾条項に違反した使用は、多くの場合、ソフトウェアライセ ンスの失効を意味しています。これらの CDや DVDの複製を行う場合は、必ず、使用許諾条項をよくお読みに なり、これに違反しない範囲でお使いください。

「RecordNow DX」ソフトウェアのお問い合わせ先

ESJカスタマーセンター 電話番号:(03)5643-8724 受付時間:10時~17時30分(土・日・祝日除く) ファックス番号:(03)5643-8737 ホームページ:http://www.easy.co.jp/jrndx/sony/

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアを起動すると、正常に表示 されない場合や、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示してい る他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のア プリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があり ます。」というメッセージが表示され、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソ フトウェアが起動しないことがあります。他のソフトウェアを起動していないのにこのメッセージ が表示される場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻して から「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動してください。

ϔ ちょっと一言

VAIOマニュアル「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]→ [ディスプレイの設定を変更する]→[ディスプレイ(画面)の設定を変える]をクリックして表示される各項 目の情報をご覧ください。

「Giga Pocket」ソフトウェアが起動できないときは

エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「Giga Pocket」ソフトウェアが起 動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプロー ラを終了してから、「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタル チューナーの映像を本機で録画する際のご注意

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像 を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ]の[スクリーンセーバー]タブにある「パスワード による保護」または「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでく ださい。

また、3D表示を行うスクリーンセーバーはご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。

スクリーンセーバーについて詳しくは、「サイバーサポート」の「VAOの使いかた」→「設定を変更する」→「ディスプレイの設定を変更する」→「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」をクリッ クして表示される情報をご覧ください。

「PicoPlayer」ソフトウェアを他のVAIOでお使いになるときのご注意

DVD-ROMドライブを搭載したVAIOの場合でも、一部の機種では高画質または標準のビデオカプ セルが再生できません。長時間モードのビデオカプセルに変換して再生してください。

本機へアナログ入力するときのご注意

「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタ から静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失 敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面の VIDEO 1 INPUT コネクタまたは、本機前面の VIDEO 2 INPUT コネクタにつないだ ケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした 部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わった とき

モデム設定のご注意

本機では、モデムの「コンピュータのスタンバイ状態」を解除する機能に対応しておりませんので、 モデム設定の「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」を変更し ないでください。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

	スタンバイモード	休止状態		
本機の電源ラ ンプ	オレンジ色に点灯	消灯		
ディスプレイ の電源ランプ*	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯		
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、CPU の電源を切ります。席をはずすなどして、 しばらく作業を中断するときに便利です。 最低限必要なデバイス以外の電源を切る ため、消費電力を節約することができま す。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部の ファンは停止します。現在作業中の状態を ハードディスクに保存して、本機の電源を 切ります。2~3日、本機を使わないような ときに便利です。		
各モードに入 るには	 キーボードの((スタンバイ)キーを押す。 デスクトップ画面左下の アスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[終了オプション]をクリックすると表示される 「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 付属のリモコンのテレビ/VAIO切換スイッチを「VAIO」に設定し、電源/スタンバイボタンを押す。 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」 でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合(お買い上げ時の設定)) 	 デスクトップ画面左下の エタート をクリックし、[終了オプ ション]をクリックすると表示される 「コンピュータの電源を切る」画面で Shift(シフト)キーを押しながら[休止状 態]をクリックする。 本機前面の心(電源)ボタンを押す。 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マ ネージャー」アイコンを右クリックして 表示されるメニューから[Windowsのス タンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」 でシャットダウンモードが「休止状態」 に設定されている場合) 		
通常の動作 モードに戻す には	 キーボードのスペースキーまたは本機 前面の(電源)ボタンを押す。 付属のリモコンのテレビ/VAIO切換ス イッチを「VAIO」に設定し、電源/スタ ンバイボタンを押す。 	本機前面の心(電源)ボタンを押す。		
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた 状態ではなく、本機の電源の消費を抑えて いる状態です。スタンバイモードのとき に、電源コードをコンセントから抜かない でください。作業を中断する前の状態に戻 れなくなります。また、本機の故障の原因 となることがあります。	休止状態に入った場合は、リモコンを使っ て本機を通常の動作モードに戻すことは できません。		

* お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]、 [省電力機能の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

接続する/準備する

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について 説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が 使えるようになります。

こんなことができます

本機は、デジタルビデオカメラレコーダーやビデオデッキ、テレビなどと組み合わせて使うことを 想定して設計された、ソニーならではのコンピュータです。

ここでは、本機を使ってできることの例をあげてあります。

なお、これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了して おく必要があります。32ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご 覧ください。



各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトのお問い合わせ先」(281ページ)をご覧 ください。

動画を取り込んで編集した	とい			
MovieShaker		映像ファイルを組み合わせてオリジナルの作品が作れるソフトウェアです。 好きなシーンを集めて「シェイク」すると自動的に楽しい作品ができあがり ます。		
DVgate		デジタルビデオカメラなどで撮影した映像をVAIOに取り込み、必要な部分 を切り取って編集することができます。PCV-RX76/RX66では、8mmビデ オなど従来のアナログビデオの素材の取り込みもできます。		
テレビ番組を見たり、録画したい				
Giga Pocket		VAIOでテレビを楽しむためのソフトウェア群です。テレビを見る、予約録 画する、録画した番組(ビデオカプセル)を整理することなどができます。		
DVDを楽しむ				
PowerDVD XP for VAIO		簡単な操作でお使いいただける、高画質のビデオデコードが可能なDVDプレー ヤーです。メニューによるナビゲーションコントロール、音声や字幕の切り替 えなど、DVDで用意されているさまざまな機能のほとんどに対応しています。		
Simple DVD Maker		ドラッグアンドドロップの手軽な操作で動画をDVDや「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアで再生できるCDに出力できます。		
音楽CDを聴いたり作成したい				
SonicStage for VAIO		音楽CDの再生/録音や、インターネット上の音楽配信サービスの利用、オリジ ナルCDの作成、対応ボータブルブレーヤーへの書き出しまで、音楽を統合環 境で快適に楽しめます。		
RecordNow DX		手軽にオリジナルCDやDVDの作成ができます。		
静止画を取り込んで活用したい				
DigitalPrint		デジタル写真の取り込みからプリント、焼き増し、そしてフォトアルバムの 作成やCD、MDラベルの印刷などが手軽に行えます。		
PictureGear		動画から画像を合成したり、HTMLアルバム・スライドショーなど画像デー 夕を使って、いろいろなものを作ることができます。		
PictureToy		デジタル写真を加工するためのお絵描きソフトウェアです。デジタル写真に 手書きで絵を描いたり文字やいろいろなスタンプを貼り付けることができま す。		
ボタン1つでソフトウェフ	7を起動	したい		
VAIO Action Setup		本機のキーボードにあるショートカットキーの働きを設定するためのソフト ウェアです。		
VAIOの使いかたや困ったときの解決方法を簡単に調べたい				
CyberSupport for VAIO		本機についての情報を知りたいときや、本機を使っていて困ったことや疑問 があったときに使用するソフトウェアです。		
VAIOカスタマーリンクのホームページでは、本機を最新の状態にしたり、さまざまな問題を解決することができる アップデートプログラムをダウンロードすることができます。 本機を快適にお使いいただくために、ぜひVAIOカスタマーリンクホームページを定期的にご覧ください。 http://vcl.vaio.sony.co.jp/				

操作の流れ

2

2

4

5

6

8

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

付属品を確かめる(34ページ)

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

各部のなまえ(37ページ) 本機の各部のなまえを紹介します。

設置する(42**ページ)** 本機を設置する場所を決めます。

接続する/準備する(44ページ) ディスプレイやテレホンコードなどを接続します。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は NTT (局番なしの116番)にご相談ください。

電源を入れる(60ページ) 本機の電源を入れます。

Windows**を準備する(61ページ)** Windowsを使うために、名前などを登録します。

テレビを見る準備をする(66ページ) テレビを見るために、「Giga Pocket」ソフトウェアの設定をします。

電源を切る(73ページ)

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

□ コンピュータの基本操作(77ページ)

コンピュータを初めてお使いになる方は、このページをお読みになり、マウスやキーボードの 使いかたを練習してください。

□ カスタマー登録する/インターネットに接続する(89ページ)

登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように、本機をカスタマー登録してく ださい。インターネットを始めたい方は、このページをお読みになり、インターネット接続のた めの準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習し てください。

- □ 本機の使いかたがわからないときに(151ページ) 電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたなどを説明しています。
- 🗅 困ったときは(159ページ)

本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

□ 接続/拡張するときは(209ページ)

本機と周辺機器を接続したり、本機を拡張するときにご覧ください。

日 その他(257ページ)

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。 ロマークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。

本書で使用するものについては、本書がついています。

□ コンピュータ本体(1) 本書







ロ パームレスト(1) 🌁



□ テンプレート(1)



ぐ ちょっと一言 パームレストとテンプレートはキーボードの 箱の中に入っています。



□ ディスプレイおよびその付属品

(1) 本書



^{ティエフティ} 上のイラストは TFT 液晶デジタルディスプ レイ PCVD-17SD1/Sです。

お買い求めのコンピュータによって、ディスプ レイは付属されていないことがあります。 ^{ディエフティ}

TFT 液晶デジタルディスプレイ PCVD-15XD6/Sなど、その他のディスプレイを使うこ ともできます。ディスプレイによっては別売り のディスプレイケーブルが必要になることが あります。









ご注意

スピーカー用ACアダプタは、付属のアクティ ブスピーカー以外には使用しないでください。







ロ テレホンコード(1) 👎



□ i.LINKケーブル
 (4ピン↔4ピン)(1)



説明書およびディスク

□ 取扱説明書(本書、1)

ギガ ポケット

- □「Giga Pocket」取扱説明書(1)
- マイクロソフト ウィンドウズ エックスピー Microsoft[®] Windows[®] XP $\pi^{-\Delta}$ エディション Home Edition」ファースト ステップガイド(1)

□ リカバリディスクパッケージ(1)

ご注意

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」 ファーストステップガイドとリカバリディスク は再発行できませんので、大切に保管してください。

PCV-RX76

アドビ プレミア

- Adobe Premiere 6.0 CD-ROM(1)
- ^{アドビ フレミア} 「Adobe Premiere 6.0」および ^{アドビ フォトショップ エレメンツ} 「Adobe Photoshop Elements」 ユーザー登録はがき(1)
- 「編集ガイドブック」(CD-ROMつき、1)

PCV-RX66

- ^{アドビ} ^{プレミア} ^{エルイ−} □「Adobe Premiere 6.0 LE」 ユーザー登録はがき(1)
- アドビ フォトショップ エレメンツ
 「Adobe Photoshop Elements」
 ユーザー登録はがき(1)
- 「編集ガイドブック」 (CD-ROMつき、1)

PCV-RX56

アドビ フォトショップ エレメンツ
 「Adobe Photoshop Elements」
 ユーザー登録はがき(1)

ご注意

ユーザー登録ハガキに記載されている「Adobe Photoshop Elements」のシリアル番号は、 「Adobe Photoshop Elements」ソフトウェアの 初回起動時に入力が必要になりますので、なく さないようにしてください。

ϔ ちょっと一言

- 本機の使いかたについて詳しくは、「サイバーサ ポート」をご覧ください。使いかたについて詳し くは、「「サイバーサポート」の使いかた」(152 ページ)をご覧ください。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフト ウェアのヘルプをご覧ください。

その他

- VAIOサービス・サポートのご案内 (1)
- □ VAIOカルテ(1)
- □ ソフトウェア使用許諾契約書(1)
- VAIOカスタマー登録、保証書 お申込書(1)
- □ その他パンフレット類
各部のなまえ

ここでは、本機の各部のなまえを紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは、() 内のページおよび「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説 明]をクリックして表示される情報をご覧ください。

「サイバーサポート」の見かたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(152ページ)を ご覧ください。



PCV-RX76



- 1 DVD-RWドライブ
- 2 DVD-ROMドライブ
- 3 フロッピーディスクドライブ
- ④ フロッピーディスクドライブ アクセスランプ
- 5 DVD-RW / DVD-ROMドライブ アクセスランプ
- 6 0 (ハードディスク)アクセスランプ
- ⑦ 心(電源)ボタンと電源ランプ (60ページ)
- 8 PC CARD (PCカード) スロット (226ページ)

- 9 VIDEO 2 INPUT(映像入力2)コネクタ (218ページ)
 →③ S VIDEO(S映像入力)
 → VIDEO(映像入力)
 → L/R(音声入力)
- 10 DVD-RWイジェクトボタン(265ページ)
- 11 DVD-ROMイジェクトボタン
- 12 MEMORY STICK 🚗 (メモリース ティック)アクセスランプ
- 13 MEMORY STICK 金 (メモリース ティック)スロット
- 14 フロッピーディスクイジェクトボタン
- 15 ¹USBコネクタ(221ページ)
- 16 i. i.LINK S400コネクタ(4ピン) (211ページ)



- 1 DVD-RWドライブ(265ページ)
- 2 拡張デバイスベイ(251ページ)
- 3 フロッピーディスクドライブ
- ④ フロッピーディスクドライブ アクセスランプ
- 5 DVD-RWドライブアクセスランプ
- **6** □ (ハードディスク)アクセスランプ
- ⑦ (電源)ボタンと電源ランプ (60ページ)
- 8 PC CARD (PCカード)スロット (226ページ)

- 9 VIDEO 2 INPUT(映像入力2) コネクタ (218ページ)
 ④ S VIDEO(S映像入力)
 ④ VIDEO(映像入力)
 ④ L/R(音声入力)
- 10 DVD-RWイジェクトボタン (265ページ)
- 11 MEMORY STICK 金 (メモリース ティック)スロット
- 12 MEMORY STICK 🚗 (メモリース ティック)アクセスランプ
- 13 フロッピーディスクイジェクトボタン
- 14 🖞 USBコネクタ(221ページ)
- 15 j. i.LINK S400コネクタ(4ピン) (211ページ)



- 1 ⊕ MOUSE (マウス) コネクタ (47ページ)
- [2] (1) KEYBOARD(キーボード)コネクタ (47ページ)
- ③ 即NETWORK(ネットワーク)コネクタ (223ページ)
- ④ ↔ USB コネクタ (51ページ、52ページ、221ページ)
- 5 PRINTER(プリンタ)コネクタ (220ページ)
- ⑥ OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネク タ(224ページ)
- 7 i. i.LINK S400コネクタ(6ピン) (211ページ)
- 8 IOIOI SERIAL (シリアル) コネクタ
- 9 (HEADPHONES(ヘッドホン)コネク タ(46ページ)
- 10 🕑 LINE IN (ライン入力) コネクタ
- 11 ▶ MIC(マイクロホン)コネクタ

- 12 □ MONITOR(モニタ) コネクタ (45ページ)
- ③ VIDEO OUTPUT(映像出力)
 コネクタ
 (57ページ、217ページ、219ページ)
 ○ S VIDEO / VIDEO
 (S映像/映像出力)
 ○→ AUDIO(音声出力)
- 14 VIDEO 1 INPUT(映像入力)コネクタ (57ページ、217ページ)

 ③ S VIDEO / VIDEO (S映像/映像入力)

 ④ AUTO(音声入力)
- 15 🖓 LINE (電話回線) ジャック(49ページ)
- 16 AC INPUT (AC電源入力) プラグ (59ページ)
- 17 🕞 DVIコネクタ(44ページ)
- 18 Y VHF/UHF(アンテナ)コネクタ (54ページ)
- 19 % TELEPHONE (電話機)ジャック (48ページ)

<mark>後面</mark> PCV-RX56



- 1 ⊕ MOUSE(マウス)コネクタ (47ページ)
- [2] (#) KEYBOARD(キーボード)コネクタ (47ページ)
- ③ 即NETWORK(ネットワーク)コネクタ (223ページ)
- ④ ↔ USBコネクタ (51ページ、52ページ、221ページ)
- ⑤ ♪ PRINTER(プリンタ)コネクタ (220ページ)
- ⑥ MONITOR(モニタ)コネクタ (45ページ)
- ⑦ i. LINK S400コネクタ(6ピン) (211ページ)
- 8 OOI SERIAL (シリアル) コネクタ
- 9 (HEADPHONES(ヘッドホン)コネク タ(46ページ)
- 10 🕁 LINE IN (ライン入力) コネクタ

- 11 ▶ MIC(マイクロホン)コネクタ
- 12 🕞 DVIコネクタ(45ページ)
- 13 VIDEO OUTPUT(映像出力) コネクタ
 - (57ページ、217ページ、219ページ)
 - → S VIDEO / VIDEO (S映像/映像出力)
 - → AUDIO(音声出力)
- 14 VIDEO 1 INPUT(映像入力)コネクタ (57ページ、217ページ)
 → S VIDEO / VIDEO (S映像/映像入力)
 → AUTO(音声入力)
- 15 🖓 LINE (電話回線) ジャック(49ページ)
- 16 AC INPUT (AC電源入力) プラグ (59ページ)
- 17 Y VHF/UHF(アンテナ)コネクタ (54ページ)
- 18 % TELEPHONE (電話機) ジャック (48ページ)

リモコン



- 1 消音ボタン
- 2 チャンネル数字ボタン
- 3 音声切換ボタン
- 4 入力切換ボタン
- 5 テレビ/VAIO切換スイッチ
- 6 電源/スタンバイボタン

- 「Giga Pocket」ソフトウェア/
 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア
 起動/終了ボタン
- 8 チャンネルボタン
- 9 音量ボタン
- 10「Giga Pocket」ソフトウェア/ 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア 操作ボタン

ϔ ちょっと一言

- 5ボタン、チャンネル+-ボタンに突起が付いています。
- •本機を操作する場合は、5テレビ/VAIO切換スイッチを「VAIO」側にしてください。
- 市販のテレビを操作する場合は、5テレビ/VAIO切換スイッチを「テレビ」側にしてください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説明]→[各部の説明:リモコン]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



電源コンセントに近い

ϔ ちょっと一言

キーボードは立てて置くことができます。 キーボードを立てたときは、パームレストをキー ボードの裏側に折り畳むことができます。 本機を使わないときに場所を取りません。 キーボードにパームレストを取り付けるときは、 「キーボードにパームレストを取り付けるには」 (47ページ)をご覧ください。



次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

□ 直射日光が当たる場所



磁気を発生するものや磁気を帯びて いるものの近く



□ 暖房器具の近くなど、温度が高い場所



□ ほこりが多い場所



湿気が多い場所



□ 風通しが悪い場所



設置時のご注意



_ 本機を持ち上げるときは、 左右から手を入れて底面を持つ。

本機を置くときは、 衝撃が加わらないように 静かに置く。



本機を横置き にしない。

- 故障を避けるためにも、次のことをお守りください。
- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
 電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
- ハードディスクは、ちょっとした衝撃や振動でも故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

このほかにも、設置の際の安全上の注意事項が8ページから記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

接続する/準備する

以下の手順に従って、ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、 リモコン用受光ユニット、アンテナ、AV機器、電源コードを接続し、リモコンを使えるように準備し ます。

ディスプレイを接続する。

ご注意

- PCVD-17SD1/Sなどのディスプレイに付属のACアダプタは、ディスプレイ以外には使用できません。ディスプレイを接続するときはご注意ください。
- 本機には、MONITOR(モニタ)コネクタとDVI(ディーブイアイ)コネクタの2つのコネクタがあります。接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- MONITOR(モニタ)コネクタまたはDVI(ディーブイアイ)コネクタのいずれかにディスプレイ を接続してください。 両方のコネクタにディスプレイを接続しないでください。

TFT液晶デジタルディスプレイ PCVD-17SD1/Sを接続する場合

ディスプレイのプラグをDVI(ディーブイアイ)コネクタへ接続します。

• PCV-RX76/RX66をお使いの場合



• PCV-RX56をお使いの場合



ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイを接続する場合

ディスプレイケーブルのプラグをMONITOR(モニタ)コネクタへ接続します。

• PCV-RX76/RX66をお使いの場合





2

アクティブスピーカーを接続する。

付属のアクティブスピーカーのケーブルのプラグをHEADPHONES(ヘッドホン)コネ クタへ接続します。



ご注意

- 付属のアクティブスピーカー用のACアダプタは、アクティブスピーカー以外には使用できません。アクティブスピーカーを接続するときは、ご注意ください。
- ヘッドホンを接続する場合は、アクティブスピーカーのヘッドホン端子に接続してください。
 ヘッドホンをアクティブスピーカーに接続すると、アクティブスピーカーからは音は出なくなります。



キーボードにパームレストを取り付けるには

パームレストをキーボードに取り付けると、キーボードを使うとき、手首に負担がかから なくなります。

キーボードを立て、パームレストの左右にあるツメをキーボードの左右にある切り込みにカチッと音がするまで差し込みます。



電話回線に接続する。

4

インターネットに接続するなどデータ通信をするときは、付属のテレホンコードを使って本機を 電話回線につなぎます。

インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(101ページ)をご覧ください。

ϔ ちょっと一言

電話機を接続しない場合は、手順 **1**2 は必要ありません。手順 **3** で本機を電話回線に接続してください。

1 お使いの電話機のテレホンコードを電話回線のモジュラジャックからはずす。



2 ①ではずしたテレホンコードを本機のTELEPHONE(電話機)ジャックにカ チッと音がするまで差し込む。



3 付属のテレホンコードの一方を本機のLINE(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。



ϔ ちょっと一言

電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードに合わないときは交換工事や取り付け工事 が必要な場合があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリッ クして、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[電話回線のコンセントの種類]の順にク リックして表示される情報をご覧ください。 本機からテレホンコードを取りはずすには

TELEPHONE(電話機)ジャックまたはLINE(電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。



2 モジュラアダプタのロックを押し上げ、テレホンコード部分といっしょにつ かむ。



3 ロックを押しながら、斜め上方向に引き抜く。



ADSLにつなぐときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してイン ターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、 ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。



ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で 従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機のほかに 「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話 機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、下図のように本機の^{ユーエスピー} コネクタとターミナルア ダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプ タの取扱説明書をご覧ください。



ϔ ちょっと一言

本機前面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

リモコン用受光ユニットを接続する。

付属のリモコン用受光ユニットを本機のUSBコネクタに接続します。



ご注意

- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
 - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
 - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

ϔ ちょっと一言

- リモコン用受光ユニットをつなぐと、付属のリモコンを使って、付属の「Giga Pocket」ソフト ウェアを操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機やディスプレイの上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防げます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。



- 1 リモコンを裏返す。
- 2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。



3 +と-の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。



単3乾電池(付属)

ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損の恐れがあります。次のことを必ず守ってください。

- +と-の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ 乾電池が液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れて ください。



ϔ ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2本とも新しい乾電池 に交換してください。

アンテナを接続する。

本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画す るときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。テ レビを見たり、テレビ番組を録画/再生する方法については、「サイバーサポート」画面上 部の[VAIOの楽しみかた]をクリックして、[VAIOを楽しむ]→[VAIOではじまる快適テ レビ生活]の順にクリックして表示される情報、または別冊の「Giga Pocket」ソフトウェ アの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してく ださい。

- •本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合。
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合。

本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。



ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

(1) VHFのアンテナケーブルを V/U ミキサにつなぐ。



VHFのアンテナケーブル

(2)UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。



すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本 機をあらたに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

全のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ 接続ケーブルを取りはずす。



2 アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターBO-20Aなどを使ってアンテナを接続しま す。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のア ンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のア ンテナコネクタに接続する場合」(54ページ)の例から、最も近いものを選び接続し てください。



ϔ ちょっと一言

ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると、電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラ チラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテ ナと本機の間につないでください。

8

本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV! (CSチューナー)またはBSデジタルチューナーを接続する。

本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CSチューナー) またはBSデジタルチューナーの映像/音声の入出力コネクタ同士をつなぐと、以下のこ とができるようになります。

- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CS チューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機につないだディスプレイで見 る。
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CS チューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機に録画する。
- 本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する映像を、ビデオデッキに録画したり、テレビで見る。



🍟 ちょっと一言

S映像入力/出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、Sビデオ接続ケーブルのかわりに ビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで使うことができます。



AVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CSチューナー)/BSデジタル チューナーをつなぐときは

本機のリモコン用受光ユニットに、AVマウス機能のあるスカイパーフェクTV!(CS チューナー)またはBSデジタルチューナーに付属のAVマウスを取り付け、スカイパー フェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの予約録画機能を使って本機 に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアに番組の予約録画を行うことができます。 AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取 扱説明書またはヘルプ、およびスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタ ルチューナーの取扱説明書をご覧ください。



AVマウス機能のあるスカイパーフェクTV! (CSチューナー)またはBSチューナー

ご注意

- 本機の電源を切ると「Giga Pocket」ソフトウェアは実行されません。「Giga Pocket」ソフトウェ アを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモードにしてください。
 詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合して「Giga Pocket」ソフトウェアでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ]の[スクリーンセーバー]タブにある「パスワードの保護」または「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。

また、3D表示を行うスクリーンセーバーはご使用にならないでください。ご使用になると正常 に予約録画が実行されません。

スクリーンセーバーについて詳しくは、「サイバーサポート」の「VAIOの使いかた」→「設定を変 更する」→「ディスプレイの設定を変更する」→「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」を クリックして表示される情報をご覧ください。

電源コードを接続する。

本機、ディスプレイ、アクティブスピーカーを電源コンセントに接続します。

ご注意

9

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。
- 1) 付属の電源コードのプラグを差し込む。
- アィスプレイ用のACアダプタのプラグをディスプレイに接続する。
- 🕙 付属のスピーカー用ACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに差し込む。
- 4 ディスプレイのACアダプタにディスプレイ付属の電源コードを差し込む。
- 5 本機の電源コードのアースを接続し、本機の電源プラグとディスプレイの電源コード、アクティブスピーカーのACアダプタを壁の電源コンセントに差し込む。



ACアダプタ

ご注意

付属のアクティブスピーカー用のACアダプタは、アクティブスピーカー以外には使用できません。また、PCVD-17SD1/Sなどのディスプレイに付属のACアダプタもディスプレイ以外には使用できません。アクティブスピーカーやディスプレイを接続するときはご注意ください。

電源を入れる

ディスプレイ、アクティブスピーカー、本機の電源を入れる。

- 1 ディスプレイの心(電源)ボタンを押す。
- 2 スピーカーの音量つまみで音量を小さくする。
- 3 アクティブスピーカーの電源ボタンを押す。
- 4 本機の心(電源)ボタンを押す。

電源が入ると、電源ランプが青色に点灯します。



ϔ ちょっと一言

アクティブスピーカーの音量が小さくなっているか確認してください。Windowsの準備(61ページ)が終わる と、音が鳴るようになっています。突然大きな音がしないように、スピーカーの音量を小さくしておきましょ う。アクティブスピーカーの音量つまみで調整します。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」(61ページ)の手順に従って、 Windowsのセットアップを行ってください。

ϔ 2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Windows を準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindowsの準備が必要です。Windowsが使 える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。 以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。





「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

必要な場合はコンピュータ名を変更し、➡(次へ)をクリックする。



「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。

「インターネット接続が選択されませんでした」画面右下の♪(次へ)を クリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面が表示されます。





「設定が完了しました」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

Δ

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできま す。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックし、[パソコンを家族 で使おう]をクリックして表示される情報をご覧ください。



これでWindowsが使えるようになりました。



- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、さらにインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(101ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。

Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。 その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどう かを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除 されません。

 本機に付属のリカバリディスクに入っているOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作 保証はいたしかねます。

本機のOSはMicrosoft[®] Windows[®] XP Home Edition*です。

* 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。

🍟 OS (Operating System) とは

コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

 本機は、お買い上げ時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様 が認証作業を行う必要はありません。

また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。

「テレビを見る準備をする」(66ページ)からは、お好みに合わせ て操作してください。

- □ テレビを見たい(66ページ)
- □ 電源を切りたい(73ページ)
- □ コンピュータの基本操作について知りたい(78ページ)
- □ カスタマー登録したい(90ページ)
- □ インターネットに接続したい(101ページ)
- □ 周辺機器の接続や拡張をしたい(210ページ)

困ったときの解決方法を知りたいときは

「困ったときは」(159ページ)をご覧いただくか、「サイバーサポート」をご覧ください。使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(152ページ)をご覧ください。

複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では、設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それ ぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各 ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアのお問い合わせ先(281ページ)にお問い合 わせください。

2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。

Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する」(61ページ)をご覧ください。 Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面

左下の - タート をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリック して表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。詳しくは「ユーザーアカウント」画面左の ヘルプをご覧ください。

ユーザーアカウントの種類について

本機では、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権限とアクセス許可が必要となり、 ユーザーを設定する際にユーザーアカウントの種類を選びます。

ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があります。

	コンピュータの 管理者	制限付きアナ ント
プログラムとハードウェアをインス トールする	\checkmark	
システム全体の変更を行なう	\checkmark	
個人ファイル以外のすべてのフ ァイルにアクセスして読み取る	\checkmark	
ユーザー アカウントを作成また は削除する	\checkmark	
ほかのユーザーのアカウントを変 更する	\checkmark	
自分のアカウントの名前または 種類を変更する	\checkmark	
自分の画像を変更する	\checkmark	\checkmark
自分のパスワードを作成、変 更、または削除する	\checkmark	\checkmark

「コンピュータの管理者」を選ぶと

ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windows のすべての設定が可能になります。

「制限付きアカウント」を選ぶと

自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更 することができます。また、ソフトウェアがインストールできな い、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのよう に動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理 が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名 に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり 直してください。

ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の *メタート*をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」 画面左のヘルプをご覧ください。

複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」 について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフ トウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

「ヘルプとサポートセンター」につ いて

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかた、FAQ(よくある質問とその回答)の 検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサ ポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックして、表示されるメ ニューから[ヘルプとサポート]をクリックする。

⑦ ヘルブとサポート センター 1 ③ 戻る う ③ 「③ インデックス ◎ ☆ お気に入り ④ 履歴 ○ □ サポート ◎ ⑤ CyberSupport ◎ 🕐 ヘルプとサポートセンタ 2 検索 🛃 D S CyberSupport 4 VAIOのサポートについて 関連ホームページ集 J 3 Ì 5 よく使うツール集 txに立つツール集 リモート アシスタンス 互換性のあるハード・ソフト <u>セルフトレーニン</u>グ 6

「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。

1 ナビゲーションバー

よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。 ここから VAIOマニュアル「CyberSupport」を 起動することもできます。

2 検索

WindowsやVAIOで調べたいことをキーワー ド検索できます。

3 Windows XPのヘルプ

WindowsやVAIOの使いかたやFAQ(よくある 質問とその回答)をご覧になれます。

4 VAIOの情報はこちら

VAIOマニュアル「CyberSupport」や、VAIOカ スタマーリンクのホームページなどを見るこ とができます。「CyberSupport」の使いかたに ついて詳しくは「「サイバーサポート」の使いか た」(152ページ)をご覧ください。

5 サポートツール

困ったとき、設定を変更したいとき、Windows の操作を学習するときなどに役に立つソフト ウェアを起動したり、関連する情報を見ること ができます。

6 最新サポート情報

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見る ことができます。

ϔ ちょっと一言

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(101ページ)をご覧ください。

テレビを見る準備をする

本機では、付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見ることができます。





地域設定をする。

地域設定をすると、選んだ地域の標準のチャンネルが設定されます。





ϔ こんなメッセージが表示されたときは



DVDビデオ、レンタルビデオやセルビデオなど、コピーガードがかかっている映像や著作権保護の 信号が入っている映像を録画しようとしているときに表示されます。



「DVgate」ソフトウェアなど他の動画を扱うソフトウェアなどを同時に起動しているときに表示されます。他のソフトウェアを終了させて「Giga Pocket」ソフトウェアを起動し直してください。

接続する/準備する

地域設定をする(チャンネル設定)

初めて「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見るときには、以下の手順に従ってチャンネルの地域設定を行います。

ノスワ ム]に にクリ	ポインタ	^{画面圧下の} ■ 7を合わせ、[(る。	Giga Po	cket]、[Giga	Pocket地域設定
「地域の)設定」画面	ー・ 面が表示されます	- 0		
「警告」	画面が表示	示されたときは、	OK	をクリック	してください。
Image: Control of the second secon	Conservation Area Area Area Area Area Area Area Arean A	Heads Avocade Avo	•	4の.決定 IV チューナーを使用する地域を設定しま 都道府県を指定: <mark>東京</mark> 地域を指定: 東京	す のK キャンセル へルレブ

2

本機を使用する都道府県および最も近い地域を選んで<u>○○○</u>をク リックする。

選んだ地域の標準チャンネルが設定されます。



ご注意

県境でお使いの場合などは、お使いになっている都道府県や地域を設定してもテレビが映らない ことがあります。その場合は、隣接する都道府県や地域を設定してください。



- ϔ 地域設定(チャンネル設定)について
- 地域設定を行っても映らないチャンネルがある場合
 - (例)地域設定で設定された、特定のテレビ局だけが映らない。
 - →チャンネル設定の受信チャンネル(1~62チャンネル)を設定したいテレビ局の映像が 表示されるまで順番に選択する。
- 地域設定されたチャンネルがご使用の地域で受信できるチャンネルと違う場合
 - (例)地域設定で設定されたチャンネル 実際のチャンネル
 30チャンネル 20チャンネル
 →チャンネル設定の受信チャンネルを20チャンネル(実際のチャンネル)に設定する。

上記のような場合は、「チャンネル設定を変更する」(71ページ)の手順に従ってチャンネル設定を 変更してください。

地域設定後、「Giga Pocketサーバーのパスワードの設定」画面が表示されるので、「パスワードを設定する」をクリックする。



パスワードの設定画面が表示されます。

[パスワード]欄にパスワードを入力して、_____をクリックする。



「Giga Pocketサーバー」画面が表示されます。

ご注意

- このパスワードは、「PicoPlayer」ソフトウェアを使用するときに使用するパスワードです。この 設定をしないと「PicoPlayer」ソフトウェアを使用することができません。パスワードを忘れな いようにしてください。
- 万が一、パスワードを忘れてしまったときは、再度パスワードを設定してください。設定の方法 について詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



 Divide to VBD

 Oracle

 <td

7

<u>____</u>をクリックする。

「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターに、TV/録画デッキの映像が表示されます。



- ここをクリックする。

8

CHをクリックして、一覧の中から見たいチャンネルを選ぶ。

「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターに選択したチャンネルの番組が表示されます。



ϔ ちょっと一言

「Giga Pocket」ソフトウェアについて詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書 およびヘルプをご覧ください。

接続する/準備する

チャンネル設定を変更する

• 地域設定をしても映らないチャンネルがある

お住まいの地域で受信できるチャンネルが地域設定で設定されたチャンネルと違う
 上記のような場合は、以下の手順に従ってチャンネル設定を変更してください。
 また、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプも合わせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「30チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20 チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「30チャンネル」から「20チャ ンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。



「Giga Pocket」ソフトウェアが起動します。



[設定]をクリックして、表示されるメニューから[チャンネルの設定] をクリックする。

変更. 削除

キャンセル ヘルプ

「チャンネルの設定」画面が表示されます。



CH + BL - VOL + • • • •

変更するチャンネル名(ここでは「VAIOテレビ」)を選択して、[変更]を クリックする。

「チャンネルの追加/変更」画面が表示されます。



「受信チャンネル」から設定したいチャンネル(ここでは「20チャンネ ル」なので「20」)を選ぶ。

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の をクリックして、チャンネ ルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択してくだ さい。



5

4

をクリックする。 OK.

以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「Giga Pocket」ソフト ウェアを起動すると、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他の アプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションが ない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表 示され、「Giga Pocket」ソフトウェアが起動しないことがあります。この場合は、画面の解像度、表示色数、リフ レッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。

「PicoPlaver」ソフトウェアを他のVAIOでお使いになるときのご注意

DVD-ROMドライブを搭載した VAIOの場合でも、一部の機種では高画質または標準のビデオカプセルが再生 できません。長時間モードのビデオカプセルに変換して再生してください。
接続する/準備する

電源を切る

本機を使う準備が終わったところで、いったん電源を切ってみます。

ご注意

手順に従って電源を切らないと、故障の原因になることがあります。①(電源)ボタンを4秒以上押すと電源が 切れることがありますが、心(電源)ボタンを押して電源を切らないでください。 必ず次の手順に従って電源を切ってください。



ここをクリックする。

[終了オプション]をクリックする。

2

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。



ここをクリックする。



[電源を切る]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。



ここをクリックする。

🏹 ちょっと一言

ソニー製のコンピュータディスプレイをお使いのときは、手順3で本機の電源が切れたあと、自動的にディス プレイが節電モードに入ります。

Δ ディスプレイの(電源)ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

アクティブスピーカーの()(電源)ボタンを押す。

アクティブスピーカーの電源が切れます。

ご注意

「Windowsを準備する」(61ページ)の手順6で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回か ら本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動し てください。

これで本機を使ううえで必要な準備と操作はひと通り終わりました。 さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「サイバーサポート」をご 覧ください。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

	スタンバイモード	休止状態				
本機の電源ラ ンプ	オレンジ色に点灯	消灯				
ディスプレイ の電源ランプ*	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯				
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、CPU の電源を切ります。席をはずすなどして、 しばらく作業を中断するときに便利です。 最低限必要なデバイス以外の電源を切る ため、消費電力を節約することができま す。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部の ファンは停止します。現在作業中の状態を ハードディスクに保存して、本機の電源を 切ります。2~3日、本機を使わないような ときに便利です。				
各モードに入 るには	 キーボードの((スタンバイ)キーを押す。 デスクトップ画面左下の アスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[終了オプション]をクリックすると表示される 「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 付属のリモコンのテレビ/VAIO切換スイッチを「VAIO」に設定し、電源/スタンバイボタンを押す。 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」 でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合(お買い上げ時の設定)) 	 デスクトップ画面左下の メタート をクリックし、[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift(シフト)キーを押しながら[休止状態]をクリックする。 本機前面の心(電源)ボタンを押す。 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「休止状態」に設定されている場合) 				
通常の動作 モードに戻す には	 キーボードのスペースキーまたは本機 前面の心(電源)ボタンを押す。 付属のリモコンのテレビ/VAIO切換ス イッチを「VAIO」に設定し、電源/スタ ンバイボタンを押す。 	本機前面の心(電源)ボタンを押す。				
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた 状態ではなく、本機の電源の消費を抑えて いる状態です。スタンバイモードのとき に、電源コードをコンセントから抜かない でください。作業を中断する前の状態に戻 れなくなります。また、本機の故障の原因 となることがあります。	休止状態に入った場合は、リモコンを使っ て本機を通常の動作モードに戻すことは できません。				

* お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]、 [省電力機能の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



この章では、本機を使うための基本的な操作を説明します。

デスクトップ画面の各部のなまえ とはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。 「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

ϔ デスクトップ画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。



リックして始めてください。



ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除され るものがあります。

Winsowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されま す。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除 するかどうかを確認する画面が表示されます。

デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

ϔ アイコンとは

画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ϔ ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」などを選んでクリックしたとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

マウスの操作

マウスの各部のなまえとはたらき



ホイールボタン

マウスの持ちかた

マウスは強く握ったり、押し つけたりせず、手のひらを軽 く乗せるようにします。また、 ボタンをクリックしやすいよ うに、指先をボタンに乗せて ください。



クリックする

左ボタンをカチッと1回押して すぐ離します。 ウィンドウを閉じたり、タスク バーでソフトウェアを選ぶとき などに行います。

ダブルクリックする

左ボタンをカチカチッと2回すばやく 押してすぐ離します。 画面上のアイコンからソフトウェア を起動したり、ファイルを開くとき などに行います。

右クリックする

右ボタンを1回押してすぐ離します。 ショートカットメニューが表示され ます。

ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを 動かしてからボタンを離します。

ドラッグアンドドロップする

文書や画像などをドラッグして、フォルダやソフトウェアの アイコンやウィンドウなどの上でマウスのボタンを離します。 ファイルをごみ箱アイコンに重ねて削除したりするときに行

います。





カチッ







コンピュータの基本操作

マウスを動かすときは

マウスを動かすと、その動きに合わせてデスクトップ画面上の 🗟 (ポインタ)も同じ方向に移動し ます。机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスを動かすときは、腕全体を 使うようにします。



ϔ ポインタとは

マウスを動かすと、画面上に表示されている 🗟 が動きます。この矢印を「ポインタ」と言い、ポインタを希望の位置に合わせることを「ポイントする」と言います。

ϔ ポインタが見つからないときは

マウスを1度持ち上げて、机の上で動かしてください。



- デスクトップ画面上の∑ (VAIOマニュアル CyberSupport)をダブルク リックしてみましょう。
- ② 画面上部にある[できる Windows]をクリックし、左側の目次をクリックして、見たい情報を表示させてみましょう。
- 🍟 🎦 (VAIO マニュアル CyberSupport)が見つからないときは

デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘル プとサポート センター」画面から[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックします。 画面上部の[できるWindows]をクリックしてください。

☆ 🔄 (VAIO マニュアル CyberSupport)とは?

VAIOマニュアル「サイバーサポート(CyberSupport for VAIO)」(以降「サイバーサポート」と略します)は VAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことが あったときは「サイバーサポート」を開いてください。

ウィンドウやファイルの操作

Windowsのウィンドウやファイルの操作説明については、「できるWindows」で 詳しく説明されています。「できるWindows」をご覧になるには、「サイバーサ ポート」画面上部の[できるWindows]をクリックします。

ウィンドウの使いかた

「ウィンドウ」とは、Windowsでさまざまな操作をするときの画面のことです。

ウィンドウの各部のなまえとはたらき



ウィンドウを開く

ここでは、[マイドキュメント]画面の開きかたを説明します。

デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックし、マウスを動かして、ポインタを [マイドキュメント]の上に合わせ、クリックします。

2 ここをクリックする。



ここをクリックする。

複数のウィンドウの操作

ウィンドウは2つ以上同時に開くこともできます。

複数のウィンドウを切り替えるには、使いたいウィンドウを最前面に表示させます。 マウスを動かし、タイトルバーなど、切り替えたいウィンドウのいずれかの部分をクリックします。 最前面に表示されているウィンドウは、タイトルバーが濃い色になります。この最前面に表示されているウィ ンドウのことを「アクティブなウィンドウ」と言います。

ϔ タスクバーを使って複数のウィンドウを切り替えるには

マウスを動かし、タスクバーに表示されているウィンドウのボタンの中から、切り替えたいウィンドウのボタ ンにポインタを合わせ、クリックします。

20 スタート 20 ごみ箱 27イ コンピュータ

ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウ右上のボタンをクリックして、サイズを変えることができます。

ウィンドウのサイズを自由に変えるには、ウィンドウの角や辺にポインタを合わせます。マウスの左 ボタンを押したまま、大きくしたいときは外側に、小さくしたいときは内側にマウスを動かします。



最大化したウィンドウを元に戻すには

□ (元に戻す)ボタンをクリックすると、最大化する前のサイズに戻ります。

最小化したウィンドウを元に戻すには

タスクバーの中に収納されたボタンクリックすると、最小化する前のサイズに戻ります。

♡「閉じる」と「最小化」の違い

ウィンドウを閉じると、そのウィンドウはデスクトップ画面から消えます。ウィンドウを最小化すると、その ウィンドウはデスクトップ画面からは見えなくなりますが、タスクバーにボタンとして残ります。ウィンドウ を一時的に見えなくするときは、「最小化」のほうが便利です。

練習2:ウィンドウの操作

- ●「練習1:マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面で、ウィンドウ のサイズを変える練習をしてみましょう。
- ②「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。
- 3 2つのウィンドウを切り替えたり、ウィンドウのサイズを変える練習をしてみましょう。

ファイルやフォルダの操作

ファイルを作る

「ファイル」とは、保存された文書や画像のことです。

「ワードパッド」ソフトウェアなどで作成したファイルは、特に指定しない限り、 🤔 (マイドキュメント)に保存されます。それぞれのファイルは []]のようにアイコンとして表示されます。ファイルを開くときは、アイコンをダブルクリックします。

フォルダを作る

「手紙」フォルダや「画像」フォルダのように、「フォルダ」を作成して、種類や用途別に名前を付けてファイルを保存しておくと便利です。フォルダは、 して表示されます。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に新しいフォルダを作る場合は、「マイドキュメント」画面の メニューバーの[ファイル]をクリックし、表示されるメニューから[新規作成]、[フォルダ]の順に クリックします。

ここをクリックする。

マイドキュメント	🛎 マイ ドキュメント
	ファイル(2) 編集(2) まこ(0) たち(こ)(1) (A) ツール(1) (A) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ファイルやフォルダを削除する

削除したいファイルやフォルダにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押したまま、 🧭 (ごみ 箱)までマウスを移動して 🥪 (ごみ箱)に重ね、マウスの左ボタンを離します(ドラッグアンドド ロップ)。



ϔ ちょっと一言

削除したいファイルやフォルダを右クリックして、表示されるメニューから「削除」を選び、次に表示される 確認画面で「はい」を選んでも、削除することができます。

🍟 🞯 (ごみ箱)を空にするには

🥪 (ごみ箱)に移動したファイルなどは、 🥑 (ごみ箱)から取り出すことができます。完全に削除するには、

(ごみ箱)をダブルクリックして、「ごみ箱」画面で「ごみ箱を空にする」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選びます。

ごみ箱のアイコンが 🥑 (紙くずあり)から 🕑 (紙くずなし)に変わります。

練習3:ファイルやフォルダの操作

- ●「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。
- 2 フォルダを作ったり、「ワードパッド」などのソフトウェアからファイル を作ってみましょう。
- ③ファイルやフォルダを「ごみ箱」に移動して削除してみましょう。

文字の入力

文字の入力について詳しくは、「できるWindows」で詳しく説明されています。 「できるWindows」をご覧になるには、「サイバーサポート」画面上部の[できる Windows]をクリックします。

入力する文字を選ぶ

入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示されている「MS-IMEツールバー」を使って、入力文字を切り替えます。

MS-IMEツールバーの[A]にポインタを合わせてクリックし、表示される文字入力選択メニューから、入力文字を選びます。



ϔ MS-IME ツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある Prove をクリックします。表示された MS-IME メニューの中の[言語バーの表示]をクリックします。 MS-IME ツールバーについて詳しくは、MS-IME のヘルプをご覧ください。

ひらがなを入力するには

MS-IMEのツールバーの[A]をクリックして、[ひらがな]をクリックします。 ツールバーの表示が[あ]になり、ひらがなが入力できる状態になります。

カタカナを入力するには

MS-IMEのツールバーの[あ]をクリックして、[全角カタカナ]をクリックします。 ツールバーの表示が[力]になり、カタカナが入力できる状態になります。

アルファベットを入力するには

MS-IMEのツールバーの[カ]をクリックして、[直接入力]をクリックします。 ツールバーの表示が[A]になり、アルファベットが入力できる状態になります。

コンピュータの基本操作

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。 お好みに合わせて、入力方法を選んでください。 なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

□ ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1 文字 を入力するために 2 つまたは 3 つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英 文タイプライターに慣れている方はこちらが便利です。



□ かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1文字 につき1つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50音それぞれのキーの配置を覚える必 要があります。



ϔ かな入力とローマ字入力を切り替えるには

MS-IME ツールバーの[KANA]をクリックするか、^{Crrn} (コントロール)キーを押しながら (素) (キャプス・ ロック/英数)キーを押すと、ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

練習4:文字の入力

「練習1:マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面上部の[検索]欄に文字を入力してみましょう。

ここでは「マウス」と入力してみます。



- 2 MS-IMEのツールバーから[全角カタカナ]を選びます。
- ③ ローマ字入力の方法で、「マウス (MAUSU)」とキーボード上のアルファ ベットを入力します。

④ 〒 (エンター) キーを押します。



「できる Windows XP for VAIO」の使いかた

「できる Windows XP for VAIO」は、Windowsの基本的な使いかたを解説した電子マニュアルです。 Windowsの使いかたについて詳しくは、「できる Windows XP for VAIO」をご覧ください。

① デスクトップ画面上の [[] (VAIOマニュアル CyberSupport)をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

2「サイバーサポート」画面上部の CI CES Windows をクリックする。



「できるWindows XP for VAIO」が表示されます。

ϔ ちょっと一言

デスクトップ画面上の 🚾 (できる Windows for VAIO)をダブルクリックしても、「できる Windows XP for VAIO」を表示できます。

「できる Windows XP for VAIO」の画面の見かた

「できるWindows XP for VAIO」画面左側の目次から、表示したい項目をクリックします。



「できるWindows XP for VAIO」では、以下のような内容を説明しています。

- マウスの使いかた
- ソフトウェアの起動方法
- ウィンドウの操作方法
- 文字の入力方法
- ファイルの操作方法



この章では、オンラインでカスタマー登録する手順と インターネット接続サービスへのオンライン入会手順を 説明します。

カスタマー登録する

ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

VAIO カスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社(以下、「ソニー」)は「バイオ」をご所有のお 客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供す るために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリッ トについては、VAIOホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクからお買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。(すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません。)なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」(280ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク 電話番号:03-5977-7255 営業時間:月~金 10:00から18:00まで(土日祝日、年末年始を除く)

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

ϔ ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入のうえ、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客 様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
 - 1 お客様にお知らせした使用目的のために業務を委託する協力会社に開示することがあります。(ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
 - 2 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内(http://www.vaio.sony.co.jp/)のページ上で、変更手続きが行えます。

また、デスクトップ画面左下の をクリックして[ここから始めようVAIO!]をクリックして 表示される画面で、[VAIOカスタマー登録のおすすめ]をクリックして変更手続きを行うこともできます。 • 13才より小さいお子さまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

次の手順を行うには、本機が電話回線につながっている必要があります。「VAIOオンラインカスタ マー登録」にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。 ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタを つないでください。つなぎかたについては「接続する/準備する」(44ページ)の「ISDN回線につな ぐときは」をご覧ください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの 116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。



VAIOオンラインカスタマー登録は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。



[「]VAIOスタートパネル」画面が表示されます。



「VAIOカスタマー登録のおすすめ」をクリックする。



「VAIOオンラインカスタマー登録」の画面が表示されます。



「VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード」画面が表示されます。

< 戻る (B) をクリックします。

ϔ カスタマー登録をしない、または後でするときは

<u>キャンセル</u>をクリックして表示される画面で<u>終了(E)</u>をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。その後の手順について詳しくは108ページをご覧 ください。

_____次^>___をクリックする。

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」の画面が表示されます。

_____次へ〉___をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。

6

Λ

5

✓ または ▲ をクリックして、画面に表示された内容をすべて読み、内容 に同意するときは <u>同意する</u>をクリックする。



「登録種別の選択」画面が表示されます。



「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

- 本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方 は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。

お客様のお名前を漢字で、ふりがなをカタカナで入力し、 ペン を クリックする。



「お客様情報の入力」画面が表示されます。



「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

⁸

10 [検索方法]で「郵便番号から」の○をクリックして●にし、ご自分の郵 便番号を入力してから□□^{検索©」□}をクリックする。

郵便番号·住所検索 🔀	
※番号を入力後、酸素ボダンをクリックしてください。 検索⑤ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 3 ここをクリックする。 9 郵便番号を入力する。 (ハイフン)は入力しない。
11393度留今、 OUIDADE留今、 BURANK 市区町村都 ▼ 町域名: ▼ 詳細: ▼ フリガナ(S): ((注所(D): (詳細(E): ●	━━━━ ┫ [郵便番号から] をクリックする。

自動的に入力された住所を確認し、正しければ<mark>採用</mark>をクリックしてください。 「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。



1.

残りの空欄を入力し、「VAIO Customer's Card」など送付先が入力した 住所でよければ「はい」の〇をクリックして④にし、 本へつをクリックする。



「住所の確認」画面が表示されます。

☆ 入力した住所とは別の住所に「VAIO Customer's Card」と保証書などを送付してほ しいときは

「いいえ」の ()をクリックして ()にしてください。「VAIO Customer's Card / 保証書の送付先」 画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。



「電子メールアドレスの入力(任意)」画面が表示されます。





「パスワードリマインダー」画面が表示されます。

ϔ 電子メールアドレスとは

インターネットなどのネットワークを使ってコンピュータ同士でメッセージをやりとりするシス テムを電子メール(Eメール)といいます。電子メールアドレスとは、アルファベットや数字で表さ れた電子メールの宛先のことで住所と同じ役割をします。





「製品情報の入力」画面が表示されます。

🍟 パスワードリマインダーとは

パスワードリマインダーとは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらか じめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定が行える便利な機能です。

15 本機のモデル名を確認し、使用しているディスプレイを●をクリックして選び、本機の購入日や販売店名を入力し、 ★へ> をクリックする。



「登録内容の確認」画面が表示されます。

16 ご登録いただく内容をご確認のうえで、__☆◇>_」をクリックする。



「接続方法の選択」画面が表示されます。

登録内容を変更するときは<u>く戻る(B)</u>をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

17 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして●に し、 ※~ をクリックする。

<u>Restantion</u> Restantion Restantin Restantin Restantin Restanti	━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━= 1 ここをクリックする。

「発信方式の設定」画面が表示されます。

ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- •「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ϔ ちょっと一言

- 次へ> をクリックすると、「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、 次へ> をクリックしてください。

<mark>◯</mark> お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、<u>冰へ></u>をクリックする。



「登録確認」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

トーン式ダイヤルとは:電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式ダイヤルとは:ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたび に「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請 求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トー ン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話 回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせ ください。

19 電話回線がつながっていることを確認し、 💷 🕮 🔤 をクリックする。



登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

ご注意

ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。 この場合は、本機後面のLINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ϔ ちょっと一言

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正 規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のID とパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」や「1年間 保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。また、次の手順20~21の操作を行い、仮の 「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」をデータとして保存しておくことをおすす めします。



Classomer Construction ご登場の第7 の用したございました。 の別れたございました。 お客様のパレロのスタイーロスワードにきたいた。 お客様のパレロのスタイーロスワードにきたのやきします。 シロローローローローローローローローローローローローローローローローローローロ	
VRDカスタマール(取) 「「「「「」」 VRDカスタマーバスワード(取) 「「「」」 「「「」」」	
COMEとなることではないでは、 Gard ととも正規のDBUパワードを影響し、特徴のそのですの。 また、からしまえードは、大学を推測人等用の後のですの。 で、からしまえードは、大学を推測人等用の後のですの。 でいたのにまたりは、大学を推測人等用の後のですの。 「「「パスワードを」	ここをクリックする
存できます) 登録においては吉福がごん力はれたデータは、使宜上本紙のハードディスク上 Officiare TileStowWWAD Resistation OlientWareBest UTIZませれ	
てあります。 万一、「VADDカスタマーID」と「VAIDカスタマーバスワード」がわからなくなってし まった場合は、VAIDカスタマー専用デスクまでお問い合わせください。	
VAIDカスタマー登録に聞するお問い合わせ先 VAIDカスタマー専用デスク 電話書号03-6977-7255 宮葉時間 月〜全1000〜1800(土日祝日、年末年結除く)	
ОК	

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

ファ・	イルに	任意の	の名前	うを付	け、	保存(<u>s)</u>	をクリ	ノック
4 22 + 12 + 17 18 +									
保存する場所の		~	000						
81518-0-724(5	→My eBooks 回マイ ビクチャ 通マイ ミュージック								
720107									
4/2017									
71 7/81-4									
©									
₹1 \$917-0	77-1.6-600: 383		~	(8#S)		ここをク	リック	する。	
	ファイルの種類①: フキス)	·文書 (*.t.:t)	×					200	
	文字コード(E) ANSI		~						

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

ϔ ちょっと一言

保存されたファイルは、デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックし、[マイドキュメント]をクリックすると表示されます。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存され、「ご登録の完了」画面が表示されます。





ここをクリックする。

ϔ ちょっと一言

- OK
 をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、
 次へ>
 をクリックしてください。「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上に ごが表示されます。このアイコン をダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOのホームページのご 案内などのお知らせを見ることができます。

インターネット接続サービスの紹介画面が表示されます。 インターネットに接続するときは108ページへお進みください。

インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は<u>キャンセル</u>をクリックします。

ϔ インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要 があります。インターネット接続サービスはインターネットとコンピュータとの間を仲介する役 割を持っています。インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを 使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりでき るようになります。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。こ こではインターネットを利用するために必要な準備やホームページの見かた、電子メールのやりと りのしかたを説明します。



ホームページを 見る

- ・調べたい情報を検索する。
- ・世界の景色を見る。
- ・ホテルや乗物の予約をする。
- ・趣味の仲間をさがす。
- ・オンラインショッピングをする。



オンラインショッピ ングをする



食べ物や衣類など、 家に居ながら遠く離れ た外国でも行きつけの お店の感覚で買い物が できます。

情報を発信する

- ・自分の意見を発言する。
- ・趣味の仲間をつのる。
- ・絵や文芸作品を発表する。
- ・仕事の広告を出す。



電子メールをやりとりする

電子メールで時差を気にせず世界中の人たちと コミュニケーション。



インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のよう に、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専 用のソフトウェアが必要になります。

また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会 社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線と ISDN 回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

ϔ ISDN とは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。 ISDN回線をお使いになる場合はNTT(局番なしの116番)にご相談ください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

🍟 ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に 常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続 業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

本機からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。デスクトップ画面左下の 37 スタート をク リックし、[ここから始めよう VAIO!]、[ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]の順にクリックして表 示される画面から申し込みを行ってください。

ϔ ターミナルアダプタについて

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をISDN回線につなぐための機器です。ISDN回 線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。ターミナルアダプタについて詳 しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置で す。一般電話回線に接続する場合、本機にはモデムが内蔵されていますので、準備する必要はありま せん。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言い ます)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には 両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

Bicrosoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

Soutlook Express

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と 使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの楽しみか た]をクリックして、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]の順にクリックして表示 される各ソフトウェアの情報をご覧ください。

インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ:ISP)

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要が あります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」または単に「プロバイダ」 と言います(以下、「プロバイダ」と記します)。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。

プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単 に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時 に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの サービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件 によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。



ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネット に接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料 と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上でのトラブルについて

さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生していま す。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わ ぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子 メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでい たり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。 不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せず に削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

ϔ ちょっと一言

コンピュータウイルスについて詳しくは、「コンピュータウイルスについて」(260ページ)をご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、インターネットに接続しているコンピュータの情報など が漏れてしまう可能性があります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必 要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

ϔ OS とは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。 リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機 で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないように ご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。 注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。でき

るだけ信頼できるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアによっては国際電話やダイヤルQ2などに 接続してしまうものもあります。知らない間に接続してしまい、課金されている場合がありますの でご注意ください。

- インターネット上での個人の情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をイン ターネットに接続する必要があります。 以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか(44ページ)
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか

ISDN回線をご利用の場合はNTT(局番なしの116番)にご相談ください。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

プロバイダと契約しましょう(108ページ)

プロバイダと契約します。

契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。



2

チェックシートを作成しましょう(112ページ)

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容 など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い 合わせください(110ページ)。







接続のための設定をしましょう(117ページ)

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。



4

電子メールソフトウェアの設定をしましょう(130ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。





インターネットに接続してみましょう(136ページ)

契約したプロバイダに接続します。



インターネットに接続したあとは

ホームページを見てみましょう(139ページ) ホームページを見る練習をします。

電子メールをやりとりしてみましょう(146ページ) 電子メールをやりとりする練習をします。

1 プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約 する必要があります。

数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロ バイダと契約することをおすすめします。

プロバイダと契約するには、オンラインサインアップを使うと便利です。以下の手順に従って、オン ラインサインアップしてください。

ϔ オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。
- オンラインサインアップソフトウェアによっては、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーし か使えない場合があります。どのプロバイダのオンラインサインアップソフトウェアでも使えるように「コ ンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。





「インターネット接続サービス」画面が表示されます。
入会したいプロバイダをクリックし、料金やサービス内容を確認したあ と、画面の指示に従って操作する。



入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

ϔ ちょっと一言

その他のプロバイダにオンラインサインアップしたいときは「インターネット接続サービスご紹介」画面下の、 その他のインターネットサービスはこちら をクリックしてください。

表示される画面で、お好みのプロバイダを選んで、料金やサービスの内容を確認したあとオンラインサインアップを行ってください。



ここをクリックする。

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの楽しみかた]をクリック して、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]→[インターネット接続サービス/ブ ロードバンド常時接続サービスご紹介]の順にクリックして表示される情報をご覧いただくか、以 下の各プロバイダへお問い合わせください。

また、以下のプロバイダ以外と契約するときは、契約するプロバイダに Windowsのユーザー制限に ついてお問い合わせください。

プロバイダー覧

名称	お問い合わせ	Windows XP ユーザー権限
AOL	株式会社ドコモAOL AOLメンバーサポートセンター 会員サポート・入会問い合わせ:0120-275-265(フリーダイヤル) 受付時間:9時〜21時(年中無休) 電子メール:AOLjapanMS@aol.com	制限ユーザー以上
B BIGLOBE	BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク 電話番号:0120-86-0962(フリーダイヤル)/携帯電話:03-3947-0962 受付時間:24時間365日 電子メール:お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。 http://support.biglobe.ne.jp/ask.html ホームページ:http://support.biglobe.ne.jp/	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ
DION	KDDIカスタマーサービスセンター サービス内容に関するお問い合わせ 電話番号:0077-7192(無料) 接続・設定などに関するお問い合わせ 電話番号:0077-20227(有料、全国一律1分10円) 上記番号につながらない場合 札幌:011-232-7012/東京:03-5348-3975(有料) ADSLコースのサービス内容、接続・設定などに関するお問い合わせ 電話番号:0077-7084(無料)	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ
@ nifty	ニフティ株式会社 @nifty入会センター 電話番号:0120-816-042(フリーダイヤル) 携帯・PHS・国際電話の場合:03-5753-2374 (電話料金はお客様ご負担となります)	制限ユーザー以上
ODN ODN	日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター 電話番号:0088-86(無料 ODNダイヤルアップサービス) 0088-222-375(無料 J-DSLフレッツADSLプラン)	制限ユーザー以上
🖺 P'zDialer(ເຮີຣຣ)	株式会社ぶららネットワークス「ぶららダイヤル」 入会専用:0120-488912 テクニカル:03-5954-5311	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ
So-net	So-netインフォメーションデスク 電話番号:0570-00-1414 (全国共通) 携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。 札幌:011-711-3765/仙台:022-256-2221/東京:03-3446-7555 名古屋:052-819-1300/大阪:06-6577-4000/広島:082-286-1286 福岡:092-624-3910 受付時間:10時〜21時 年中無休 ファックス番号:03-3446-7557 電子メール:info@so-net.ne.jp ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/access/	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ
\$ ≸OCN	OCNインフォメーションデスク 電話番号:0120-047-815(フリーダイヤル) 受付時間:9時〜21時(月〜金曜日)/9時〜17時(土曜日・日曜日・祝日) 電子メール:info@ocn.ad.jp	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ
ℓ イー・アクセス ADSL	イー・アクセス株式会社 電子メール:info@eaccess.net 電話番号:0120-2754-37 受付時間:10時~18時(毎日)	「コンピュータの管 理者」アカウントを 持つユーザーのみ

┆ プロバイダとの契約後にインターネット接続を手動で設定する、または LAN(ネットワーク) を使って接続するときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右下の[こちらへ]をクリックします。 「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、郵送されてきた資料の設定情報をご覧になり、画 面の指示に従って必要事項を入力してください。

ϔ 入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右上の区をクリックします。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。

すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

2 チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料 が郵送されてきます。その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。 プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記の「チェックシート」をあらかじめ作 成しておくと、「接続のための設定をする」(117ページ)および「電子メールソフトウェアの設定を する」(130ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。 次ページの「設定項目について」の説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、この説明 書は大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前 を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記 憶しておくことをおすすめします。
- 「⑦パスワード(PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。
 「⑦パスワード(POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。(プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります。)

ϔ ちょっと一言

- 他人に見られることがないように、このページを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保管することをお すすめします。
- 複写した紙に記入しておくと、117ページからの設定を行うときに便利です。

設定項目	あなたの設定値	例(So-netの場合)
●ダイヤルアップ接続名		So-net東京第16
❷電話番号(アクセスポイント)		03-5792-9060
❸ユーザー名(PPP)		ichiro@aa2
❹パスワード(PPP)		
⑤ 市外局番		03
・ トーン/パルス (電話回線の種類)		
♥DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)		202.238.95.24
③別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)		202.238.95.26
● 表示名(差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
①電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
❶受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サー バー		pop.aa2.so-net.ne.jp
●送信メール(SMTP)サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
BPOPアカウント名		ichiro
①インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

チェックシート

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ϔ ちょっと一言

「⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」、「⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」、 「⑪受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」、「⑫送信メール(SMTP)サーバー」は、プロバイダに よっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

● ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の 22 スタート をクリックして、[コントロールパネル]、[ネットワーク とインターネット接続]、[ネットワーク接続]の順にクリックして表示される接続名です。 お好みの名前をご記入ください。 例:So-net東京第16

❷ 電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号 (接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選 びになると、より高速な通信ができます。

例:03-5792-9060

🍟 アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。イン ターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので、利用地点からより近いアク セスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合 があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

③ ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するとき に使用するユーザー名をご記入ください。 例:ichiro@aa2

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、 「ログオン名」などともいいます。

ϔ PPP とは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。 電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

④ パスワード (PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するとき に使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

🍟 ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

🍟 ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

日 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。 例:03

●トーン/パルス(電話回線の種類)

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式:

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機の ダイヤル方法です。

パルス式:

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」 と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押す と受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる 請求内訳表をご覧ください。

請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。

電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い 合わせください。

⑦ DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。 例:202.238.95.24

ϔ ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメ インネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

カスタマー登録する/インターネットに接続する

③別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)

「⑦DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれて いる場合はご記入ください。 DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「⑧別のDNSサー バーアドレス」は空欄のままでかまいません。 例:202.238.95.26

③表示名(差出人フィールドでの表示)

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分 の名前のフルネームにします。 例:Ichiro Suzuki

ϔ ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には 「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

● 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。

プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx」と記載されています。電子メール アドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ϔ ちょっと一言

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

① 受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレス をご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバー からあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例:pop.aa2.so-net.ne.jp

ϔ ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などとも いいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料 をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

ゆ送信メール(SMTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレス をご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子 メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例:mail.aa2.so-net.ne.jp

ϔ ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「①受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料 をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

B POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするための アカウント名をご記入ください。「①電子メールアドレス」の「②」(アットマーク)より前の部分 を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「④パスワード」の両方が必要 になります。

例: 「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

🍟 ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POP サーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「④ユーザー名」と同じ場合もありま す。

パスワード (POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字 でご記入ください。

電子メールを見るためには、「(BPOPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ϔ ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

① インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおす すめします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

3 接続のための設定をする

本機の電源を入れる。

クリックする。

□ 一般電話回線で接続される方は、このままお進みください。

 ADSL(PPPoE)を使ってインターネットに接続する場合は、「ADSLでイン ターネットに接続するには」(126ページ)をご覧ください。

「チェックシートを作成する」(112ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目 に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従っ て操作してください。

デスクトップ画面左下の 🚛 スタート をクリックし、[インターネット]を

電源の入れかたについては、「電源を入れる」(60ページ)をご覧ください。



「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

🍟 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは

接続のための設定が終わったあとは スタート、[インターネット]の順にクリックすると、 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィ ザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべての プログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[新しい接続ウィザード]の順にクリック します。



「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

┌─── ここをクリックする。



「準備」画面が表示されます。



[接続を手動でセットアップする]の○をクリックして●にし、 □ 次へ⑭>]をクリックする。



「インターネット接続」画面が表示されます。



[ダイヤルアップモデムを使用して接続する]の○をクリックして●に し、 ☆ № をクリックする。



[「]接続名」画面が表示されます。



(服の(次の) ***だ) ここをクリックする。

「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

8

アクセスポイントの電話番号を入力し、 冻ヘ とうをクリックする。



「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

9

ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパス ワードを再度入力してから、 ※ヘω> をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。

10 _____をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

ϔ ちょっと一言

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」 にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

デスクトップ画面左下の <u>33 スタート</u>をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。



「コントロールパネル」画面が表示されます。





「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

手順12および13の画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。





「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。





「所在地の編集」画面が表示されます。



16「電話とモデムのオプション」画面の____でをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリック する。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをク リックする。

18 ダイヤルアップ接続(チェックシート ①)のアイコンをダブルクリック する。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。



「So-netへ接続」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップ に追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作ら れます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。





ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。





「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。





手順22~25は、チェックシートに⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および ⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送さ れてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ、操作を行ってくだ さい。







23「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル (TCP/IP)]の「をクリックして「にし、 プロパティ どうをクリックする。



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。



- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。

l	インターネット フロトコル (TCP/IP)のフロパティ ? 🛛	
	全級 ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、PP 設定を自動的に取得する ことができます。サポートされている場合は、Aットワーク番号書に通切な PP 設	
	定を防/ 3000000000000000000000000000000000000	ここをクリックする。
I	1. アドレベル・ 	
	 (○) p DNS サーバーのアドレスを使う(E) (次元 DNS サーバー(P): (欠替 DNS サーバー(A) (欠替 DNS サーバー(A) (202 238 95 26 1) 	チェックシートの⑦DNSサーバーアドレス
I		(プライマリDNS)を入力する。
	ок * к/д/	└ チェックシートの❸別のDNSサーバーアドレス (セカンダリDNS)を入力する。

ϔ ちょっと一言

「⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「③別のDNSサーバーアドレス(セカンダリ DNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。



26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で OK をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

27 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で キャンセル をクリックする。 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

ADSLでインターネットに接続するには

ADSL、またはケーブルモデム(ケーブルテレビ回線)で PPPoE を使用してインターネットに接続 するには、下記の手順に従って操作してください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

デスクトップ画面左下の*当 ヌタート*_をクリックし、[コントロールパネ ル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]を クリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。



2

「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]をク リックする。



「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4

「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を 作成する]をクリックする。

5 ネットワーク接続		
ファイルビ 爆集() 表示() お気に入り() ツール() 詳細設定() ヘルプ()	RU	
G #6 • ⊖ - ∱ , C ## ⊝ 7±63 III •	Norton AntiVirus 🔒 🔹	
Ashワーク タスク (名)		
E MI (1988550535)		ここをクリックする
1394 2-3-7972		222777900
♦ 39+0-001031032-9+		
その胞 冬		
중 4< 25,42~3 3 4< 42754 3 44 49:42-5 2 44 9:42-5 2 49:42-10 14:84		
日初 ネットワーク接続 ジス5ム 2011月		

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ心>」をクリックする。

新しい接続ウィザードの開始	
このウィザードでは次の手助けをします:	
 インターネットへの接続 	
 ・ ・ ・	
• אריב דעבא אין אאאין איארא אין איז איז אין איז	
特行するには じたへ3 をクリックしてください。	
< 戻る(B) (次へ(D)) キャンセル	ここをクリックする
	新しい核なシッザードの開始 このッパードではかゆそがします ・ インターネットの機能 ・ ポンターネットの機能 ・ ポーム ネットワーンかどのプライベート ネットワーンの想 ・ オーム ネットワーンや小規模オフィンのネットワーンのせいドック ・ ・ ・

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。



「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の〇を クリックして④にし、 沐ヘ迎〉 をクリックする。



「準備」画面が表示されます。



「インターネット接続」画面が表示されます。

8

「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域 接続を使用して接続する]の○をクリックして●にし、 ☆ @> をク リックする。



「接続名」画面が表示されます。





「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

「インターネットアカウント情報」画面で、ユーザー名、パスワードをご 契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワード の確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、 リックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。

これでADSL、またはケーブルモデム(ケーブルテレビ回線)でPPPoEを使用してイン ターネットに接続するための設定は終わりです。

4 電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。

ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」^{*}を例に電子メールをやりとり するための設定をしていきます。

* 本書で使われている「Outlook Express」ソフトウェアの画面のイラストは、本機にインストールされている バージョンです。

🍟 ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

「
デスクトップ画面左下の」
「スタート」をクリックし、
「電子メール」をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが起動し、インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

表示したい名前を入力し、 ̄次へ⑭> ̄をクリックする。



「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。



電子メールアドレスを入力して、 次へ 2 をクリックする。



「電子メールサーバー名」画面が表示されます。





「インターネットメールログオン」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

「①受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」の名前と「②送信メール(SMTP)サーバー」の名前は同じ場合があります。



POPアカウント名とパスワードを入力し、 添心 POPアカウント名とパスワードを入力し、 添心 POPアカウント名とパスワードを入力し、 POPアカウント



「設定完了」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

- •「パスワード」は「*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の をクリックして にすると、実際にインターネットに接続するときの「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面(136ページ)でパスワードを入力する手間が省けます。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの設定が完了します。

ご注意

一一一完了をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

次に、ビルーフへ達住し クリックすると、近常は二 ースクループに投稿され

ϔ ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。 HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。

メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[オプション]をクリックする。
 - 「オプション」画面が表示されます。
- 2 [送信] タブをクリックする。 「送信」画面が表示されます。



3 「メール送信の形式」で[テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。 送信するメッセージがテキスト形式になります。



電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

ϔ HTML とは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。



画面右上の×(「閉じる」ボタン)をクリックする。



— ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

ϔ ちょっと一言

電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」画面で[ツール]をクリックし、[アカウント]をクリックします。 表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]をクリックし、[メール]タブをクリックします。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「個インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。



「ツール」メニューが表示されます。







「インターネットアカウント」画面が表示されます。



[メール]タブをクリックする。

インターネット アカウント ダベーメール ユース ディレクトリ サービス		2×	ここをクリックする。
アクラント 使力 アクラント 使力 クロショントラント インクリオービス マロショントラント インクリオービス マロショントラント ディレクリオービス マロショントラント ディレクリオービス Woolfree インクース、ディレクリオービス	掲続 □ つわル エジア ネットワー □ つわル エジア ネットワー (使用可能な接続 □ つわル エジア ネットワー □ つカル エジア ネットワー	市野作型 プロパティ型 見ていたす型 見ていたす型 ゴンボート型 ゴンボート型 「読書の設定室」 開たる	

?×

(開ける)

「メール」画面が表示されます。



i島加(<u>A</u>) → 副局余(<u>B</u>) ここをクリックする。 プロパティ(型) インボートの. エクスポート(回). 順番の設定

プロパティ画面が表示されます。



「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分を変更し をクリックする。 OK.



ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。



7

「Outlook Express」画面で右上のX(「閉じる」ボタン)をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

5インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

🍟 インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。 ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。



デスクトップ画面左下の <u>37 スタート</u>をクリックし、[接続]、[ダイヤル アップ接続名(チェックシートの①)]の順にクリックする。

下の例では[So-net]をクリックします。



「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されます。



「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面の各項目を入力または確認する。

 ユーザー名(チェックシートの❸)と電話番号(チェックシートの❷)が正し いか確認する。

So−net へ接続	?×	
J.		
ユーザー名(山):	[chiro@	
パスワード(型):	[) 「スワードを変更するには、ここをクリックします]	一ここを確認する。
▽ 次のユーザーた	消擾続するとき使用するために、このユーザー名とパスワード	
○このユーザ	– ወ.ት (N)	
⊚ このコンピュ	Lータを使うすべてのユーザー(<u>A</u>)	
<u> </u>	03-5792-9060	
ダイヤル(<u>D</u>)	キャンセル プロパティ(Q) ヘルブ(H)	

ダイヤル① をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。

So-net ∧ 接続	?×	
C		So-net に接続しています ③ 03-5792-9060 にダイヤル中
ユーザー名(山):	ichiro@	(本+v)セル
パスワード(<u>P</u>):	[パスワードを変更するには、ここをクリックします]	
√次のユーザー: を「呆存する(S ○このユーザー: ○このユーザー: ○このユンビ:	が接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワード * ~のみ(W) ュータを使うすべてのユーザー(<u>A</u>)	
<u> </u> ダイヤルΦ:	03-5792-9060	
ダイヤル(<u>D</u>)) キャンセル フロパティ@ ヘルナ(H)	――ここをクリックする。

「現在(ダイヤルアップ接続名)に接続しています。」画面が表示されたときは、

_____OK____をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]の**─**をクリック して**▽**にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には「が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下にのが表示されます。

ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、「ホームページを見る」(139 ページ)以降をご覧ください。

接続を切断するときは:138ページの「接続を切断するには」をご覧ください。

接続できなかった場合は:「主なトラブルとその解決方法」の「モデム/インターネット」 (185ページ)をご覧ください。

パスワード (チェックシートの④)を変更するには

手順2の「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で[パスワード]に新しいパスワードを入力します。

ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の__を クリックして「↓」にし、ユーザーの種類を選ぶと、パスワードを保存することができ、次回からパス ワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがあり ますのでご注意ください。

ϔ ちょっと一言

- 「パスワード」(チェックシートの ④パスワード (PPP))は「*」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」(130ページ)の手順5で「パ スワードを保存する」の

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断します。

接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

• デスクトップ画面右下の を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。

切断(<u>D</u>) 状態(<u>S</u>)
ネットワーク接続を開く(Q)

デスクトップ画面右下の をダブルクリックして表示される「(ダイヤルアップ接続名)の状態」
 画面で 切断(D) をクリックする。

گ ≣¥#⊞		
接続		
状態		接続
維続時間		00:11:28
速度:		42.6 Kbps
动作状况		
	迷信 —— 🚮 -	— 受信
1771:	250,603	8,106
圧縮	3 %	64 %
IÐ-:	0	0
プロパティ(Ⴒ)	切断(D)	

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了すると表示される「自動切断」画面で
 今す(切断する(N))をクリックする。



ϔ ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。
- 「自動切断」画面は「自動切断を使用しない」の をクリックして にすると、次回インターネットに接続したときからは表示されません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを 使ってホームページを見てみます。

以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下にのが表示されていることを確認してください。 表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下 記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」 (136ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、のを表示させてください。

1 Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードのミキーを押す。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。



ϔ ちょっと一言

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の

🍠 スタート 🛛をクリックし、[インターネット]をクリックする方法もあります。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。上の図は、最初に表示されるホームページをVAIOホームページに設定したときの例です。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ホームページが表示されなかった場合は、「主なトラブルとその解決方法」の「モデム/インターネット」(185ページ)をご覧ください。

2 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録 されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。



メニューが表示されます。

2

[バイオを楽しむためのサイト]にポインタを合わせ、[VAIOホームページ]、[SUPPORT(サービス・サポート情報)]の順にクリックする。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



3 ホームページの URL を入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。 ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ(URL:http://vcl.vaio.sony.co.jp/)を見てみます。

ϔ URL とは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と 言います。アドレスバーにURLを入力することでホームページが見られます。

SUPPORT - VAIOカスタマーリン	ンク
ァイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	त.c.7
🕝 戻る 🔹 🕥 - 💌 🛃 🌘	<u>ک</u>
PFUZ(D) Attp://yclyaio.sopy.co.j	

インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」(チルダ)を入力するに は、「直接入力」または「半角英数」を選び、 (ショーン・(シフト)キーを押しながら (ふキーを押します。

キーボードの 🕾 (エンター) キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



4 リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコ ピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データに ジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

マウスを使って^は(ポインタ)を[ENJOY VAIO]に移動して、¹に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ここをクリックする。



ϔ ちょっと一言

ホームページの中で、 (ポインタ)が ()に変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

5 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。 ここでは「VAIO」を検索してみましょう。



検索画面が表示されます。



クリックしたホームページが表示されます。

Windows XP をご使用されている ひに、これからご擁入をご予定さ 客様へ

XP Protession

6よく見るホームページを登録する

Windows 2000 搭載モデルの サービス・サポート体制のご案内

●サポートプラスのご説所 ●サポートプラスのご読入 ●サポートプラスのご読込

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。

ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

ϔ ちょっと一言

Sony online Japan はインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。





Sony online Japanのホームページが表示されます。



3

メニューバーの[お気に入り]をクリックし、次に[お気に入りに追加] をクリックする。



「お気に入りの追加」画面が表示されます。



「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、

ここでは「Sony」と入力します。



Sonyホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。


カスタマー登録する/インターネットに接続する

[閉じる]にポインタを合わせ、クリックする。



「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3

デスクトップ画面右下の響を右クリックして表示されるメニューから [切断]をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わったあとなどは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子 メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあ ります。

1 Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

キーボードの⑤キーを押す。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。



「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは<u>キャンセル</u>をクリックして画面を閉じてください。



2 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

[メッセージの作成]をクリックする。



「メッセージの作成」画面が表示されます。

ϔ ちょっと一言

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときはインターネットに接続していな い状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

ϔ オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェア を使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。 タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。

文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力」(86ページ)をご覧ください。





ツールバーの[送信]をクリックする。



「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メール は送信トレイに保管されます。「Outlook Express」のツールバーの[送受信]をクリックすると、電 子メールが送り先へ送られます。

③電子メールを受信する

手順2で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの[送受信]をクリックす る。

手順2で送った電子メールが届きます。



ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オ ンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、

はい☆ をクリックしてください。

ϔ ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに 接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあ とに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(138ページ)。

4 受け取った電子メールを見る

手順③で届いた電子メールを見てみます。



受信トレイの中身が表示されます。

2

[SONY VAIO]をクリックする。



ここをクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

5 送った電子メールを見る

手順2で送った電子メールを見てみます。

[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

顧 送信課みア テム - Outbok I	Dapress		10	送信沐みアイテム - Out	look Express			
1 79+1410 ¥ 幕(2) 表示(2) 1	9-1KD 592-939 411789	BU		ファイル(1) 編集(1) 表示	119 ツール田 メッセージ(119 へル)	18	1 / W W W	R
	Ser us and in a	SHI PKVY N		90 · 90	99 68 ±R-381 612		10 - 10 1941 - РКих	
※送信済み 2イテム			(3)	送信済みアイテム				
2015年 日本 日本 2015年 日本 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月 10月		2001-000/16 23		4月 Outlook Express ③ ローカルフォルガ - ② 営力目トレイ - ③ 下着き	× ! ù Rott ⊖shuttitike service je	PF& SONY VAD		連信日時 2007/08/14 2
	e	2			¢			2
	遂結卷:khina Suzuki 宛光:shu1991kasany.ca.jp 件名:SONY VAID				遊館者: Ethina Suzuki 完美 作名: SONY VAID	: shutilita service jp		
建起先(2) ▼ ×	世界に広がったソニーVAID	~	383	醫先(j) ▼	× 世界に広がったソニーVAD			-
表示する連絡先がありません。(連絡先) をフリックすると、新しい連絡先を作成しま す。			\$9	Fする連絡先がありません。「M リックすると、新しい連絡先を作 す。	168先] 171.2			
1 通のメッセージ、0 通は未開封	■ 北次0 中		13	10メッセージ、0 通信未開封	, 愚わ	20. 年		

ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「主なトラブルとその解決方法」の「モデム/ インターネット」(185ページ)をご覧ください。

6 Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。





[終了]にポインタを合わせ、クリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。



デスクトップ画面右下の**が**を右クリックして表示されるメニューから [切断]をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

本機の使いかたがわからないときに

この章では、電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた などについて説明します。



「サイバーサポート」ってなに?

「サイバーサポート」はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、 VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。





「サイバーサポート」は、VAIOの使いかたや楽しみかたをデスクトップ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。

「サイバーサポート」画面の見かた



1 ナビゲーションボタン			
1 トップへ戻る	「サイバーサポート」の最初に表示される画面に戻ります。		
🔹 戻る 🏓 進む	前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。		
表示切替	ー部のボタンを隠して、本文ページをより広く表示できるようにしま す。(157ページ)		

2マニュアル表示ボタン				
💵 මෙම Windows	Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。			
<i>(インターネット</i>)	インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための 説明を見ることができます。			
VAIO の使いかた	本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。			
VAIO の楽しみかた	本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。			
困ったときは	困ったときや、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることが できます。			
用語集	コンピュータ用語の説明を見ることができます。			
サービス/サポート	サービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。			
③キーワード検索エリフ	7			
検索	キーワードや質問文を入力して情報を探すことができます。(156ペー ジ)			
条件設定	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などからキー ワードを選んで情報を探すことができます。(156ページ)			
4				
? このソフトの使いかた	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。			
🖌 ブックマーク	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼 び出すことができます。			
ペルプと サポートセンター	「ヘルプとサポートセンター」(65ページ)を見ることができます。			
5				
本機に付属しているソフ	トウェアの楽しみかたの紹介です。			
6				
 最新の情報に更新 	「サイバーサポート」で検索できる情報を更新します。(158ページ)			
VAIO カスタマーリンク	VAIOカスタマーリンクのホームページを見ることができます。(158 ページ)			
Sonyのホームページ	ソニーのホームページを見ることができます。			

ϔ ちょっと一言

「サイバーサポート」画面にある各ボタンにポインタを近づけると、ボタンをクリックしたときに表示される 情報の内容が表示されます。

▶ 条件設定 ? とのノノトッ ✓ ブックマーク	
VAIOの楽しみがた。 困ったときは 本機に対象しているソフトウェアの説明) 編集	ここに情報が表示される。

「サイバーサポート」を見るには

ご注意

「サイバーサポート」は必ず「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示させてくだ さい。「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがありま す。

「サイバーサポート」を見るには、「Windowsを準備する」(61ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。

「サイバーサポート」を開くには

デスクトップ画面上のSmithtail (VAIOマニュアルCyberSupport)をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。



♡ ちょっと一言

- デスクトップ画面左下の タクト をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示 された「ヘルプとサポートセンター」画面から[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックして も「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示 された内容を読み、内容に同意するときは、[同意する]をクリックしてください。
 [同意しない]をクリックすると、「サイバーサポート」を開くことができません。

使用許諾契約書をお スクロールして文書来 同意いただける場合に	あみください。 までご確認のうえ、 1 [同意する] をクリックし1	てくだきい。		
1	使用許諾契約書			^
<pdfフィルタのご使 PDFフィルタは、アドビ (以下、「アドビソフトで お客様がPDFフィルタ 用されます。</pdfフィルタのご使 	用条件> システムズ社(以下「アド りェア」)を利用して開発し をご使用になる場合には、	ビリ)のAdobe PC ております。彼い 以下のご使用弊	DF Library まして、 i件もあわせて適	
1.PDFフィルタコま、7 及びそのアップグレ	ペビより使用許諾された7 −ド飯、修正版又はアップ	ペビンフトウェア、 デート版も含まれ	します。	
2.アドビソフトウェアは ソフトウェアの構造、	、アドビ及びそのサブライ 編成及びコードは、アドビ	ヤーの所有物で 汲びそのサブラ	あり、アドビ イヤーの価値	~

「サイバーサポート」を閉じる

「サイバーサポート」画面の右上の区をクリックする。

「サイバーサポート」が終了します。

ϔ ちょっと一言

- 「サイバーサポート」画面右上の (最小化)ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す(最小化する)ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- •「サイバーサポート」をデスクトップ画面上に表示させたまま他のソフトウェアなどを操作する こともできます。

目次から情報を探す

2

「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]、[インターネット]、[VAIOの使いかた]、[VAIO の楽しみかた]、画面下部の[サービス/サポート]のボタンをクリックすると、左画面に目次が、右 画面に情報が表示されます。左画面の目次から、探したい情報をクリックして選んでください。



クリックしたボタンに含まれる情報の目次が左画面に表示されます。





項目の最初に ▶ がついている項目をクリックすると、▶ が ▼ になり、さらに詳しい項目 が表示されます。



右画面にその情報が表示されます。



知りたい項目をクリックする。

ページの見かた

ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。

1 >>7~R8 () R8	• RC REAL		
VAIO DECUMA:	122-491	VAIOカスタマーご登録	
 はじめに 基本的な使いかた 用辺綿器を接続する 	 ・ 知っ律体報 ・ 動画系シフトウェアについて ・ BIOSセットアップメニューについて 	「VAD力スタマーご登録について」 「VAD力スタマーご登録の方法」	━ 見出しをクリックする。
 本体を拡張する 設定を変更する) 内蔵モデムこついて > 使用上のご注意 > お手入れ 	VAIOカスタマーご登録について ソニーマーケティング株式会社ちだみに一株式会社(に ヘセキュリティ情報などの必要な情報をあ知らせし、売却 「VAIDカスタマーご登録を行っていただくことも方すめ	

- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、見ているページに関連する項目のあるページが表示 されます。

キーワードで情報を探す



検索結果の一覧が表示されます。一覧から見たい情報を選びます。

ϔ ちょっと一言

条件設定をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などから キーワードを選んで検索することができます。

困ったときの情報の探しかた



「困ったときは」の目次が表示されます。

左画面の表示したい項目を選び、クリックする。

右画面にトラブルとその解決方法が表示されます。





「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにある 条件設定 をクリックしてキーワード検索をすると、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答)などから上記以外のトラブル解決方法を見ることができます。

2

画面の大きさを切り替える

「サイバーサポート」画面上部の 🔜 表示切替 をクリックします。

(サービス/サポート などの一部のボタンが隠れ、より多くの情報が1度に表示されるようになり

ます。

隠れたボタンを元に戻すには、もう1度 表示物質をクリックします。

ここをクリックする。



ϔ ちょっと一言

より多くの情報が表示されるように、「Microsoft Internet Explorer」のツールバーの表示を一部隠すことができます。

[表示]メニューから[ツールバー]を選び、[標準のボタン]などをクリックします。再度クリックすると元の 表示に戻ります。



見ている画面を印刷する

[ファイル]メニューから[印刷]を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して 印刷 (P) を クリックします。



ϔ ちょっと一言

印刷をするにはあらかじめプリンタを接続、設定しておく必要があります。

VAIOについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的に ご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できる よう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始め る」(101ページ)をご覧ください。

VAIO カスタマーリンクのホームページを見るには

「サイバーサポート」画面下部の
NAIOカスタマーリンク
をクリックすると、VAIOカスタマーリンク
のホームページが表示されます。

「サイバーサポート」で検索できる情報を更新するには

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を、更新することができます。

更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の & 最新の情報に更新 をクリックして 表示される画面をご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できる よう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始め る」(101ページ)をご覧ください。

ご注意

初めて更新するときは、数10分時間がかかることがあります。

その他のマニュアルについて

「サイバーサポート」以外に、本機に付属しているマニュアルについては、「マニュアルについて」(5 ページ)をご覧ください。

また、トラブルの対処方法については、「わからないことやトラブルを解決する」(160ページ)もあ わせてご覧ください。



この章では、本機を操作していて困ったことやトラブルの 解決方法を説明します。

わからないことやトラブルを解決 する

本機を操作していてトラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。また、 メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

電子マニュアルやヘルプで調べる。

- •本書の162ページからの説明をご覧ください。
- ・デスクトップ画面上の (VAIOマニュアル CyberSupport)をダブルクリックして、 「サイバーサポート」を起動させ、「困ったときは」や関連する項目「主なトラブルとその 解決方法」から該当する項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

「サイバーサポート」画面上部のキーワード入力エリアにキーワードや質問文を入力し 検索をクリックすることで、「サイバーサポート」の内容やVAIOカスタマーリン クに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答)などから自動的にその解決方法を検索 できます。条件設定をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意され た質問文例などからキーワードを選んで検索することもできます。 なお、「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、152ページをご覧ください。

ϔ ちょっと一言

「サイバーサポート」は、デスクトップ画面左下の をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から、[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックしても起動することができます。

- ソフトウェアのヘルプや電子マニュアル
- Windowsのヘルプ

デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックし て、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する。

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載していますのでご覧ください。 VAIO**カスタマーリンクホームページ** http://vcl.vaio.sony.co.jp/

ϔ サイバーサポートをはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)では、製品出荷後の最新情報を 提供しています。VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」の 「キーワード検索」で検索できる情報を更新してください。

更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」画面下部の

最新の情報に更新 をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは、 数10分時間がかかることがありますので、ご注意ください。また、この機能を使うには、あらかじ めインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「イン ターネットを始める」(101ページ)をご覧ください。 3

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

以下のお問い合わせ先にご相談ください。

VAIO カスタマーリンク

電話番号

(0466)30-3000

- お問い合わせには、「VAIO カスタマーID」が必要です。
- 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

受付時間

平日 10 時~ 20 時

```
土、日、祝日 10 時~ 17 時
```

(年末年始は除く)

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- ・ 付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(281 ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

- 1 お客様のVAIOカスタマーID
- 2 本機の型名:保証書に記載されています
- 3 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
- 4 カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

 ぐ ちょっと一言

 発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

- 5 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)
- **6** 表示されたエラーメッセージ
- 7 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの 名前とバージョン
- 8 トラブルが発生する前または直前に行った操作
- 9 トラブルがどのくらいの頻度で再現するか。
- 1 その他お気づきの点

修理の場合は

- 11 VAIOカルテ(修理をお申込みになるとき)
- 12 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要で す)

主なトラブルとその解決方法

ここでは、主なトラブルとその解決方法について説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(73ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってく ださい。他の方法で電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。 接続し直すときは、必ず「電源を切る」(73ページ)の手順に従い、いったん電源を切り、電源コードをコンセン トから抜いてください。

症状		ページ
心電源	電源が入らない。	166ページ
	電源が切れない。	166ページ
	本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻っ てしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。	167ページ
	電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」という メッセージが表示される。	167ページ
	電源を入れると、「Operating system not found」と いうメッセージが表示され、Windowsが起動でき ない。	167ページ
ロディスプレイ/テレビ	画面に何も表示されない。	168ページ
	画像が乱れる。	168ページ
	画質が悪い。	168ページ
	画像の端が欠ける。	168ページ
	表示サイズ、表示位置がおかしい。	168ページ
	テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映 らない。	169ページ
	DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない。	170ページ
画面	画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応し ない。フリーズした。	171ページ
スピーカー	スピーカーから音が出ない。	172ページ
 ■ リモコン	リモコンで操作できない。	172ページ
	「Giga Pocket」ソフトウェアを操作できない。	173ページ
	「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを操作で きない。	173ページ
	テレビを操作できない。	173ページ

症状		ページ
	日本語が入力できない。	173ページ
	全角の「~」が入力できない。	173ページ
	URLで使われる半角の「~」(チルダ)が入力できな い。	173ページ
	入力した文字が表示されない。	173ページ
	キーボードを使って正しく入力できない。	174ページ
	IMEの言語バーが表示されない。	174ページ
	マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ 以上動かせない。	175ページ
	画面上のポインタが動かない。	175ページ
	スクロールしない。	175ページ
	マウスを動かしてもカーソルが動かない。	175ページ
し フロッピーディスク	フロッピーディスクが取り出せない。	176ページ
	「ディスクがいっぱいになりました。」というメッ セージが表示され、ファイルなどをフロッピー ディスクに保存できない。	176ページ
	「このディスクは書き込み禁止になっています。」 というメッセージが表示された。	176ページ
	フロッピーディスクを初期化しようとしたができ ない。	176ページ
	誤ってハードディスクを初期化してしまった。	177ページ
	ハードディスクの内容を誤って消してしまった。	177ページ
	ハードディスクから起動できない。	177ページ
	音楽CDをデジタル再生していると、ノイズが聞こ えたり、音がとぎれる。	178ページ
	CD-ROMが再生されない、または音楽 CDの再生 時、音がとぎれる。	179ページ
	DVD-ROMが再生できない、またはDVDビデオの 再生時、映像または音がとぎれる。	179ページ
	DVD-ROMが取り出せない。	179ページ
	エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生がで きない。	180ページ
	「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネ ル上の) (iPower!)をクリックすると、再生ウィ ンドウが黒くなる。	180ページ
	「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動で きない。	180ページ

困ったときは

症状		ページ
	DVD-RW/DVD-Rに書き込めない。	181ページ
	DVD-RW / DVD-R書き込み時に書き損じが起こ る。	181ページ
	DVD-RW/DVD-Rの書き込みに時間がかかる。	181ページ
	CD-Rに書き込めない。	182ページ
	CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレー ヤーで再生できない。	182ページ
j .i.LINK	本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。	182ページ
	「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に 映像を録画できない。	182ページ
	i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。	182ページ
	本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正し く動作しない。	183ページ
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフ トウェアを使って録画が正常にできない。	183ページ
	テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映 らない。	183ページ
	録画を実行しても何も録画されない。	183ページ
	番組を予約録画できない。	183ページ
	最初の部分が録画されていない。	184ページ
	画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サ イズが大きすぎる(小さすぎる)。	184ページ
	i.LINKコネクタに映像が出力されている。	184ページ
	「Giga Pocket」ソフトウェアが起動できない。	184ページ
カスタマーご登録	オンラインでカスタマー登録できない。	184ページ
トートートーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	モジュラジャックが取りはずせない。	185ページ
	インターネットに接続できない。	185ページ
動画/静止画編集	「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取 り込みができない。	204ページ
	「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り 込みができない。	204ページ
	「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画/静 止画を電子メールで送れない。	204ページ

症状		ページ
エラーメッセージ	電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」という メッセージが表示される。	205ページ
	電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッ セージが表示され、Windowsが起動できない。	205ページ
	電源を入れると、「Operating system not found」と いうメッセージが表示され、Windowsが起動でき ない。	205ページ
	「ディスクがいっぱいになりました。」というメッ セージが表示され、ファイルなどをフロッピー ディスクに保存できない。	205ページ
	「このディスクは書き込み禁止になっています。」 というメッセージが表示された。	205ページ
	電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッ セージが表示される。	205ページ
	電源を入れると、「CMOS Checksum Error」という メッセージが表示される。	206ページ
	「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディス クを挿入して[OK]をクリックしてください。」と いうメッセージが表示される。	206ページ
	「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。 接続アイコンをダブルクリックして、やり直して みてください」または「ダイヤル先のコンピュータ は、ダイヤルアップネットワーク接続を確立でき ません。パスワードを確認してからやり直してみ てください」というメッセージが表示された。	206ページ
	「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、 PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが 表示され、PDF形式のファイルを開くことができ ない。	207ページ

電源

電源が入らない。

- → 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。(59ペー ジ)
- → すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認する。(44ページ)
- → スイッチ付テーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッ チが入ってるかどうか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり 差し込まれているか確認する。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認したうえで、それぞれの操作を行ってください。

- → キーボードが正しく接続されているか確認する。(47ページ)
- →「スタート」メニューから[終了オプション]を選んでも電源が切れないときは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]
 →[電源を入れる/切る]→[電源を切る]→[「コンピュータの電源を切る」画面で[電源を切る]をクリックしても電源が切れないときは]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- → プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。
- → 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認する。
- →「スタート」メニューの[終了オプション]を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、(オルト)キーを押しながら ミキーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[電源を切る]をクリックする。
 (オルト)キーを押しながら ニキーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、(コントロール)キーと(オルト)キーを押しながら (ブリート)キーを押し、「Windows タスクマネージャ」画面が表示されたら、[シャットダウン]をクリックし、表示されるリストから[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。

→ 前述のいずれの操作を行っても電源が切れない場合は、本機前面の()(電源)ボタン を4秒以上押して電源ランプが消灯するか確認してください。ただし、この操作をす ると、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。また、 本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、 Safe(セーフ)モードで起動することがあります。その場合は、デスクトップ画面が表 示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(73ページ)の手順に 従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が 不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動する。再起動できない場合は、本機 前面の心(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を 行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

 → フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、フロッ ピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれか のキーを押してください。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、 Windowsが起動できない。

- → フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスク を取り出してから[∞](コントロール)キーと[∞](オルト)キーを押しながら[∞](デ リート)キーを2回押して本機を再起動する。
- → 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された 方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本 機に付属のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再 セットアップしてください。 詳しくは、「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(262ページ)および 「パーティションサイズを変更する」(270ページ)をご覧ください。

ディスプレイ/テレビ

画面に何も表示されない。

- → 本機とディスプレイの電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認 する。(59ページ)
- → 本機とディスプレイを正しく接続する。(44ページ)
- → 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認する。(60ページ)
- → ディスプレイの明るさボタンとコントラストボタンで調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- → 本機後面のMONITORコネクタとDVIコネクタの両方にディスプレイを接続してい ないか確認する。
- → PCVD-17SD1/Sなどをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認する。付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。

画像が乱れる。

→ ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディ スプレイから離す。

画質が悪い。

→ ディスプレイの調整ボタンで画質を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書 をご覧ください。

画像の端が欠ける。

→ ディスプレイの調整ボタンで表示位置を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説 明書をご覧ください。

表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整ボタンで設定する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧 ください。

テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

- → アンテナ接続ケーブルが本機後面のVHF/UHFコネクタと正しく接続されているか 確認する。(54ページ)
- → ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認する。 一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケー ブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。 アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。 この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。
- → 「Giga Pocket」ソフトウェアの地域設定が正しく設定されているか確認する。(68 ページ)
- → 「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定が正しく設定されているか確認する。 設定が正しくない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。また、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプもあわせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「30チャンネル」に設定されているが、ご使用になってい る地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を 「30チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

- 1 デスクトップ画面左下の パンタを合わせ、[Giga Pocket]、[Giga Pocket]の順にクリックする。 「Giga Pocket」ソフトウェアが起動します。
- 2 [設定]をクリックして、表示されるメニューから[チャンネルの設定]をクリックする。 「チャンネルの設定」画面が表示されます。
- 3 変更するチャンネル名(ここでは「VAIOテレビ」)を選択して、[変更]をクリック する。 「チャンネルの追加/変更」画面が表示されます。
- **4** 「受信チャンネル」から設定したいチャンネル(ここでは「20チャンネル」なので「20」)を選ぶ。

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の をクリックして、チャンネルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択 してください。

5 OK をクリックする。

以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない。

- → 本機をテレビに正しく接続する。詳しくは、「テレビにつなぐ」(219ページ)をご覧く ださい。
- → 以下の手順に従って操作し、映像と音声出力をテレビに切り換えてください。
 - DVDビデオの再生を停止しているときに、デスクトップ画面左下の
 スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、
 [CybeLink PowerDVD]、[PowerDVD XP for VAIO]の順にクリックする。
 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動します。
 - (設定)をクリックする。
 「設定」画面が表示されます。
 - 3 [TV出力]タブをクリックする。
 - **4** 「映像」の「ソニーMPEG-2エンコーダーボード」の \bigcirc をクリックして④にし、

DVDビデオの映像や音声がテレビ画面に表示されるようになります。

画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。

- → 以下の手順に従って操作し、本機を再起動させる。

「Windowsタスクマネージャ」が表示されます。

「Windowsタスクマネージャ」に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれ ば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終 了させる。



2 「Windowsタスクマネージャ」の[シャットダウン]メニューから、[コンピュー タの電源を切る]をクリックする。

本機の電源が切れたあと、10秒後に本機の心(電源)ボタンを押して、再び電源を入れる。



→ 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の心(電源)ボタンをラン プが消えるまで(4秒以上)押して電源を切ったあと、10秒後に本機の心(電源)ボタ ンを押して再び電源を入れる。

ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることが あります。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

- → アクティブスピーカーを接続している場合は、スピーカーの音声ケーブルが本機に しっかり接続されているか確認する。
- → アクティブスピーカーを接続している場合は、スピーカー用ACアダプタがしっかり コンセントに差し込まれているか確認する。(59ページ)
- → アクティブスピーカーを接続している場合に、スイッチ付テーブルタップなどにス ピーカー用ACアダプタをつないでいるときは、スイッチが入っているか、また、テー ブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。
- → アクティブスピーカーを接続している場合は、アクティブスピーカーの電源が入っ ているか確認する。(60ページ)
- → アクティブスピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。(60 ページ)
- → Windowsの音量がミュートまたは最小になっていないか確認する。
 - デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックし、[コントロールパネル]をク リックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
 - 【サウンド、音声、およびオーディオデバイス】をクリックし、【サウンドとオー ディオデバイス】をクリックする。
 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。
 - **3** [音量]タブをクリックする。 音量がミュートまたは最小になっているときは、音量を上げてください。

リモコン

リモコンで操作できない。

- → テレビ/VAIO切換スイッチが「VAIO」になっているか確認する。
- → リモコンとリモコン用受光ユニットの間に障害物がある。障害物を取り除く。
- → リモコンと受光ユニットの距離が離れすぎている。近寄って操作する。
- → リモコンの発光部が受光ユニットの方を向いていない。リモコンを受光ユニットに 向ける。
- → リモコンの電池が+/-逆に入っている。正しい方向に入れ直す。
- → リモコンの乾電池が消耗している。乾電池を交換する。
- → 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。本機と蛍光灯を離して設置する。

「Giga Pocket」ソフトウェアを操作できない。

→ テレビ/VAIO切換スイッチが「VAIO」になっているか確認する。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを操作できない。

→ テレビ/VAIO切換スイッチが「VAIO」になっているか確認する。

テレビを操作できない。

- → テレビ/VAIO切換スイッチが「テレビ」になっているか確認する。
- → テレビのメーカー番号の設定を確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の [VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説明]→[各部の説明:リモコン]→[リモ コンで各社のテレビを操作するには]の順にクリックして表示される情報をご覧く ださい。



日本語が入力できない。

→ 「文字の入力」(86ページ)をご覧ください。

全角の「〜」が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで、ひらがなで「から」と入力し、「~」が選ばれるまで (スペース)キーを押すか、☆ (シフト) キーを押しながら (ふキーを押す。)

URLで使われる半角の「~」(チルダ)が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選ん で、 [ふっっつ] (シフト)キーを押しながら [ふキーを押す。

入力した文字が表示されない。

- → 本機とキーボードが正しく接続されているか確認する。(47ページ)
- → 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない(タイトルバー(ウィンドウの上の部分)は薄い色になります)。
 文字を入力したいソフトウェアのウィンドウのどこかをクリックするか、 (オルト)キーと (タブ)キーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする(タイトルバーが濃い色になります)。

キーボードを使って正しく入力できない。

- → 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上のNum Lock(ナム・ロック) ランプが消灯していないかを確認する。消灯しているときは、数字キーは矢印キーや コレクションキーと同じ働きをします。(ナム・ロック)キーを押して、ランプを点 灯させてから数字を入力してください。
- → キーボードの設定が「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl+英数)」に設定され ているか確認する。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違 う文字が表示されることがあります。
 - デスクトップ画面左下の タクト をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
 - 【パフォーマンスとメンテナンス】をクリックする。
 「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
 - 3 (システム)をクリックする。
 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
 - 4 [ハードウェア]タブをクリックする。
 - 5 デバイスマネージャ(D) をクリックする。 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6 キーボードの項目をクリックする。
 「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl+英数)」と表示されます。
 上記と異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

IMEの言語バーが表示されない。

- → IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてくだ さい。
 - 1 デスクトップ画面左下の タイン をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 - 2 [日付、時刻、地域と言語のオプション]、[地域と言語のオプション]アイコンを 順にクリックする。 「地域と言語のオプション」画面が表示されます。
 - **3** [言語]タブをクリックし、 詳細 をクリックする。 「テキストサービスと入力言語」画面が表示されます。
 - **4 言語**バー(B) をクリックする。 「言語バーの設定」画面が表示されます。

- 5 [言語バーをデスクトップ上に表示する]の をクリックして にし、
 ○K をクリックする。
- 6 「テキストサービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ ○K をクリックして画面を閉じる。

ϔ ちょっと一言

言語バー右上の (最小化ボタン)をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスク バーに常に表示させておくことができます。

マウス

マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。

→ マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻す。

画面上のポインタが動かない。

- → 本機とマウスが正しく接続されているか確認する。(47ページ)
- → マウスの内部が汚れている場合は、マウスを掃除する。(278ページ)
- → 回 (ウィンドウズ)キーを押して「スタート」メニューを表示させ、 (ページアップ)キーまたは (ページダウン)キーを押して[終了オプション]を選んで、 (エンター)キーを押す。「コンピュータの電源を切る」 画面が表示されたら (ページアップ)キーまたは (ページダウン)キーで[電源を切る]を選んで (エンター)キーを押し、電源が切れた後10秒後に本機の()(電源)ボタンを押して再び電源を入れる。
- → 回 (ウィンドウズ)キーを使って電源を切れない場合は、 (ゴントロール)キーと
 (オルト)キーを押しながら (デリート)キーを押し、「Windows タスクマネージャ」 画面を表示させ、 [シャットダウン]メニューから [再起動]を選び、本機を再起動する。
- → DVD-ROM / CD-ROMを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、☞ (コントロール)キーと (オルト)キーを押しながら (デリート)キーを押し、DVD-ROM / CD-ROMを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動する。

スクロールしない。

→ スクロール機能に対応していないソフトウェアを起動している。スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

マウスを動かしてもカーソルが動かない。

→ オートスクロール設定になっている。ホイールボタンを押して、オートスクロールの 状態を解除してください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

 →「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使い かた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクを入れる/取り出す]
 →[フロッピーディスクを取り出すには]の順にクリックして表示される情報をご覧 ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある、別のフロッピー ディスクを使って、保存し直す。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能に する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、 [基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデー タを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示 される情報をご覧ください。

フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

- → フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能に する。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、 [基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデー タを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示 される情報をご覧ください。
- → フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。
- → 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディ スクの内容がウィンドウで表示されている。ウィンドウ表示されているときは初期 化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは 「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(262ページ)をご覧ください。

ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは 「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(262ページ)をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

- → フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。
- → ディスクドライブにリカバリディスクが入っていないか確認する。
- → ディスクドライブにブータブルCD、またはブータブルDVDが入っていないか確認する。
- → 上記の操作を行っても起動できない場合は、リカバリディスクを使って、本機を再 セットアップする。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(262 ページ)をご覧ください。

DVD-ROM/CD-ROM

音楽CDをデジタル再生していると、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。

- → 以下の手順に従って設定を変更してください。
 - デスクトップ画面左下の タスタート をクリックして[すべてのプログラム]に ポインタを合わせ、[Windows Media Player]をクリックする。
 「Windows Media Player」ソフトウェアが起動します。
 - **2** [ツール]をクリックし、表示されるリストから[オプション]をクリックする。 「オプション」画面が表示されます。
 - 3 [デバイス]タブをクリックする。
 - 4 プロパティ(P) をクリックする。
 - 5 「再生」の中にある[アナログ]の○をクリックして、④にする。
 - 6 OK をクリックする。
 - 7 デスクトップ画面左下の タイン をクリックし、 (マイコンピュータ)を 右クリックして、表示されるリストから[プロパティ]をクリックする。 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
 - **8** [ハードウェア]タブをクリックする。 「ハードウェア」画面が表示されます。
 - 9 デバイスマネージャ(D) をクリックする。 「デバイスマネージャー」画面が表示されます。
 - **10** [DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックし、表示されるディスクドライ ブ名を右クリックして[プロパティ]をクリックする。 「(ディスクドライブ名)のプロパティ」画面が表示されます。
 - 11 [プロパティ]タブをクリックする。
 - **12**「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」の ▼ をクリックして、 □ にする。
 - **13** OK をクリックする。

CD-ROMが再生されない、または音楽CDの再生時、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。

- → CD-ROMをディスクドライブに入れてください。
- → CD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。CD-ROMは文字が書 いてある面を上にして入れます。
- → CD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。
- → 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。
- → 使用できないディスクの可能性があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]
 →[使用できるディスク]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- → 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

DVD-ROMが再生できない。またはDVDビデオの再生時、画像または音がとぎれる。

- → DVD-ROMが正しく DVD-RWドライブまたは DVD-ROMドライブ(PCV-RX76のみ) に入っているか確認する。DVD-ROMは再生したい面を下に向けて入れます。
- → 地域番号(リージョンコード)が違う DVD-ROMを入れている。本機では、地域番号 (リージョンコード)として「2」または「ALL」が記されていない DVD-ROM は再生で きません。
- → DVD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。
- → 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。
- → 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

DVD-ROMが取り出せない。

→ DVD-ROMはイジェクトボタンを押しても、状態によっては取り出せないことがあ ります。

エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。

- → ハードウェアアクセラレータが最大になっているか確認する。
 - 1 デスクトップ画面左下の タイト をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
 - [デスクトップの表示とテーマ]をクリックする。
 「デスクトップの表示とテーマ」画面が表示されます。
 - **3 [画面]をクリックする。** 「画面のプロパティ」画面が表示されます。
 - **4** [設定]タブをクリックする。 「設定」画面が表示されます。
 - 5 詳細設定 をクリックする。 プロパティ画面が表示されます。
 - **6** [トラブルシューティング]タブをクリックする。 「トラブルシューティング」画面が表示されます。
 - 7 「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かし、最大に設定する。
 - **8** OK をクリックする。 「設定」画面が表示されます。
 - 9 「画面のプロパティ」画面で OK をクリックする。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の **ジ** (iPower!)をクリック すると、再生ウィンドウが黒くなる。

→「コンピュータの管理者」権限でログオンして、 (iPower!)をクリックする。
 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の (iPower!)をクリックすると、再生ウィンドウ上に「ReadMe」が表示されます。ただし、初めて「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの (iPower!)をクリックするユーザーの権限が「制限付きアカウント」の場合、再生ウィンドウが黒くなり、「ReadMe」が正常に表示されません。この場合、いったん「コンピュータの管理者」権限でログオンし直してから、
 (iPower!)をクリックしてください。1度この操作を行えば、「制限付きアカウント」権限のユーザーが (iPower!)をクリックしても、「ReadMe」が正常に表示されます。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動できない。

 → エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動できないことがあります。
 この場合は、エクスプローラを終了させてから、ソフトウェアを起動してください。
DVD-RW/DVD-Rに書き込めない。

- →「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込み済みのディス クには追記で書き込みはできません。 DVD-RWの場合は、書き込み済みデータの消去を行えば再度書き込みができます。
- → 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込みデータ容量の1 割増程度のハードディスク空き容量が必要となります。ハードディスクに充分な空 き容量があることを確認してください。例えば、4.3Gバイトのデータを書き込む場合 は、ハードディスクには約4.7Gバイトの空き容量が必要になります。
- → 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、1つのファイルサイズ が、4Gバイト(4,294,967,296バイト)以上のファイルは、書き込むことはできませ ん。
- → 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、ハードディスクの空き 容量が、書き込むデータ容量の約2倍必要となります。ハードディスクに充分な空き 容量(最大約10Gバイト)があるか確認してください。
- → 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込むことのできる データは、本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアや「DVgate」ソフトウェアで作 成した MPEG ファイルのみです。

DVD-RW/DVD-Rに書き込み時に書き損じが起こる。

- → データ書き込み中に他のソフトウェアを起動すると、書き込みは正常に行われません。
- → データ書き込み中に、スクリーンセーバーなどの常駐プログラムが自動的に起動すると、書き込みは正常に行われません。 データを書き込む前にこれらの機能の設定を解除しておいてください。
- → データの書き込み中に、i.LINK対応機器やUSB機器などを接続したり、それらの電源 を入/切したり、また、インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど他 のコンピュータやネットワークにアクセスすると、書き込みは正常に行われません。

DVD-RW/DVD-Rの書き込みに時間がかかる。

→ DVD-Rにディスク・アット・ワンスで書き込む場合、データは最低限1Gバイト(1倍速で約12分)まで書き込む必要があります。書き込むデータの容量が1Gバイト以下の場合、本機では合計で1Gバイトまでダミーの書き込みを行います。これは、規格上、再生互換性を保つためです。 そのため、DVD-RW / DVD-Rに1Gバイト未満の容量のデータを書き込んだ場合、データの書き込みは終了していても、書き込み処理完了までさらに20分~40分かかることがありますが、故障ではありません。この場合、プログレスレバーは100%を示したままで変化はありませんが、そのままお待ちください。

CD-RW/CD-R

CD-Rに書き込めない。

- → CD-Rは1度書き込むと書き換えはできません。ソフトウェアによっては、ディスクに 空きがあるときは追記が可能な場合があります。
- → CD-Rはディスクがいっぱいになると、1度書き込んだデータを削除しても空き容量 は増えません

CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。

→ CD-RWを使用して作成した音楽CDはCD-RWに対応しているドライブでのみ再生 できます。

i.LINK

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。

→ i.LINK対応機器の電源を切り、いったんi.LINKケーブルを抜き差ししてから、電源を 入れ直してください。

「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。

→ 他のソフトウェアが起動していないか確認する。他のソフトウェアが起動中に 「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器への録画を繰り返し行うと、録画が できなくなることがあります。この場合は、本機を再起動してください。

i.LINK接続した VAIO同士で接続できない。

- → お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。 詳しくは、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(214ページ)をご覧ください。
- → i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続 できないときは再起動してください。
- → ネットワークの設定によっては、省電力モードから復帰後に接続できなくなること があります。その場合は、省電力モードに入らないようにしてご使用ください。

本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正しく動作しない。

- → 本機にi.LINK対応機器を接続すると、まれに正しく動作しないことがあります。この 場合は、下記の手順に従って操作してください。
 - 1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。
 - 2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。

本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックし、[終 了オプション]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で、[電 源を切る]を選んで電源を切ってください。 本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

- 3 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。
- 4 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

録画、再生

「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画が正常に できない。

- → 本機につないだ機器が正しく接続されているか確認する。
- → 「DVgate」ソフトウェアのヘルプまたは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプおよび 取扱説明書をご覧ください。

テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

→ 169ページをご覧ください。

録画を実行しても何も録画されない。

- → 本機に接続した機器が動作していない。ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。
- → ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができないことがあります。本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー 画面などは表示や録画ができないことがあります。

番組を予約録画できない。

- → 入力設定が間違っている。「Giga Pocket」ソフトウェアの入力設定(TVチューナー、 VIDEO 1 INPUT(後面)、VIDEO 2 INPUT(前面)、i.LINK)を確認してください。
- → 予約マネージャーが起動していない。本機の電源が入っているか確認してください。 または予約マネージャーが起動しているか確認してください。

最初の部分が録画されていない。

→ 録画が始まるまでに10数秒かかることがあります。実際に録画するときは、10数秒早く (録画)をクリックしてください。

画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サイズが大きすぎる(小さすぎる)。

→ ディスプレイの設定を「Giga Pocket」ソフトウェア用に設定しないと、正しく表示されません。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[設定を変更する]→[ディスプレイの設定を変更する]→[設定変更のしかた]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

i.LINKコネクタに映像が出力されている。

→ 「Giga Pocket」ソフトウェアの「設定」画面の[i.LINK端子へ出力]にチェックマーク が付いていると、i.LINKを入力に選択した場合以外、選択されているテレビやアナロ グビデオの映像がDV変換され、i.LINKコネクタに出力されます。映像をi.LINKコネ クタに出力したくないときは、「Giga Pocket」ソフトウェアの「設定」画面の[i.LINK 端子へ出力]のチェックマークをはずしてください。

「Giga Pocket」ソフトウェアが起動できない。

→ エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「Giga Pocket」ソフ トウェアを起動できないことがあります。この場合は、エクスプローラを終了させて から、「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。

カスタマーご登録

オンラインでカスタマー登録できない。

- → カスタマー登録するときは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーで ログオンしてください。
- → 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。(48ページ)
- → お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの 種類に合わせて内蔵モデムを設定する。 お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送 られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と 記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されて いる場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、 NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせください。
- → ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネ クタをつないでください。(51ページ)
- → ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては、正しく通信できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

モデム/インターネット

モジュラジャックが取りはずせない。

→ 「接続する/準備する」(44ページ)の手順4の「本機からテレホンコードを取りはずす には」をご覧ください。

インターネットに接続できない。

- → インターネットへの接続から、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりは、以下 の手順で行われています。
 - 1 本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ(ISDN回線の場合)を認識する。
 - 2 本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかける。
 - 3 プロバイダのサーバーに接続され、プロバイダと本機の内蔵モデムやターミナ ルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われる。
 - 4 プロバイダのサーバーが、ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目を確認する。 ここまでで問題がなければ、本機がインターネットに接続します。
 - 5 ウェブブラウザ(「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど)でホームペー ジを見る。
 - 6 電子メールをやりとりする。

インターネットに接続できない場合は、上記の各手順で問題があることが考えられます。 次のチェック項目に従って接続や設定を確認してください。 それでも接続できないときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

ご注意

接続や設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンして確認してくだ さい。 本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ(ISDN回線の場合)を認識していない。

以下の点をご確認ください。

チェ	ック項目	ここをご覧ください
	内蔵モデムは認識されていますか? また接続した電話回線は内蔵モデム で使用できるものですか?	A-1(188ページ) A-2(189ページ)
	ISDN回線に接続していませんか?	B-1 (192ページ) B-2 (192ページ) B-3 (192ページ)
	テレホンコードは正しく接続されて いますか?	C-1 (192ページ) C-2 (192ページ) C-3 (192ページ)

本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかけて いない。

以下の点をご確認ください。

チェ	ック項目	ここをご覧ください
	ダイヤル方法は正しいですか?	D-1 (193ページ) D-2 (193ページ)
	接続先 (プロバイダのアクセスポイン ト)の電話番号は間違っていませんか?	E-1(194ページ)
	トーンを待ってダイヤルする設定に なっていませんか?	F-1 (195ページ)
	内蔵モデムやターミナルアダプタが3 回以上連続してダイヤルしていませ んか?	G-1 (195ページ)



2

プロバイダのサーバーと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの 間で必要な信号のやりとりが行われていない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
	ネゴシエーションは正しくできてい ますか?	H-1 (196ページ)
	「ハイパーターミナル」ソフトウェア で時報など、他の電話番号にダイヤル しても接続できませんか?	Ⅰ-1(197ページ) Ⅰ-2(197ページ)

ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目が プロバイダのサーバーによって認証されない。

以下の点をご確認ください。

チェ	ック項目	ここをご覧ください
	ユーザー名やパスワードは正しく設 定されていますか?	J-1 (197ページ)
	ユーザー名やパスワードを忘れてし まったのですか?	K-1(198ページ)
	ダイヤルアップネットワークの設定 は正しいですか?	L-1 (199ページ)
	ネットワークの設定は正しいです か?	M-1 (200ページ)
	ダイヤルアップ接続アイコンを削除 し、再度作り直しても接続できません か?	N-1 (201ページ)

5

Δ

ウェブブラウザ(「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど)で ホームページを見ることができない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
	ネットワークやダイヤルアップネッ トワークの設定は正しいですか?	O-1 (202ページ)
	ホームページのURLをアドレスバー に入力してホームページを見るとき、 URLは正しいですか?	P-1(202ページ)



電子メールをやりとりできない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
	電子メールソフトウェアの設定は正	Q-1 (203ページ)
	しいですか?	Q-2(204ページ)

A-1 PBXなどの交換機や他の通信機器を経由して接続している。

NTTの一般電話回線と直接接続してください。本機の内蔵モデムは一般電話回線との接続を前提としています。集合住宅などで、PBXなどの交換機を経由する場合は、PBXなどの交換機が一般電話回線用のモデムに対応しているか確認してください。対応していない場合、接続できなかったり、本機の故障や破損の原因となることがあります。また、接続できても途中でとぎれたり、通信速度が遅いことがあります。

PBXなどの交換機を経由して0発信で接続するときは、以下の手順に従って操作し、外線発信番号を「0」(0発信)にしてください。

- デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- **3** [電話とモデムのオプション]をクリックする。 「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- **4** 「ダイヤル情報」タブをクリックし、編集(E) をクリックする。 「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で 「0」(ゼロ)と入力する。



- 6 OK をクリックする。
- **7** [モデム]タブをクリックする。 「モデム」画面が表示されます。
- **8** お使いのモデムをクリックして選び プロパティ(P) をクリックする。 内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。
- [モデム]タブをクリックする。
 「モデム」画面が表示されます。

10「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。

Lucent Win Modemのプロパティ	?×	
全般 モデム 診断 詳細 ドライバ リソース 電源の管理		
ポート: COM3		
音量(<u>S</u>)		
オフ (一) 商		
ポートの最高速度(10)		
115200		
8 (http://www.ali		
目前に言葉を持ってからダイヤルする(W)		
ОК	キャンセル	

11 OK をクリックする。

12「電話とモデムのオプション」画面での低くしたクリックする。

▲-2 以下の手順に従って操作し、内蔵モデムが正しく認識されているか確認してください。

1 内蔵モデムが本機に認識されているか確認します。

- デスクトップ画面左下の 22 スタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- **3** [電話とモデムのオプション]をクリックする。 「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- **4** [モデム]タブをクリックする。 「モデム」画面が表示されます。
- 5 お使いのモデムをクリックして選び プロパティ(P) をクリックする。 内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。
- 6 [診断]タブをクリックする。

7 モデムの照会(@) をクリックする。

コマンドに対して応答メッセージが表示されたら、内蔵モデムは正しく認識されて います。

コマンドに対して応答メッセージが表示されない場合は、本機を再起動して手順1 ~7をもう1度行ってください。



2内蔵モデムが他のデバイスと競合していないか確認します。

- デスクトップ画面左下の フォート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 【パフォーマンスとメンテナンス】をクリックする。
 「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
- **3** [システム]をクリックする。 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **4** [ハードウェア]タブをクリックする。 「ハードウェア」画面が表示されます。
- 5 <u>デバイスマネージャ(D)</u>をクリックする。 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 6 퉱 (モデム)をダブルクリックする。

お使いのモデムのアイコンに「!」がついているものは、他のデバイスと競合を起こ しています。



③内蔵モデムの設定をいったん削除し、もう1度、組み込み直します。

- デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。
 「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
- **3** [システム]をクリックする。 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **4** [ハードウェア]タブをクリックする。 「ハードウェア」画面が表示されます。
- 5 <u>デバイスマネージャ(D)</u>をクリックする。 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- **6** [モデム]をダブルクリックする。
- 7 お使いのモデムをクリックして選び、メニューバーの[操作]をクリックして表示されるメニューから[削除]をクリックする。 「デバイスの削除の確認」画面が表示されます。

¹⁰ , デバイス マネージャ	. ox
ファイルモン 操作(品) 表示(公) ヘルプ(日)	
■ 004-0700422 ■ 00400-4800 [9:17]	

- **8** OK をクリックする。 内蔵モデムの設定が削除されます。
- 9 「デバイスマネージャ」画面の×をクリックして画面を閉じる。
- **10「システムのプロパティ」画面で**OK
 をクリックする。
 「システムのプロパティ」画面が閉じます。
- 11 本機を再起動する。

再起動時に内蔵モデムが検出され、対応するドライバが自動的に組み込まれます。

B-1 一般電話回線がある場合は、一般電話回線に接続し直してください。

契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応してい ないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳 しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、ISDN回線に接続し直してください。

B-2 ISDN回線しかない場合は、本機の内蔵モデムをターミナルアダプタのアナ

ログポートに接続するか、または、ターミナルアダプタの設定を行い、内蔵モデムの 代わりに使用してください。

ターミナルアダプタの設定について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。 契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応してい ないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳 しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタを接続 し直してください。

B−3 ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認してください。

詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

C-1 本機を電話回線に接続するときは、付属のテレホンコードをお使いください。

C-2「発信音が聞こえません」または「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」というメッセージが表示されるときは、テレホンコードが本機側および壁側、 ターミナルアダプタなどへしっかりと奥まで接続されているか確認してください。

C-3 電話回線のコンセントと本機の間に付属以外の分配器などの機器をつなげないでください。

D−1 以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法(トーン/パルス)が正しく設定 されているか確認してください。

- 1 デスクトップ画面左下の オスタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- **3** [電話とモデムのオプション]をクリックする。 「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- **4** 編集(E)… をクリックする。 「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「ダイヤル方法」が112ページで作成したチェックシートの ⑥トーン/パルス (電話回線の種類)と同じか確認する。

ダイヤリルラの所在地を装置します。 日本 ● 日本 ● クイヤリパ毎日 ○の府在地やらダイヤリよると気に適用する規則 市内小融払の供合の外線発信書号(2) 市外電払の場合の外線発信書号(2) 市外電払び場合の外線発信書号(2) 市外電払び場合の(4) 市外電払び場合の外線発信書号(2) 市外電払び場合の(4) 国際通転(使用する電話会社の個部)場号(2) 国際通転(使用する電話会社の個部)場号(2) 国際通転(使用する電話会社の個部)場号(2) 国際通転(6) 日本マッナル(相応後知さるための電号(4) ● トーン(2) 0K をやし、	 № №<th>―― ここを確認する。</th>	―― ここを確認する。

7 「電話とモデムのオプション」画面で 0K をクリックする。

ϔ ちょっと一言

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で、「ダイヤル情報を使う」がチェックされている必要があります。 詳しくは、「接続のための設定をする」(117ページ)の手順20をご覧ください。

D-2 お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会

社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線 使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ 記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について 詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせください。

E-1 以下の手順に従って操作し、接続先の電話番号を確認してください。

- デスクトップ画面左下の タノスタート をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3** [ネットワーク接続]をクリックする。 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(112ページで作成したチェックシートの●ダイヤル アップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をク リックする。 プロパティ画面が表示されます。
- 5 「接続の方法」の表示内容および「電話番号」の入力欄が間違っていないか確認する。



ϔ ちょっと一言

プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号を分けていること もあります。使用する電話回線に合った電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。 F-1 以下の手順に従って操作し、トーンを待ってダイヤルする設定を解除して ください。

- デスクトップ画面左下の チェスタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- **3** [電話とモデムのオプション]をクリックする。 「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- **4** [モデム]タブをクリックする。 「モデム」画面が表示されます。
- 5 お使いのモデムをクリックして選び、プロパティ(P)をクリックする。 内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。
- **6** [モデム]タブをクリックする。 「モデム」画面が表示されます。
- 7 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。

Lucent Win Modemのプロパティ ?	×
全般 モデム 診断 詳細 ドライバ リソース 電源の管理	
ポート: COM3	
音量(<u>S</u>)	
d7 m	
- ポートの最高速度0 <u>0</u> 115200 ♥	
ダイヤルの管理	ここをクリックしてチェックをはずす。
OK 年ャンセル	

8 OK をクリックする。

9 「電話とモデムのオプション」画面で OK をクリックする。

G-1 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかる場合があります。3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

H-1 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーション が始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

ϔ ネゴシエーションとは?

内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダのサーバーとの間で必要な信号のやりとりを行うことで、接 続先につながると、「ピーヒョロロロ…」という音がします。

電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみてください。

接続先(プロバイダのアクセスポイント)の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてく ださい。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

- 1 デスクトップ画面左下の タイン をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3 [ネットワーク接続]をクリックする。** 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(112ページで作成したチェックシートの●ダイヤル アップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をク リックする。 プロパティ画面が表示されます。

5 「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。

So-netのプロパティ ? × 全較 オブション セキュリティ ネットワーク 詳細設定 推動の方法 第二天日 トレットローク 詳細設定	
● 17 A - Usenit with Modern CONSS 電話番号 市外局番(E) 国参号/地域音号(E) 日本 (B1) ● 1 ● 1 ● 1 ● 1 ● 1 ● 1 ● 1 ● 1	―― ここに入力する。
 ダイヤル情報を使う ダイヤル情報 ダイヤル情報 ダイヤル情報 ダイヤル情報 ダイヤル ダイヤル ダイヤル ダ病時に お助精城に アイコンを表示する	

OK をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

6

■1 以下の手順に従って操作し、「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してください。

1 デスクトップ画面左下の // スタート をクリックして[すべてのプログラム]に ポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[ハイパーターミナル]の順にクリッ クする。

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2 「名前」に任意の名前を入れ、 OK をクリックする。



- **3**「電話番号」に時報の番号(117)を入れ、 OK をクリックする。 「接続」画面が表示されます。
- 4 <u>ダイヤル(D)</u>をクリックする。

-2 お使いになっているソフトウェアの設定を確認してください。

J−1「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルク リックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイ ヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直 してみてください」というメッセージが表示されるときは、ユーザー名やパスワー ドを確認してください。

ご注意

上記のメッセージは、ユーザー名やパスワードが正しくないときにのみ表示されるわけではありません。

ユーザー名とパスワードを確認するには、以下の手順に従って操作します。

- 1 デスクトップ画面左下の 3 スタート をクリックして[コントロールパネル]を クリックする。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3** [インターネットオプション]をクリックする。 「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 [接続]タブをクリックする。
- 5 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の中のダイヤルアッ プ接続名(112ページで作成したチェックシートの①ダイヤルアップ接続名)を 選び、 設定⑤ をクリックする。 設定画面が表示されます。
- 6 「ダイヤルアップの設定」の「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。



K-1 プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

L-1 ユーザー名やパスワードを確認して接続してもJ-1(197ページ)で説明した メッセージが表示されるときは、以下の手順に従って、ダイヤルアップネットワー クの設定を確認してください。112ページで作成したチェックシートをご覧になり ながら、設定内容が正しいか確認していきます。

- デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3** [ネットワーク接続]をクリックする。 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(112ページで作成したチェックシートの①ダイヤル アップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をク リックする。 プロパティ画面が表示されます。
- **5** 各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されている か確認する。



「全般」タブ

「ネットワーク」タブ



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面

「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックして選び プロパティ(P) をクリックすると表示されます。



ご注意

プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない(自動設定)場合は、[次のDNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]をクリックしてください。

🍟 ちょっと一言

DNSサーバーアドレス(プライマリDNSとセカンダリDNS)がチェックシートと異なる 場合は、[次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックしてから、正しいアドレスを 入力します。

М−1 以下の手順に従って操作し、ネットワークの設定を確認してください。

- デスクトップ画面左下の メタート をクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- **2** [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3** [ネットワーク接続]をクリックする。 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(112ページで作成したチェックシートの●ダイヤル アップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をク リックする。 プロパティ画面が表示されます。
- **5** [ネットワーク]タブをクリックする。 「ネットワーク」画面が表示されます。



▶-1 ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直して接続してみてくだ

さい。

ダイヤルアップ接続アイコンを作り直すには、以下の手順に従って操作します。

- デスクトップ画面左下の タクリックして、[コントロールパネル]を クリックする。
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 【ネットワークとインターネット接続】をクリックする。
 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- **3** [ネットワーク接続]をクリックする。 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(112ページで作成したチェックシートの①ダイヤル アップ接続名)のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。 ダイヤルアップアイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。

Name Name <td< th=""><th>スのマノコンを判除する</th></td<>	スのマノコンを判除する
Construction Construction<	このアイコンを削除する。

- 5 はい☆ をクリックする。 ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。
- **6** 「ネットワークタスク」の中の[新しい接続を作成する]をクリックする。 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

- 8 [インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、次へゆ〉をクリックする。 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。 以下の手順は「接続のための設定をする」(117ページ)の手順3~25の操作を行ってください。 インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワーク接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。 このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

○-1 L-1(199ページ)やM-1(200ページ)の操作を行い、ネットワークやダイヤ ルアップネットワークの設定を再度確認してください。

▶-1 アドレスバーに入力されている英数字を確認してください。また、URLは半角で入力してください。

URLの中には「~」(チルダ)という特殊な記号を入力するものもあります。「~」を入力するには、MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、☆☞☆ (シフト)キーを押しながら kmを押し ます。



Q-1「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。112ページで作成した チェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

- デスクトップ画面左下の パスタート をクリックして[すべてのプログラム]に ポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。
 「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
 「接続」画面が表示されたときは、 キャンセル をクリックします。
- 2 画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[アカウント]をク リックする。 「インターネットアカウント」画面が表示されます。
- **3** [メール]タブをクリックする。 「メール」画面が表示されます。
- **4** お使いのアカウントをクリックして選び、 プロパティ(P) をクリックする。 お使いのアカウントのプロパティ画面が表示されます。
- 5 各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されている か確認する。

「全般」タブ



「サーバー」タブ

チェックシートの①受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) 🗟 Ichiro Suzuki のプロパティ サーバーと同じか? 全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定 サーバー情報 受信メール サーバーの種類(M): POP3 チェックシートの**企**送信メール(SMTP) 受信メール (POP3)①: (pop.aa2.so-net.ne.jp 送信メール (SMTP)(①: (mail.aa2.so-net.ne.jp サーバーと同じか? 受信メール サーバー チェックシートのBPOPアカウント名と アカウント名(0): Ichin パスワード(P): ***** 同じか? -ドを保存する(121/25 セキュリティで保護されたパスワード認証でログオン する(S) チェックシートの①パスワード(POPア 送信メール サーバー □このサーバーは認証が必要(\/) カウントパスワード)をもう1度入力し てみてください。 OK キャンセル 適用(

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設 定されません。 Q-2「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それ ぞれのソフトウェアのヘルプをご覧になり、112ページで作成したチェックシート の **①** ~ **①** が正しく入力されているか確認してください。

動画/静止画編集

「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。

- → i.LINK対応機器の認識ができない。「Smart Capture」ソフトウェアが起動している。
 「Smart Capture」ソフトウェアと「DVgate」ソフトウェアをいったん終了し、
 「DVgate」ソフトウェアのみを起動してください。
- → i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。
- → 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「DVgate」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。

- → i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。
- → 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「MovieShaker」ソフトウェアについて詳しくは、「MovieShaker」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画/静止画を電子メールで送れない。

- → 動画が電子メールで送れないときは、撮影時のモードを確認する。ネットムービー モードで撮影した動画のみ、電子メールに添付できます。
- → 電子メールソフトウェアの設定が正しいか確認する。詳しくは、「モデム/インター ネット」(185ページ)をご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Capture」ソフトウェアのヘルプをご覧 ください。

エラーメッセージ

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

→ 167ページをご覧ください。

電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」 または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

 → フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、フロッ
 ピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、 ^(四) (エンター)キーを 押す。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、 Windowsが起動できない。

→ 167ページをご覧ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

- → 176ページをご覧ください。
- 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。
 - → **176**ページをご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

→ 本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。 バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

- → BIOSの設定内容が壊れている。以下の手順に従って操作し、BIOSをお買い上げ時の 設定に戻してください。
 - 本機前面の()(電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キー ボードの ◎キーを押す。
 BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示され ます。
 - 2 ◎ (Setup Defaults)キーを押す。 「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

 - 5 圖/圖キーを押して[Yes]を選び、『(エンター)キーを押す。 変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが 起動します。
- → BIOSをお買い上げ時の設定に戻しても再度メッセージが表示されるときは、本機内 のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。 バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせくださ い。

「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示される。

- → 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。 小。付属のリカバリディスクをディスクドライブに挿入しないでください。
 - **1** メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。 「ファイルのコピー」画面が表示されます。
 - **2** 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。

必要なファイルがコピーされます。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリック して、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤル アップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直して みてください」というメッセージが表示された。

→ 197ページをご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうと すると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことがで きない。

- → 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。
 - 1 デスクトップ画面左下の ジェスタート をクリックして[すべてのプログラム]に ポインタを合わせ、[Acrobat Reader 5.0]をクリックする。
 - 2 言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、 をクリックする。
 言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。
 - 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、

 「意する(A) をクリックする。
 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」ソフ

' ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されすに ' Adobe Acrobat Reader」ソフ トウェアが起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。

- 4 「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の × をクリッ クする。
- 5 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかった PDF形式 のファイルを開き、表示されることを確認する。

接続/拡張するときは

この章では、本機と周辺機器の接続と本機の拡張について 説明します。

i.LINK 対応機器をつなぐ

i.LINK対応機器の接続のしかた

デジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器を本機につないで、動画や静止画を取り込んだり、本機から動画を送出してテープに録画できます。

ご注意

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピュー ターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK 接続でデータをやりとりする」(214 ページ)をご 覧ください。
- i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。接続に必要なケーブルや、 操作できる機器について詳しくは、「必要な i.LINK ケーブル」(212 ページ)および「本機で操作で きる i.LINK 対応機器」(213 ページ)をご覧ください。
- デジタルビデオカメラレコーダーを接続するときは1度電源を切ってから接続し、電源を入れ直してください。本機の電源は切る必要はありません。
- 1 度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは 1 台のみです。同時に 2 台以上のデジタル ビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機の i.LINK コネクタは最大 400Mbps のデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続した i.LINK 対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続する i.LINK 対応機器や使用するソフトウェアに よって異なります。詳しくは、i.LINK 対応機器の取扱説明書や、本機に付属の「DVgate」などの各 ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「DVgate」ソフトウェアと「Giga pocket」ソフトウェアの「アナログ DV コンバータ」を併用して、 アナログのビデオカメラレコーダーやビデオデッキから動画や静止画を取り込むときは、一緒に i.LINK 対応機器をつないだままにせず、取りはずしてください。(PCV-RX76/RX66 のみ)

前面パネルのコネクタ(4ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン ↔ 4ピン、付属)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

接続の際は、付属のi.LINKケーブルをお使いください。

後面パネルのコネクタ(6ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン↔6ピン、別売り)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対 応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、本機に付属のi.LINKケーブル、本機で操作できるi.LINK対応機器に付 属のi.LINKケーブルまたは、下記のソニー製i.LINKケーブル(別売り)をお使いください。 本機には4ピン↔4ピンのi.LINKケーブル(1.5m)が付属しています。長い4ピン↔4ピンの i.LINKケーブルが必要な場合は、別売りのVMC-IL4435A(3.5m)をお使いください。

6ピン↔6ピン

- VMC-IL6615A(1.5m)
- VMC-IL6635A(3.5m)



4ピン↔4ピン

- VMC-IL4408A(80cm)
- VMC-IL4415A(1.5m)
- VMC-IL4435A(3.5m)



4ピン↔6ピン

- VMC-IL4615A(1.5m)
- VMC-IL4635A(3.5m)





DVケーブルはご使用になれません。

本機で操作できる i.LINK 対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器に接続して、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り 込むことができます。(2002年3月1日現在)

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューター
- i.LINK コネクタを持つソニーノートブックコンピューター^{*}
 - * 別売りのパワーアップステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルがあります。
 - 取り付けかたについて詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ソニーが 2002 年 3 月 1 日までに日本国内で発売した、DV 端子付きの家庭用 DV 機器 (Digital 8 デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く) DV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate」、「MovieShaker」、「Smart Capture」となります。 ただし、ソフトウェアによっては一部の DV 機器が動作対象外になる場合があります。 詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書、電子マニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどをご覧 ください。
- ソニーが2002年3月1日までに日本国内で発売した、MPEG端子付きの家庭用 MICROMV 機器(ツーリストモデルは除く)。
 MICROMV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「MovieShaker」ソフトウェアとなります。
- その他、ソニー製の VAIO ブランドの i.LINK 対応機器の最新情報は、VAIO カスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ご注意

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデー タのやりとりをする場合は、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(214ページ)をご覧ください。
- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSビデオ デッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することができません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。
 i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア (OSを含む)、ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで接続を行うコンピュータ周辺機器(ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど)は、OSに よっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK 接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応した VAIO や Windows XP または Windows Me を搭載した VAIOを別売りの i.LINK ケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、 削除、編集などを行うことができます。

また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。接続について詳しくは、「i.LINK対応機器の接続のしかた」(210ページ)をご覧ください。

Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

「Smart Connect」ソフトウェアを搭載した VAIO と本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」ソフトウェアのバージョンをご確認ください。

- 「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェア以降の場合
 「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアの通信モードを「STD モード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアのヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
- •「Smart Connect Ver.2.2」ソフトウェア以前の場合

「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」ソフトウェア をアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIO ホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html)をご覧ください。

ご注意

- アップグレード対象外の機種もあります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とではデータのやりとりはできません。

ご注意

- i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- i.LINKで接続した VAIOでは、次のような条件のときにデータのやりとりができなくなることがあります。
 - i.LINKケーブルを接続したまま、どちらかのコンピュータを再起動したとき
 - データをやりとりできる状態で本機にPCカードを挿入したとき
 - データのやりとりができなくならないように、再起動するときは、i.LINKケーブルを抜く、または、PC カードを挿入してから再起動を行ってください。

データのやりとりができなくなったときは、以下の手順に従って操作してください。 データのやりとりができるようになります。

1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。

2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。

本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の タイスタート をクリックし、[終了オプション]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」を選んで電源を切ってください。 本機を再起動しても、i,LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に止しく認識されません

- 3 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。
- 4 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。
- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有(Windows XP)、またはネットワーク共有サービス(Windows 98、Me)のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- i.LINKケーブルを再度接続したあとは、接続先のVAIOを認識するのに数分かかることがあります。

ϔ 接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、「マイネットワーク」画面にすぐには表示されないことがあります。

そのときは、デスクトップ画面左下の 29 スタート をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュー タ]をクリックしたあと、[マイネットワーク]を右クリックして[コンピュータの検索]を選択し、接続先のコ ンピュータ名を入力して検索してください。

ϔ 接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネット ワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。

デスクトップ画面左下の 278-ト をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュータ]をクリッ クしたあと、[マイネットワーク]をクリックします。「マイネットワーク」画面左上の「ネットワークのタス ク」から[ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする]をクリックし、[ネットワークセット アップウィザードの開始]で設定することもできます。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには、デスクトップ画面左下の *37 スタート*をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックします。

AV機器をつなぐ

目的別接続例

本機にはいろいろなAV機器をつなぐことができます。

ここでは用途別に接続例を紹介します。

こんなことがしたい	本機とAV機器をつなぎます。
 ビデオデッキの動画を本機につないだディス	本機とビデオデッキをつなぎます。
プレイで見たい。 ビデオデッキの動画を本機のハードディスク	接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつな
に録画したい。	ぐ」をご覧ください。
 ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本	本機とビデオカメラレコーダーをつなぎます。
機につないだディスレイで見たい。 ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本	接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつな
機のハードディスクに録画したい。	ぐ」をご覧ください。
ディスプレイで見ている動画をテレビでも見た	本機とテレビをつなぎます。接続のしかたについては
い。	「テレビにつなぐ」(219ページ)をご覧ください。

ビデオ機器をつなぐ

ビデオデッキやビデオカメラレコーダーを本機につないで、ディスプレイでビデオデッキの動画を 見たり、本機のハードディスクドライブに動画を録画することができます。また、本機で再生した動 画をビデオデッキで録画することもできます。

Sビデオ接続ケーブル(4ピン ↔ 4ピン、別売り)とオーディオ接続ケーブル(付属)を使って、本機 とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーをつなぎます。

本機には前面および後面パネルに映像/音声入力コネクタとS映像入力コネクタがあり、どちらの 入力コネクタを使うこともできます。

ビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 前面パネルの音声入力コネクタを使うときは、別売りのオーディオ接続ケーブルが必要です。

🍟 本機とビデオデッキやテレビで同時に 1 つのアンテナコネクタを使うときは

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する/準備する」(44ページ)のテレビアンテナ接続の手順をご覧ください。
ビデオ機器の映像を見たり録画するには

付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使います。ビデオ機器の動画を「Giga Pocket」ソフトウェアで 扱う方法については、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

後面パネルのコネクタを使うとき

• ビデオデッキやビデオカメラレコーダーの動画を見たり取り込むとき



• 本機で録画した動画をビデオデッキやビデオカメラレコーダーに録画するとき



ご注意

本機のVIDEO 1 INPUT コネクタとVIDEO OUTPUT コネクタの両方を同一のビデオデッキまたはビデオカ メラレコーダーの映像出力コネクタおよび映像入力コネクタにそれぞれつないだとき、ビデオデッキまたは ビデオカメラレコーダー側で映像入力を切り換えたり、本機側で「Giga Pocket」ソフトウェアを使って映像入 力を切り換えると、雑音が出たり、映像が乱れることがあります。

☆ S 映像入力/出力コネクタのないビデオデッキやビデオカメラレコーダーをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで 使うことができます。



🍟 ちょっと一言

別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。

前面パネルのコネクタを使うとき



ϔ ちょっと一言

- S映像入力コネクタにSビデオ接続ケーブルをつながないときは、ビデオ/オーディオ接続ケーブル(別売り)をつなぐか、ビデオ接続ケーブル(別売り)を映像入力コネクタへ、オーディオ接続ケーブル(別売り)を 音声入力コネクタへつないでください。
- 別売りのソニー製のケーブルには以下のようなものがあります。

ビデオ/オーディオ接続ケーブル	:VMC-815Sなど
ビデオ接続ケーブル	:VMC-15など
オーディオ接続ケーブル(2ピン ↔2ピン)	:RK-C315など
Sビデオ接続ケーブル	:YC-15Vなど

なお、ビデオ接続ケーブルは本機に1本付属しています。

テレビにつなぐ

「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する動画や「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアで再生する DVDビデオをテレビでも見ることができます。

Sビデオ接続ケーブル(4ピン ↔ 4ピン、別売り)とオーディオ接続ケーブル(付属)を使って、本機 とテレビをつなぎます。接続してから、テレビの入力切り換えを「ビデオ」に合わせます。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機では、ディスプレイとテレビの両方を接続していてもDVDビデオの映像は両方同時に表示されないことがあります。



ϔ ビデオデッキをつなぐときは

本機のVIDEO OUTPUTコネクタとビデオデッキの映像/音声入力コネクタをつなぎ、ビデオデッキの映像 /音声出力コネクタとテレビの映像/音声入力コネクタをつなぎます。

ϔ 本機とビデオデッキやテレビで同時に 1 つのアンテナコネクタを使う場合は

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する/準備する」(44ページ)のテレビアンテナ接続の手順をご覧ください。

ϔ S 映像入力コネクタのないテレビをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで 使うことができます。



ϔ ちょっと一言

- 別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。
- DVDビデオの映像が画面に表示されないときは、「主なトラブルとその解決方法」の「DVDビデオの映像が テレビ画面に表示されない」(170ページ)をご覧ください。

プリンタをつなぐ

Windows XPに対応しているプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。 プリンタに付属または別売りのUSBケーブル、またはプリンタケーブルを使って本機につなぎます。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- Windows XPに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しません。

USBケーブルを使うとき



プリンタケーブルを使うとき



プリンタを使用するには

プリンタを使用するには、プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。 詳しくはプリンタの取扱説明書および「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るにはデスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックします。

ϔ ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。プリンタのドライバを本機にインストールすることにより、本機からプリンタの動作をコントロールできるようになります。



本機の前面と後面にあるUSBコネクタを使って、Windows XPに対応しているUSB機器を接続することができます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

前面パネルのコネクタを使うとき



後面パネルのコネクタを使うとき



USB機器を取りはずすには

ご注意

USB機器を取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが 正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1~4は不要です。本機がスタン バイモード、または休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1~5を行ってください。 本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキー(スタンバイモード時)を押すか、本機の() (電源)ボタン(休止状態時)を押します。

🍟 ちょっと一言

手順1~4が不要なUSB機器もあります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面右下のタスクトレイにあるIBDをダブルクリックす る。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

リストから取りはずしたいUSB機器をクリックし、 停止© をク リックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

取りはずすUSB機器を確認し、 ○K をクリックする。



デスクトップ画面右下に「・・・は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

Δ 「ハードウェアの安全な取り外し」画面の 閉じる(の)をクリックする。 5 USB機器を取りはずす。

ネットワーク(LAN)につなぐ

本機後面のNETWORK(ネットワーク)コネクタとネットワーク(LAN)を直接接続して、ネット ワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。

10BASE-Tと100BASE-TXタイプのネットワークに接続できます。



ϔ ちょっと一言

本機をネットワーク(LAN)に接続すると、ネットワークに接続されている他のコンピュータから、「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能を利用して、録画を予約したり、録画済みの動画を再生したりできます。「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能について詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

ϔ ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に 常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続 業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約する ADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ご注意

NETWORK(ネットワーク)コネクタには指定以外のネットワークや電話回線を接続しないでください。 お買い上げ時にはNETWORK(ネットワーク)コネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られていま す。NETWORK(ネットワーク)コネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

AV**アンプなどのデジタル機器をつ** なぐ(PCV-RX76/RX66のみ)

本機のOPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタを使って、AVアンプやMD、DATなどのデジタル 機器をつないで録音することができます。 接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

デジタル機器と接続するには、別売りの光デジタル接続ケーブル(角型)が必要です。



- OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタの出力サンプル周波数は48kHzです。 MDデッキなどを接続して録音する場合、接続した機器がこれらのサンプリング周波数に対応していない ときは録音することができません。
- •「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使って、DVDビデオ再生時の出力音声形式を切り換えることができます。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの 🔨 (設定)をクリックし、[音声出力]タブをクリックすると表示される画面で、設定を切り換えます。

「S/PDIF出力」に設定した場合は、本機のHEADPHONES(ヘッドホン)コネクタなどから出力されるアナログ音声出力はオフになります。

PC**カードを使う**

本機にPCカードを装着すると、他のコンピュータとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を 拡張したりできます。

PCカードとは

PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスです。形はクレジットカードに似ていますが、やや大きくて厚みがあります。

主なPCカードには以下のような種類があります。

メモリカード

データをフラッシュメモリに保存します。PCカードに対応したデジタルスチルカメラで撮影した 画像であれば、PCカードを本機に取り付けてそのまま取り込めます。

また、本機やPCカードに対応した機器で作成したデータをメモリカードに保存して、データをやりとりできます。

ϔ フラッシュメモリとは

電気的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。普通、書き込み可能なメモリは、電源を切ると 内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特徴をもっています。



SCSIカード

MOドライブやスキャナなどのSCSIデバイスを接続できます。

ϔ MO とは

「エム・オー」と読みます。レーザー光線と磁気を利用してデータを読み書きする外部記憶メディアのことです。フロッピーディスクよりも容量が多く、種類により、最大2.3Gバイトまでデータを記録することができます。

ϔ SCSI とは

「スカジー」と読みます。コンピュータと、MOドライブやプリンタなどの周辺機器を接続するための規格のことです。周辺機器などをSCSIで接続すると、本機を含めて最大7台まで数珠つなぎに接続することができます。

ネットワークカード

イーサネットなどのネットワークに接続できます。

ϔ イーサネットとは

コンピュータ間のデータ通信方式のことで、職場などで複数のコンピュータをネットワーク(LAN)でつないで、データをやりとりするときに使われます。

無線LAN カード

無線を使ってネットワークに接続できます。

本機には、PC Cardタイプ | とタイプ | に準拠した PCカードを挿入できる PCカードスロットがあります。 また、本機の PC CARD(PCカード)スロットは16ビット Card および Card Busにも対応しています。 (ZV(Zoomed Video) Portには対応していません。)

ご注意

PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。

- PCカードによっては、PC CARDスロットに挿入したまま本機の電源を入れると、正しく動作しないことがあります。この場合は、PCカードの使用を中止し、いったん取り出してから、もう1度入れ直してください。PCカードの取り出しかたについて詳しくは、「PCカードを取り出すには」(227ページ)をご覧ください。
- PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。PC カードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
- お使いのPCカードによっては、本機にプリインストールされているOSで動作を保証していなかったり、 正しく動作しないことがあります。また、起動しているソフトウェアがPCカードを使用中のときは、本機 のPC CARDスロットからPCカードを取り出すことはできません。この場合は、該当するソフトウェアを 終了してからPCカードを取り出すか、本機の電源を切ってからPCカードを取り出してください。PCカー ドの接続情報について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧 ください。

ϔ ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータに知らせ、周辺機器を、正しく動かすため に必要なソフトです。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。



カードをPC CARD(PCカード)スロットに挿入する。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。 カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認 してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- お使いのPCカードのメーカーが提供する最新のドライバをお使いください。
- •「デバイスマネージャ」画面のPCカードに「!」がついている場合は、ドライバを削除し、再度インストール する必要があります。「デバイスマネージャ」画面を表示させるには、以下の手順に従って操作してください。
 - 1 デスクトップ画面左下の 33 スタート をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。 「コントロールパネル」画面が表示されます。
 - 2 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[システム]をクリックする。 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
 - 3 [ハードウェア]タブをクリックし、 デバイスマネージャ(D) をクリックする。 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

PCカードを取り出すには

ご注意

カードを取り出すときは、必ず次の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に 動作しない可能性があります。

本機の電源が切れているときは、PC CARD(PCカード)スロットのイジェクトボタンを押すだけでPCカードを取り出せます。(手順1~4は不要です。)

本機がスタンバイモードまたは休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1~5を行って ください。本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキーを押す(スタンバイモード時)か、 本機前面の心(電源)ボタンを押します。

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

取りはずすPCカードを確認し、 ○K をクリックする。



デスクトップ画面右下に「…は安全に取り外すことができます。」と表示されます。





PC CARD(PCカード)スロットのイジェクトボタンを押す。

1度イジェクトボタンを押してボタンを手前に引き出し、出たボタンをもう1度押すと PCカードを取り出すことができます。



カードがコネクタからはずれます。カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自 分に合った作業環境を構築することができます。

拡張ボードの種類

本機では「PCI」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格に対応していることをご確認ください。

本機には空きスロット(拡張ボードを増設できる場所)が1つあり、PCI拡張ボードを1枚取り付け ることができます。

拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、約230mmまでです。



VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。 VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)では、増設できる拡張ボードの情報を掲載 しています。

リソースについて

拡張ボードは一般的にそれぞれ専用の割り込み番号(IRQ)、メモリ、I/Oポートなどの「リソース」 (資源)を使用します。

PCI規格の拡張ボードではこれらのリソースが自動的に設定されます。

ϔ IRQ とは

「アイアールキュー」と読みます。ハードウェアからの割り込み信号のことです。キーボードやマウスなどの 周辺機器から入力があると、それを受け付けるかどうか判断します。受け付けるときは、その優先度に応じて 割り込みした処理を行います。

ϔ メモリとは

コンピュータの中にあって、データやプログラムを保存しておくための場所、あるいは装置のことです。メモリには主記憶装置と、補助記憶装置があります。通常は主記憶装置のRAMを示します。



ϔ I/O ポートとは

「アイオーポート」と読みます。コンピュータにデータを入れたり(インプット)、出したり(アウトプット)するための接続部、または、コネクタ部の総称です。入力のための機器としてはキーボードやマウス、出力のための機器としてはディスプレイなどがあります。なお、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブは入出力のどちらも行える機器です。

ϔ リソースとは

もともとは、「資源」という意味です。コンピュータを使って何か作業を行う場合に、そのコンピュータが稼働 するために必要なメモリ、入力装置、出力装置、制御装置などを指します。

リソースを確認するには

「システムのプロパティ」画面で現在使用中のリソースを確認することができます。以下の手順に 従って確認します。

デスクトップ画面左下の 🖅 メターメ をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。





[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。





デバイス マネージャ(D) をクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。





4

画面左上の[表示]をクリックして、表示されるメニューから[リソース (種類別)]または[リソース(接続別)]をクリックする。

現在使用中のリソースが種類別または接続別に表示されます。

77/1/10 19/1/20		- (107) 10(5(4)) 17-00 10(100)
		7711/10 MITEN & TO ALLE
→ (0.4, 10.6) → (0.4, 10.6) → (0.4, 10.6) → (0.4, 10.6)	•	□ ■ \$000000000000000000000000000000000000

プラグアンドプレイについて

「プラグアンドプレイ」とは、拡張ボードを装着するだけで特別な設定をしなくてもすぐに使用できる状態になる機能です。本機に取り付けられる PCI規格の拡張ボードはプラグアンドプレイに対応しています。PCI規格の拡張ボードはボードを取り付けたあと、リソースの設定が自動的に行われるので、ご自分で面倒な設定をする必要がありません。

拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く

本機前面の電源ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る」(73ページ)をご覧ください。

拡張ボードを取り付ける

拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、「拡張ボードを取り付ける」(233ページ) をご覧ください。

電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れる

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(60ページ)をご覧ください。

ドライバの設定、インストールを行う

拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明 書なども参照のうえ、指示に従って操作してください。

🍟 ドライバとは

2

4

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付ける

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

取り付けるときのご注意

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを コンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡 張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が破損すること があります。

- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障すること があります。拡張ボードを触る前には、本機の金属部分などの金属製のものに触れて体内の静電 気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意 ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を 入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れて ください。
- ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となりま す。

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続してい るすべての接続ケーブルを取りはずす。

ご注意

電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があり ます。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。



本機の内部基板は下図のようになっています。

後面

 リリースレバー を手前に引く。

PCI拡張ボード用の 空きスロット

拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずし ます。

前面



内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。

4

拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボー ドの取扱説明書をご覧ください。





側面のカバーを取り付ける。

側面カバーの下部をはめてから、上部をはめ込みます。



6

手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを インストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの 取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源 コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設する

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が 向上します。

ご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- 電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるの を待ってから作業を行ってください。
- ご自分でメモリの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

メモリモジュールを取り付ける

別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。 ソニー製のメモリーモジュールは、以下のものが本機に取り付けられます。

PCV-RX76/RX66をお使いの場合

容量	メモリーモジュール
512Mバイト(256Mバイト×2)	PCVA-MM512X [*]

FSB533MHz対応 PC800-40(RAS Access Time 40ns)RDRAMを必ずご使用ください。 PC800-45RDRAM(PCVA-MM256R/512R)は動作しませんのでご注意ください。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4か所あります。

本機のメモリスロットは2か所のバンクにわかれていますので、メモリを増設するときは、以下の 点にご注意ください。

- メモリを取り付ける場合には必ずバンク0から取り付けてください。PCV-RX76は標準で256Mバイトのメ モリが2枚(合計512Mバイト)、PCV-RX66は標準で128Mバイトのメモリが2枚(合計256Mバイト)、装着 されています。
- 同一バンク内の各スロットには同じ型名で同じ容量のメモリモジュールを取り付けてください。
- 取りはずしたCRIMMは、再度メモリ容量を変更するときに必要になることがありますので大切に保管してください。
- 取り付けるメモリモジュールは、すべて同じスピードのメモリモジュールを取り付けてください。本機は標 準でPC800-40スピードのメモリモジュールが装着されています。

PCV-RX76では、標準でバンク0の各スロットに256Mバイトのメモリが2枚、バンク1の各スロットにCRIMMが2枚、合計512Mバイトのメモリが搭載され、PCV-RX66では、標準でバンク0の各 スロットに128Mバイトのメモリが2枚、バンク1の各スロットにCRIMMが2枚、合計256Mバイトのメモリが搭載されています。



増設後の容量は以下の表のとおりです。

PCV-RX76をお使いの場合

標準	増設するメモリモジュールの容量	増設後の容量
512Mバイト	512Mバイト 1組(256Mバイト×2)増設	1024Mバイト

PCV-RX66をお使いの場合

• 標準で装着されている 256M バイトのメモリモジュールをそのまま使うとき

標準	増設するメモリモジュールの容量	増設後の容量
256Mバイト	512Mバイト 1組(256Mバイト×2)増設	768Mバイト

 標準で装着されている 256M バイトのメモリモジュールを取りはずして 512M バイトのメモリ モジュールを使うとき

増設するメモリモジュールの容量		増設後の容量
1024Mバイト	2組(256Mバイト×2)4枚増設	1024Mバイト

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

PCV-RX56をお使いの場合

容量	メモリーモジュール
256Mバイト	PCVA-MM256D
512Mバイト	PCVA-MM512D

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが3か所あります。 本機は、標準で256Mバイトのメモリモジュールが1枚装着されています。 増設後の容量は以下のとおりです。

• 標準で装着されている 256M バイトのメモリモジュールをそのまま使うとき

標準	増設するメモリモジュールの容量	増設後の容量
256Mバイト	256Mバイト(1枚増設)	512Mバイト
256Mバイト	256Mバイト(2枚増設)	768Mバイト
256Mバイト	256Mバイト+512Mバイト(各1枚増設)	1024Mバイト
256Mバイト	512Mバイト(1枚増設)	768Mバイト
256Mバイト	512Mバイト(2枚増設)	1280Mバイト

 標準で装着されている 256M バイトのメモリモジュールを取りはずして 512M バイトのメモリ モジュールを使うとき

標準のメモリモジュールを取りはずして 512Mバイトのメモリモジュールを使用	増設するメモリモジュールの 容量	増設後の容量
512Mバイト	512Mバイト(2枚増設)	1024Mバイト
512Mバイト	512Mバイト(3枚増設)	1536Mバイト

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリ モジュールの販売元にご相談ください。

メモリモジュールを取り付けるときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源 コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモ ジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が壊れる ことがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破壊しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のこ とをお守りください。
 - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しない ようにしてください。
 - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
 - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- メモリモジュールには、向きがあります。
- メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突 起の位置を正しく合わせてください。
- ・ 無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損
 や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続してい るすべての接続ケーブルを取りはずす。

ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があり ます。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2

側面のカバーを取りはずす。





メモリモジュールを梱包から取り出す。

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。



5

本機を横に倒して置く。

本機の右側面が下になるように置くと、メモリモジュールを取り付けやすくなります。

電源ユニットと本機を留めているネジをはずし、レバーを押しながら電 源ユニットを取り出す。





取りはずしたネジは電源ユニットを取り付けるときに必要となります。紛失しないようご注意ください。

6

メモリモジュールを取り付ける。

- 下記のイラストのとおりに、切り欠き方向に注意してメモリモジュールをス ロットに合わせる。
- 2 クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロット へ押し込む。

ご注意

(PCV-RX56のみ)

本機前面から見て、切り欠きは中央より左側となります。 メモリモジュールの方向をよく確かめて、正しく取り付けてください。



ご注意

電源を切ったあとすぐは、メモリモジュールが熱くなっており、やけどをする可能性 があります。充分時間をおいてメモリモジュールが冷えるのを待ってから作業を 行ってください。

PCV-RX76/RX66にメモリを増設するときは、2枚のメモリモジュールを同時に取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けても動作しません。また、取り付ける2枚のメモリモジュールは同じ型名で同じ容量のものをお使いください。

メモリモジュールの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店に お問い合わせください。





電源ユニットを取り付ける際は、ケーブルをはさみこまないようご注意ください。 ケーブルに傷がつくと、発煙や発火の原因となることがあります。

ご注意



側面のカバーを取り付ける。

側面カバーの下部をはめてから、上部をはめ込みます。



1 手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

11

デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIO システム情報]、[VAIO システム情報] の順にクリックする。

「VAIO システム情報」画面が表示されます。



12 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確 認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを 取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。



メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押 し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。



ハードディスクドライブを増設する

本機内部のハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを1つ増設することができます。

ご注意

- ハードディスクドライブの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、 本機の故障の原因になります。
- ハードディスクドライブの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- ハードディスクドライブ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- ハードディスクドライブ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスクドライブ増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源 を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- 増設するハードディスクドライブによっては本機で動作しないものがあります。
 増設について詳しくは、増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 増設するハードディスクドライブによってはi.LINK対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合が あります。
- 増設するハードディスクドライブは、SLAVE(スレーブ)に設定してください。設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。
- ハードディスクドライブの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセント から抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクドライブを取り付けたり取り はずしたりすると、ハードディスクドライブや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- 電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるの を待ってから作業を行ってください。
- ご自分でハードディスクドライブの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理は有償となります。

ハードディスクドライブを取り付ける

ハードディスクドライブを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。以下の 手順に従ってハードディスクドライブを取り付けます。

増設するハードディスクドライブの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続してい るすべてのケーブルを取りはずす。

ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があり ます。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

側面のカバーを取りはずす。





4

ハードディスクドライブベイを取り出す。

お買い上げ時に搭載のハードディスクドライブに接続されているケーブル類を取りはずし、ハードディスクドライブベイを取り出します。



ハードディスクドライブベイに増設するハードディスクドライブを取 り付ける。

増設するハードディスクドライブをハードディスクドライブベイにネジで固定し、ハー ドディスクドライブベイを元の位置に取り付けます。



ϔ ちょっと一言

増設するハードディスクドライブは、SLAVE(スレーブ)に設定してください。 設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。ハードディ スクドライブの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

5

6

手順3で取りはずしたケーブル類を、お買い上げ時に搭載のハードディ スクドライブおよび増設したハードディスクドライブの両方に接続す る。

ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

側面のカバーを取り付ける。

側面カバーの下部をはめてから、上部をはめ込みます。



ハードディスクドライブを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源 コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機 が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

増設したハードディスクドライブを使用する前に

ハードディスクドライブを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーで ログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設 定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。

パーティションについて詳しくは、デスクトップ画面左下の 29 スタート をクリックして[ヘルプ とサポート]をクリックし、「ヘルプとサポートセンター」を表示させ、ディスクの管理の概要など の説明をご覧ください。

なお、増設されたハードディスクドライブは拡張パーティションとして作成され、NTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

▲機の電源を入れる。 電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(60ページ)をご覧ください。
ジ ちょっと一言
「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

2 デスクトップ画面左下の *ジェタート*をクリックし、[コントロールパネ ル]をクリックする

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックして、[管理ツール]をク リックする。

「管理ツール」画面が表示されます。

쾶 (コンピュータの管理)をダブルクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

5

Δ

「コンピュータの管理」画面の左側のウィンドウの中の[ディスクの管 理]をクリックする。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウに、接続されているディスクのパーティ ションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクドライブなど、目的のハー ドディスクドライブがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されま す。 「ディスク1」がチェックされていることを確認して、_____でをク リックする。

「未割り当て」の部分を右クリックし、表示されるメニューから[新しい パーティション]をクリックする。

「新しいパーティションウィザード」画面が表示されます。

9

8

6

次へ心〉をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

10 [拡張パーティション]をクリックして選び、 次へ回> をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさ を入力し、 <u>次へ</u>をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が表示されます。

______をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。 「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウで、パーティションの設定を行ったハー ドディスクドライブの表示が「未割り当て」から「空き領域」に変わります。

「空き領域」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しい 論理ドライブの作成]をクリックする。

「新しいパーティションのウィザードの開始」画面が表示されます。

14 <u>次へゆと</u>をクリックする。 「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

15 [論理ドライブ]をクリックして選び、 流心 をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

う 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさ を入力し、 <u>冻へ し</u>をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

18 「フォーマット」の各項目を以下のように設定し、 添心 たくりックする。

使用するファイルシステム:NTFS アロケーションサイズ:既定値 ボリュームラベル:ボリューム 「新しいパーティションのウィザードの完了」画面が表示されます。

9 _____をクリックする。

パーティションの設定を行ったハードディスクドライブのフォーマットが始まります。 フォーマットの状況は「コンピュータ管理」画面の右側のウィンドウにパーセントで表示 されます。フォーマットが終わると、増設したハードディスクドライブが使えるようにな ります。

ご注意

「コントロールパネル」画面の「パフォーマンスとメンテナンス」、[電源オプション]の順にクリッ クすると表示される「電源オプションのプロパティ」画面で「ハードディスクの電源を切る」は「な し」に設定してください。

「なし」以外に設定すると、「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画を行うとき、録画に失敗する ことがあります。

その他のデバイスを増設する (PCV-RX66/RX56のみ)

PCV-RX66/RX56の前面の拡張デバイスベイにMOドライブやZIPドライブなどの拡張用のIDEデ バイスを1つ増設することができます。

ご注意

- デバイスの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- デバイスの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- デバイス増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- デバイス増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してくだ さい。
- デバイス増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発 煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 拡張デバイスベイは5インチサイズです。
- 本機の拡張デバイスベイにはSecondary(セカンダリ)IDEのコネクタが用意されています。増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE(スレーブ)に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 増設する機器によっては本機で動作しないものがあります。
 増設について詳しくは、販売店または増設機器メーカーにお問い合わせください。
- ご自分でデバイスの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

デバイスを取り付ける

デバイスを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。以下の手順に従ってデ バイスを取り付けます。

増設するデバイスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続してい るすべての接続ケーブルを取りはずす。

ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があり ます。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。



カバー後面上方にあるラッチをつまみながら、カバーを取りはずす。

2 カバーを後ろの方向に ずらし、持ち上げる。



3

側面のカバーを取りはずす。





拡張デバイスベイを取りはずす。

お買い上げ時に搭載のDVD-RWドライブに接続されているケーブル類を取りはずし、拡 張デバイスベイを後ろの方向にスライドして取りはずします。


5

増設するデバイスを取り付ける。

デバイスベイに増設するデバイスをネジで固定します。 取り付けかたについて詳しくは、増設する機器の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

ハードディスクドライブとDVD-RWドライブを同一のIDEコネクタに接続しないでください。

ϔ ちょっと一言

増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE(スレーブ)に設定してください。 設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。

デバイスの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

ベイカバーを取りはずすときは

MOドライブなど、前面からディスクなどを挿入する機器を増設したときは、ベイカバー を前面パネルから取りはずします。

ベイカバー上部のツメを内側から押してから、ベイカバー側面のツメを手前に引いてベ イカバーを取りはずしてください。





拡張デバイスベイを取り付ける。

拡張デバイスベイを元の位置に取り付けます。



手順4で取りはずしたケーブル類を、お買い上げ時に搭載のDVD-RWド ライブおよび増設したドライブの両方に接続する。

ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。



側面のカバーを取り付ける。

側面カバーの下部をはめてから、上部をはめ込む。





上部のカバーを取り付ける。

カバーを上からかぶせるようにはめ込み、カバーを前の方向にずらし、ロックします。

カバーを上からかぶせるようにはめ込む。



カバーを前の方向にずらし、ラッチがカチッと音がするまで押し込む。

デバイスを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源 コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。



本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどに ついて説明します。

動画系ソフトウェアの操作の流れ

本機には動画を扱うソフトウェアが数多く付属しています。それぞれのソフトウェアの役割と操作 の流れを簡単に紹介します。それぞれのソフトウェアの使いかたについて詳しくは、各ソフトウェ アのヘルプをご覧ください。本機とAV機器やi.LINK対応機器のつなぎかたについては、「接続する /準備する」(44ページ)、「AV機器をつなぐ」(216ページ)または「i.LINK対応機器をつなぐ」(210 ページ)をご覧ください。



- ^{エーブイアイ(ディーブイ)} AVI (DV)[:]Windowsで動画や音声を再生するために米マイクロソフト社が作ったファイ ル形式です。「DVgate Motion」ソフトウェアではDV形式で圧縮されたAVIファイルのみを扱っ ています。
- MPEG:動画データの圧縮方式です。
 - ビデオカプセル:「Giga Pocket」ソフトウェアでは、MPEGの動画ファイルと各種の付加情報を 1つにまとめて「ビデオカプセル」と呼びます。



** 番組録画の日時やチャンネルなどの録画情報が出力されないことがあります。この場合、この録画情報 を記録したDVテープを再生すると録画情報が表示されないことがありますが、異常ではありません。

コンピュータウイルスについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソ フトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェック をおすすめします。

ϔ コンピュータウイルスとは?

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコン ピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

ご注意

本機の2回目の起動時、または「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus 情報ウィザード」画面が表示されるので、「 ※へ⁽¹⁰⁾をクリックし、画面の指示に従って操作してください。 なお、「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」ソフト ウェアのヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプを表示するには、デスクトップ画面左下の 33 スタートを クリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Norton AntiVirus]、[Norton AntiVirus 2002]の順にクリックして表示される画面右上の[ヘルプ]をクリックしてください。

シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号:(03)3476-1118
 ファックス:(03)3477-1118
 電話受付時間:月~金 10時~12時、13時~17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
 なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテック
 ホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。
 http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
 カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号:(03)3476-1156 ファックス:(03)3476-1159 電話受付時間:月~金 10時~12時、13時~17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ϔ ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル(ワクチン ファイル)のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になりま す。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。 また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。た だし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。 ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧にな り、お申し込みください。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号:(03)3476-1192

ファックス: (03)3780-9988

電話受付時間:月~金10時~12時、13時~17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

リカバリディスクで本機を再セッ トアップする

ここでは付属のリカバリディスクを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリディスクとは

付属のリカバリディスクには、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されていま す。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフト ウェアを消してしまった場合には、リカバリを行って本機を再セットアップすることでハードディ スクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリディスクを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する(出荷時の状態に戻る)。
- ハードディスクのパーティションのサイズを変更する。詳しくは「パーティションサイズを変更 する」(270ページ)をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- ・付属のリカバリディスクで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて出荷時の設定に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- ・ 再セットアップする際は、リカバリディスクに収録されている「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 本機は、出荷時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証 作業を行う必要はありません。
 また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
- BIOSの設定状態によっては、リカバリディスクが起動しないことがあります。この場合は、BIOSをお買い 上げ時の設定に戻す必要があります。
 BIOSを出荷時の状態に戻すには、以下のように操作します。
 - 1 本機前面の(電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの ≥ キーを押す。 BIOS セットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。
 - 2 ◎ (Setup Defaults)キーを押す。
 「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。
 - 3 協/ おキーを押して[Yes]を選び、 (デ) (エンター) キーを押す。 すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。
 - 4 m (Save and Exit) キーを押す。 「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
 - 5 二 / 二 キーを押して[Yes]を選び、 一 (エンター) キーを押す。 変更された設定が保存され、BIOS セットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

ϔ BIOS とは

「バイオス」と読みます。コンピュータの基本的な設定をするためのプログラムの集まりで、電源を入れると 最初にBIOSの読み込みが始まります。もし、BIOSが正しく働かないと、コンピュータは起動しなくなりま す。

リカバリの種類

リカバリディスクを使うと、次のような方法で本機を再セットアップすることができます。 通常は、「システムドライブをリカバリ」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	説明
システムドライブをリカバリ	Cドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時の設 定を復元します。Cドライブ以外のドライブにあるファイルは削 除されません。
パーティションサイズを変更 してリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、CドライブとDドラ イブのサイズを変更します。その後ハードディスクをフォー マットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハード ディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも含めて すべて失われてしまいます。
出荷時状態ヘリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時状態へパー ティションを強制的に戻します。その後ハードディスクを フォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前に ハードディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも 含めてすべて失われてしまいます。

「システムドライブをリカバリ」を選択するときは、下の画面で「システムドライブをリカバリ」を 選択します。

ZVAIO System Recovery Utility	×
メイン メニュー メニューを選択してください	•
で システムドライブをリカバリ(5) (推奨)	
Cドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時のソフト	ウエアを復元します。
○ オブションリカパリ(0)	
リカノリオプションを変更してリカノリを行います。 パーティションを作成し直してリカノリを行う場合にはこちらをお達	びださい。
< 戻る(日)	次へ(11) ト キャンセル

「オプションリカバリ」を選択すると、下の画面が表示され、「パーティションサイズを変更してリ カバリ」、「出荷時状態へリカバリ」を選択することができます。

🔣 VAIO System Recovery Utility 🔀		
オブション メニュー メニューを選択してください		
○ ジステムドライブをリカパリ(S) (推奨)		
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
○ パーティションサイズを変更してリカバリ(₽)		
現在あるすべてのパーティションを利用除し、CドライブとDドライブのサイズを変更します。 その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時のソフトウエアを復元します。		
○ 出荷時状態ヘリカパリ(B)		
現在あるすべてのパーティションを抑除し、出荷時状態ヘパーティンミンを強制的に戻します。 その強ハードディスクをフォーマットした上で出荷時のソフトウエアを優先します。		
〈戻る(四) 次へ(四) キャンセル		

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。 バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- DVD-RW / DVD-R または CD-RW / CD-R にコピーする。
- Dドライブにデータを残して、再セットアップを行う。
 本機のハードディスクは、CドライブとDドライブの2つのパーティションに分かれています。
 次の、「再セットアップする」の手順9で「システムドライブをリカバリ」を選んだ場合、Cドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、Dドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「SonicStage for VAIO」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。 バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

再セットアップする(システムドライブをリカバリ)

再セットアップする前に、以下の点を確認してください。

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、再セットアップが 終わったあとに再び接続してください。
- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入ってないか確認してください。
- 大切なデータはバックアップをとったか確認してください。
- Windows が完全に起動できなかった場合などに本機を再セットアップするときは、「Windows が完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」(269 ページ)をご覧ください。
- パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」(270ページ)をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップする前に、大切なデータはDVD-RW/DVD-Rや、CD-RW/CD-R、またはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(60ページ)をご覧ください。

DVD-RW**イジェクトボタンを押す**。

ディスクトレイが自動的に引き出されます。



3

4

2

付属のリカバリディスクを、レーベル面(文字が書いてある面)を上にして、ディスクをトレイの中央に置く。

その命

DVD-RWイジェクトボタンを押して、トレイを閉める。

自動的に「VAIO Application Recovery Utility」画面が表示されます。



[閉じる]をクリックする。

6

本機を再起動して、Sonyロゴが表示されたあと、画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示される。

3秒以内に、何かキーボード上のキーを押す。



リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。(起動には数分かかる場合があります。)

ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順6からやり直してください。





「はじめに」画面が表示されます。



「メインメニュー」画面が表示されます。

[システムドライブをリカ/	ヾリ]の○をクリックして◉に
☆へい> をクリツク9る	0
X17 X1- X1- 七型形(て(22)) (2) フラス F5 (7 kH M(1(5) (集型))	— 1 ここをクリックする。
・ドイナにあるすべてのフィルを削削した上で、出削時のシフトウエアを接定します。 ・オプションリカパリ(Q)	
り加りログランを変更して加加りを行います。 パーティウエンを作成し返してり加りを行う場合にはこちらをお加ていたさい。	
< 度る(型) (法へ(()) キャンセル	— 2 ここをクリックする。

再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは、[いいえ]をクリックして、続いて「実行確認」で

キャンセルをクリックします。

リカバリ中にキャンセルをすると、リカバリ中のドライブはフォーマットされていない 状態になります。

セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が表示されます。



「Windowsを準備する」(61ページ)の手順に従って、Windowsをセット アップする。

ご注意

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで に、しばらく時間がかかります。途中、 (ポインタ)だけがしばらく表示されますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの 操作を行うと、故障の原因にもなります。

3 Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケー ションのインストールを開始します。」画面が表示される。

ご注意

「Windowsを準備する」(61ページ)の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー 名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windows を起動してください。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、 Common OK でを クリックしてください。

処理が終了すると、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

15 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、 「インターネットを始める」(101ページ)の手順に従ってインターネッ トへの接続の設定を行う。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップする には

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(60ページ)をご覧ください。

「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(264ページ)の 手順2~4に従って、付属のリカバリディスクをディスクドライブに入 れる。

本機前面の 🕛 (電源) ボタンを4秒以上押して本機の電源を切る。

4

30秒ほど待ってから、心(電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。

Sonyロゴが表示されたあと、画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されたら、3秒以内に何かキーボード上のキーを押してください。

Press any key to boot from CD.	表示されたら、 3秒以内 に何か キーボード上のキーを押す。

リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。(起動には数分かかる場合があります。)

😹 VAIO System Recovery Ut	ility	13
	VAIO System Recovery Utility	
	リカバリディスクには「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の 2種類があり、出荷時のハードディスクPhのすべてのファイルが保存さ れています。	
	誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじかインストールされているソフトウェアを活してしまった場合には、本板の物料透明得を こ知しため、アシステムがわりは「と「アフハウージョンがわり」の両方の リカリなおこない本格総両センドアップすることで、ハードディスクの内 空参い流消れのは参加「空」ングが示きする。	
★★★★★ ⇔⇔⇔⇒	このユーティリティには、バックアップをとる場能はありません。 バックアップをとっていない場合には、このユーティリティの実行を中断 し、お客様ご自身でバックアップをとってください。	
	< 戻る(B) (二次人(数)) キャンセル	

ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順3から行ってください。



パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはCドライブとDドライブの2つのパーティションに分かれており、Dドラ イブは、「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が 大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定 されています(出荷時)。付属のリカバリディスクを使ってパーティションサイズを変更できます。 動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディ スクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いに なるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)また はフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはCドライブにインストールされます。Cドライブを最適化 するのに非常に時間がかかる場合がありますので、Dドライブをデータスペースとしてお使いにな ることをおすすめします。

🍟 パーティションとは

ハードディスクなどの大容量補助記憶装置の領域を分割することです。分割することで、1台のハードディス クが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといっ たような使い分けができます。

ϔ 断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

🍟 デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出し や書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

ご注意

- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアで取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、 CドライブだけでなくDドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更 する前に、大切なデータはDVD-RW/DVD-RやCD-RW/CD-Rまたはフロッピーディスクやなどに保存 するなどして、必ずバックアップをとってください。

パーティションサイズを変更するには

「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(264ページ)の 手順1~8を行う。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2

[オプションリカバリ]の○をクリックして●にし、<u>冰へ</u>∞> をク リックする。



「オプションメニュー」画面が表示されます。

3

「オプションメニュー」画面の中から、「パーティションサイズを変更し てリカバリ」の、〇をクリックして④にし、<u>※へ働></u>をクリックする。



「パーティションメニュー」画面が表示されます。 ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

■をクリックしてパーティションサイズを選び 次へ働> する。



5

画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始して本当によろしいです か?」画面が表示されたら<u>↓ はい♡</u>をクリックする。

パーティションサイズが変更され再セットアップが始まります。 再セットアップを中止するときは[いいえ]をクリックして、続いて「実行確認」で <u>キャンセル</u>をクリックします。

セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が 表示されます。

<u> 売7</u>をクリックする。

本機が再起動します。

ご注意

本機の再起動時に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されますが、キーボードは押さないでください。

「Windowsを準備する」(61ページ)の手順に従って、Windowsをセット アップする。

ご注意

8

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで に、しばらく時間がかかります。途中、 (ポインタ)だけがしばらく表示されますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの 操作を行うと、故障の原因にもなります。

9

Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケーションのインストールを開始します。」画面が表示される。

ご注意

「Windowsを準備する」(61ページ)の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー 名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windows を起動してください。



自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、 **のK** を クリックしてください。

処理が終了すると、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

1 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、 「インターネットを始める」(101ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでくだ さい。記録したデータが消失したり、本機 の故障の原因となります。
- CD-RW/CD-RまたはDVD-RW/DVD-R などにデータを記録中に振動や衝撃を与え ないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くな ど、異常な高温になる場所には置かないで ください。故障の原因となることがありま す。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着 し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から 急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝 など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機 の表面や内部に結露が起こることがありま す。そのままご使用になると故障の原因とな ります。結露が起きたときは、結露がなくなる まで電源を入れずに放置してください。

ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
 - 液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。
 - 液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の 高い技術でつくられていますが、黒い点が現 れたり、赤、青、緑の点が消えないことがあり ます。また、見る角度によってすじ状の色む らや明るさのむらが見える場合があります。 これらは、液晶ディスプレイの構造によるも ので、故障ではありません。これらの点をご 了承のうえ、本機をお使いください。
- ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたり しないでください。また、手やひじをつい て体重をかけないでください。
- ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室 内へ持ち込むと、結露が生じることがあり ます。結露が生じたら、水滴をよく拭き 取ってからご使用ください。水滴を拭き取 るときは、ティッシュペーパーをお使いに なることをおすすめします。管面または液 晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っ ても、また結露が生じてしまいます。全体 が室温に暖まるまでお待ちください。
- ガラスの表面をカッターや鋭利な刃物で傷 つけないでください。汚れを落とすとき は、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取っ てください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機 溶剤はガラスを傷めることがありますの で、使わないでください。
- ディスプレイの近くにAMラジオは置かないでください。ディスプレイとAMラジオの周波数がお互いに干渉して双方で障害が発生します。ディスプレイとAMラジオは充分に距離をとって置いてください。

ハードディスクの取り扱いについ て

ハードディスクは、フロッピーディスクに比 べて記憶密度が高く、データの書き込みや読 み出しに要する時間も短いという特長があり ます。その一方、本来はほこりや振動に弱い装 置でもあります。また、フロッピーディスク同 様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避 けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータ を守るための安全機構が組み込まれています が、記憶したデータを失ってしまうことのな いよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでく ださい。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源 を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10°C以上の変化)の ある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場 合、データの修復はできませんのでご注意く ださい。

バックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存 することができますが、その反面、ひとたび事 故で故障すると多量のデータが失われ、取り 返しのつかないことになります。万一のため にも、ハードディスクの内容は定期的にバッ クアップをとることをおすすめします。 ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフ ロッピーディスクにありますので、バック アップが必要なのはデータなどです。ハード ディスクのバックアップ、バックアップの内 容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサ ポートセンター」をご覧ください。

本機へのアナログ入力についての ご注意

「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」 ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力 コネクタから静止画や動画を取り込むとき、 静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れ たり、取り込みに失敗することがあります。こ れらの現象は、以下のように映像の同期信号 が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、また は本機に何も入力されていないとき
- 本機後面の VIDEO 1 INPUT コネクタまた は VIDEO 2 INPUT コネクタにつないだ ケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号 が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノ イズが入ったとき、または放送が行われて ないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオ デッキのチャンネルや入力を切り換えたと
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダー から映像入力中に、ビデオテープのつなぎ 撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動や ゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキ やビデオカメラレコーダーに振動やゆれが 加わったとき

ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護 するため、次のことにご注意ください。

 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでく ださい。



 ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの 書き込みができなくなります。記録面には 触れないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の 中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ず ケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くと きは、油性のフェルトペンをお使いくださ い。ボールペンなどで文字を書くと、記録 面を傷つけ、データの書き込みができなく なることがあります。

フロッピーディスクの取り扱いに ついて

フロッピーディスクに記録されているデータ などを保護するため、次のことにご注意くだ さい。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯 びたものに近づけないでください。フロッ ピーディスクに記録されているデータが消 えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近く に放置しないでください。フロッピーディ スクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に 触れないでください。フロッピーディスク の表面の汚れや傷により、データの読み書 きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないで ください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディ スクは必ずケースなどに入れて保管してく ださい。



ソフトウェアの不正コピー禁止に ついて

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあ るいはロイヤリティ契約のもとに供給されて います。これらのソフトウェアを不正にコ ピーすることは法律で禁止されています。 また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸 したり、人からソフトウェアを借りてコピー して使うことは原則として禁じられていま す。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお 読みのうえ、お使いください。

DVD-RWドライブおよびDVD-ROMドライブ(PCV-RX76)の地域 番号(リージョンコード)書き換え について

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地 域番号は「2」(日本)に設定されています。一 部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換 える機能がありますが、お使いにならないで ください。この機能をお使いになった結果生 じた不具合につきましては、保証期間内でも 有償修理とさせていただきます。

データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書 などのデータは、定期的にバックアップをと るようおすすめします。データの損失につい ては、一切責任を負いかねます。

ソフトウェアと周辺機器の動作に ついて

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT 互換機用などと表記している市販ソフトウェ アや周辺機器の中には、本機で使用できない ものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフト ウェアおよび周辺機器の販売元にご確認くだ さい。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用され た場合の不具合や、その結果生じた損失につ いては、一切責任を負いかねます。

お手入れ

本機やディスプレイのお手入れ

本機やディスプレイについたゴミやほこりな どは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コード をコンセントから抜いてからお手入れをしてく ださい。
- ぬれたもので本機やディスプレイを拭かないで ください。内部に水が入ると故障の原因となり ます。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

CD-ROM/DVD-ROMのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読
 み取りエラーの原因になります。いつもき
 れいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディス クの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防 止剤などはディスクを傷めることがありま すので、使わないでください。

DVD-RW/DVD-RまたはCD-RW /CD-Rのお手入れ

- DVD-RW/DVD-RまたはCD-RW/CD-R は、データを記録する前には絶対にクリー ナーで拭かないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などは ディスクを傷めることがありますので、使 わないでください。
- DVD-RW/DVD-RまたはCD-RW/CD-R の未記録部分にキズやほこりがあると正し いデータが記録できないことがあります。 取り扱いには充分ご注意ください。
- DVD-RW/DVD-RまたはCD-RW/CD-R は直射日光を避けて保存してください。

マウスを掃除する

マウスは長く使っていると、内部にゴミやほ こりなどがたまり、画面上のポインタが思う ように動かなくなります。この場合は、マウス の裏面のカバーを取りはずし、ボールを取り 出して内部を掃除します。



- 乾いた布で内部のゴミやほこりなどを取り 除いてから綿棒でローラー部のゴミをこす り取ってください。
- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、マウスを本機から取りはずしてからマウスを掃除してください。
- ぬれたものでマウスを拭かないでください。 内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

キーボードを掃除する

キーボードは長く使っていると、キーが汚れ たり、キーの間にゴミやほこりがたまります。 キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを 押しても目的の文字を入力できなくなった り、押したキーがへこんだまま元に戻らなく なることがあります。この場合は、キーボード を掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミや ほこりを散らしてください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- ぬれたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

保証書とアフター サービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめ のうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月です。
 カスタマー登録していただいたお客様は1
 年間となります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう l 度ご覧になってお調 べください。

それでも具合の悪いときは VAIOカス タマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の 「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧く ださい。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていた だきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であ ると判明した場合は、保証期間内であっても、 有償修理とさせていただきます。 詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要 望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引 取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き 取りにうかがい、修理完了後にお届けします。 詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートの ご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録 媒体のプログラムおよびデータは、お客様に てバックアップされますようお願いいたしま す。弊社の修理により、ハードディスクなどの プログラムおよびデータが万一消去あるいは 変更された場合に関しても、弊社は一切の責 任を負いかねますのであらかじめご了承くだ さい。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのも のの故障の場合には、プログラムおよびデー タの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性 能部品(製品の機能を維持するために必要な 部品)を、製造打ち切り後6年間保有していま す。この部品保有期間を修理可能の期間とさ せていただきます。保有期間が経過したあと も、故障箇所によっては修理可能の場合があ りますので、お買い上げ店か、VAIOカスタ マーリンク修理窓口にご相談ください。 ご相談になるときは次のことをお知らせくだ さい。

- お客さまのカスタマーID:
- 型名:保証書に記載されています。
- 製造番号:
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 購入年月日:

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、 再利用する場合があります。その際、交換した 部品は回収させていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の 手順で本機の電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

デスクトップ画面の🌇をダブルクリックする。

「サイバーサポート」が表示されます。

画面上部の VAID の楽しみかた をクリックする。

3

2

画面左から[付属ソフトウェアの一覧]をクリックする。

ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアク セス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要 なものがあります。

インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログ オンしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場 合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管 理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。

「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の 37 スタート をクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のへ ルプをご覧ください。

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

クリエーション

Adobe[®] Photoshop[®] Elements (静止画加工) アドビシステムズサポート契約センター 電話番号:(03)5350-8688 初回コールより90日間の無料サポート。以降 は同社による有料サポートメニューが用意さ れています。

□ Adobe[®] Premiere[®] 6.0 日本語版 (PCV-RX76のみ)(動画編集)

アドビシステムズ サポート契約センター 電話番号:(03)5350-8688 初回コールより90日間の無料サポート。以降 は同社による有料サポートメニューが用意さ れています。

□ Adobe[®] Premiere[®] 6.0 LE 日本 語版(PCV-RX66のみ) (動画編集)

アドビシステムズ サポート契約センター 電話番号:(03)5350-8688 初回コールより90日間の無料サポート。以降 は同社による有料サポートメニューが用意さ れています。

 DigiOnSound2 L.E. for VAIO (PCV-RX76のみ) (サウンド編集)

株式会社デジオン 電話番号:(092)833-6279 ファックス番号:(092)833-6278 電子メール:info@digion.com

 DigitalPrint Version 1.1 (アルバム /ラベル作成・プリント)

VAIOカスタマーリンク

DVDit! for VAIO (MPEGオーサリングソフト) 三信電気株式会社

DVDit! サポートセンター 電話番号:(03)5232-5065 受付時間:10時~12時、13時~17時、月曜日 ~金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 電子メール:DVD-IT@sanshin.co.jp ホームページ:http://jp.dvdit.com/dvdit/

- DVgate Version 2.5
 (デジタルビデオ動画/静止画入 出力/簡易編集)
 VAIOカスタマーリンク
- MovieShaker Version 3.3 (動画編集)
 VAIOカスタマーリンク
- PictureGear Version 5.1 (画像管理)
 VAIOカスタマーリンク
- PictureToy Version 1.1
 (静止画加工)
 VAIOカスタマーリンク
- RecordNow DX
 (DVD/RW・CD-R/RW ライティン グソフトウェア) http://www.easy.co.jp/jrndx/sony/
- □ VAIO Edit Components (Adobe Premiere 6.0プラグイン) VAIOカスタマーリンク
- 編集用素材CD-ROM

 (「編集ガイドブック」に付属)
 (PCV-RX76/RX66のみ)
 (素材集)

 VAIOカスタマーリンク

オーディオ&ビジュアル

- Giga Pocket Version 4.6
 (テレビ録画/管理/再生)
 VAIOカスタマーリンク
- iRCommander(Giga Pocket リ モート予約)
 ソニーコミュニケーションネットワーク株式 会社 テレビ王国
 電子メール:tv@so-net.ne.jp
 URL:http://www.so-net.ne.jp/tv/
- PicoPlayer Version 5.0
 (Giga Pocket専用ビューワー/ コントローラー)
 VAIOカスタマーリンク
- □ PowerDVD[™] XP for VAIO (DVDビデオ再生)
 VAIOカスタマーリンク
- QuickTime 5(動画再生)
 VAIOカスタマーリンク
- RealPlayer 8 Basic(動画再生)
 リアルネットワークス株式会社 サポートセンター
 電話番号:(03)5302-2313
- Simple DVD Maker Version 1.2
 (Giga Pocket DVDオーサリング ソフト)
 VAIOカスタマーリンク
- SonicStage Version 1.2 for VAIO (音楽ファイル管理/再生)
 VAIOカスタマーリンク
- ❑ Windows Media[™] Player 8
 (音楽・動画再生)
 VAIOカスタマーリンク

ホームネットワーク

VAIO Media Launcher
 (音楽・動画・静止画ポータル)
 VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

- Microsoft[®] Internet Explorer 6 (インターネットブラウザ)
 VAIOカスタマーリンク
- Microsoft[®] Outlook Express 6 (電子メール)
 VAIOカスタマーリンク
- Q-ze Talk (キュゼ・トーク)
 Version 1.2
 (ビジュアルチャット)
 VAIOカスタマーリンク
- Smart Capture Version 4.3 (画像取り込み/再生)
 VAIOカスタマーリンク
- URecSight Version 2.2 (インターネット放送)
 VAIOカスタマーリンク

□ インターネット接続サービス/ ブロードバンド常時接続サービ スご紹介 ■ AOL 7.0 for Windows (サービスプロバイダ) 株式会社ドコモAOL AOLメンバーサポート センター 受付時間:9時~21時(土・日・祝日もOK) 会員サポート・入会問い合わせ: (0120)275-265(フリーダイヤル) 携帯電話および国際電話によるサポート: (03)5331-7400電子メール: AOLJapanMS@aol.com ■ DION オンラインサインアッププログラム (サービスプロバイダ) KDDIカスタマサービスセンター サービス内容に関するお問い合わせ 電話番号:(0077)7192(無料) 受付時間:9時~12時(土・日・祝日も受付中) 接続・設定などに関するお問い合わせ 電話番号:(0077)20227(有料、全国一律1分 10円) 上記番号につながらない場合は札幌(011) 232-7012 / 東京(03)5348-3975(有料) ADSLコースのサービス内容、接続・設定など に関するお問い合わせ 電話番号:(0077)7084(無料) ■ @nifty でインターネット (サービスプロバイダ) ニフティ株式会社 @ nifty 入会センター 電話番号:(0120)816-042(フリーダイヤル) 携帯・PHS・国際電話の場合:(03)5753-2374 (電話料金はお客様ご負担となります) 受付時間:毎日9時~21時 (ビルの電源工事などによりお休みさせてい ただく場合があります。) ■OCNスタートパック for Windows (サービスプロバイダ) OCNインフォメーションデスク 電話番号:(0120)047-815(フリーダイヤル) 受付時間:9時~21時(月~金曜日) 9時~17時(土曜日·日曜日·祝日) 電子メール:info@ocn.ad.jp ■ODNスターターキットソフトウェア (サービスプロバイダ) 日本テレコム株式会社 ODNサポートセン ター 電話番号:0088-86(無料 ODNダイヤルアッ プサービス) 0088-222-375(無料 J-DSL フレッツADSL

■ぷらら入会/接続ソフト(P'zDialer) (サービスプロバイダ) 株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイ ヤル 入会専用:(0120)488912(スバヤクイージー) テクニカル: (03) 5954-5311 ■ So-net簡単スターター (サービスプロバイダ) So-netインフォメーションデスク 電話番号:(0570)00-1414(全国共通) 携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへ おかけください。 札幌(011)711-3765/仙台(022)256-2221/ 東京(03)3446-7555/名古屋(052)819-1300 /大阪(06)6577-4000/広島(082)286-1286 /福岡(092)624-3910 受付時間:10時~21時 年中無休 ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各 種会員情報の変更方法や課金状況の確認など のお問い合わせは、上記の電話番号のほか、 ファックスや電子メールでも承ります。また、 ホームページでもご確認いただけます。 ファックス番号:(03)3446-7557 電子メール: info@so-net.ne.jp ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/ access/ ■イー・アクセス ADSL スターターキット (サービスプロバイダ) イー・アクセス株式会社 電話番号:(0120)2754-37 受付時間:10時~18時(毎日) 電子メール: info@eaccess.net ■インターネットするなら BIGLOBE (サービスプロバイダ) BIGLOBEカスタマーサポート インフォ メーションデスク 電話番号:(0120)86-0962(フリーダイヤル) 携帯電話·PHS·CATV電話:(03)3947-0962 受付時間:24時間365日 電子メール:お問い合わせは以下のフォーム をご利用ください。 http://support.biglobe.ne.jp/ask.html ホームページ:http://support.biglobe.ne.jp/

プラン)

リファレンスツール

- Adobe[®] Acrobat[®] Reader 5.0J
 (PDFビューワー)
 VAIOカスタマーリンク
- MapCutter Version 2.0 (CLIE 用地図切り出しツール)
 VAIOカスタマーリンク
- Navin' You Version 5.5
 (デジタルマップナビゲーター)
 VAIOカスタマーリンク
- Navin' You専用グルメ&ドライブ スポット 327 by Walkerplus.com
 株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集 制作部 ファックス番号:(03)3234-4613
 電子メール:webmaster@walkerplus.com

Navin' You専用マップ2

サンプル版

株式会社ゼンリン お客様ご相談窓口 電話番号:(03)5259-5077 受付時間:10時~12時/13時~17時 月~ 金(祝日は除く)

□ 乗換案内 時刻表対応版

(電車交通案内)

乗換案内ユーザーサポート 電話番号:(03)5369-4055 受付時間:10時~12時/13時~17時 月~金曜日(祝日は除く)

ユーティリティ

Norton AntiVirus 2002 (ウイルスチェッカー) シマンテックテクニカルサポートセンター 電話番号:(03)3476-1118 受付時間:平日10時~12時、13時~17時 (土・日・祝日・年末年始を除く) FAX: (03) 3477-1118 なお、上記サポートセンターをご利用いただ くためには以下のシマンテックホームページ にてカスタマーIDの取得が必要です。 http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html カスタマーID取得に関するお問い合わせ シマンテックカスタマーサービスセンター 電話番号:(03)3476-1156 受付時間:平日10時~12時、13時~17時 (土・日・祝日・年末年始を除く) FAX: (03)3476-1159

ご注意

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回 起動時より180日間無償でウイルス定義ファ イル(ワクチンファイル)のアップデートがで きます。それ以降は、ウイルス定義ファイルの アップデートは有償になります。新種のウイ ルスに対応するため、ウイルス定義ファイル は常に更新することをおすすめします。 テクニカルサポート提供期間はウイルス定義 ファイル無償更新期間と同じく180日間とな ります。 ウイルス定義ファイルの有償アップデートに ついて詳しくは、以下のシマンテックホーム ページをご覧になり、お申込みください。 http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html ウイルス定義ファイルの有償アップデートの お申込みについては、下記にお問い合わせく ださい。 ショップシマンテック 電話番号:(03)3476-1192 ファックス: (03)3780-9988 電話受付時間:月~金10時~12時、13時~17 時(土・日・祝日・年末年始を除く)

- VAIO Action Setup Version 1.4 (アプリケーション等起動設定)
 VAIOカスタマーリンク
- VisualFlow Version 2.1
 (メディアブラウザー)
 VAIOカスタマーリンク

- アナログ DV コンバータ (PCV-RX76/RX66のみ)
 VAIOカスタマーリンク
- システム情報
 VAIOカスタマーリンク

カスタマーサポートツール

 CyberSupport Version 3.5 for VAIO(VAIOマニュアル) VAIOカスタマーリンク

その他

 Grami Best Selection / Grami Stick (ご紹介コンテンツ)
 サイバージーンドットコム株式会社

Gramiお問い合わせ窓口 電子メール:info@grami.ne.jp 受付日時:月曜〜金曜(回答も平日のみとさせ て頂きますのでご了承ください。)

 UI Design Selector
 (VAIOオリジナルGUIセット アップ)
 VAIOカスタマーリンク

VAIOオンラインカスタマー登録 (オンラインカスタマー登録)

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク 電話番号:(03)5977-7255 受付時間:月曜〜金曜日 10時〜18時 (土曜、日曜、祝日、年末年始を除く) できるWindows XP for VAIO (マニュアル)
 インプレスカスタマーセンター

□ オンラインサービスご紹介

電話番号:(03)5213-9295

■インプレスダイレクト
 電話番号:(03)5275-9051
 受付時間:10時~12時、13時~17時30分
 (土・日・祝日は除く)
 電子メール:sales@ips.co.jp
 ■UPGRADE AREA(アップグレードエリア)

OF ORADE AREA() ソンノレートエンター
 ソニースタイルカスタマーセンター
 電話番号: (03) 5783-1254
 電子メール:
 vaio-upgradecenter@sony.co.jp

■ソニースタイル

ソニースタイルカスタマーセンター 電話番号:(03)5783-1122 受付時間:10時~18時(土・日・祝日・年末年始 は除く) 電子メール:info@jp.sonystyle.com

■イメージステーション

ソニースタイルカスタマーセンター 電話番号:(0466)30-3012 受付時間:10時~18時(土・日・祝日・年末年始 は除く)

■パーキャスTV

ソニースタイルカスタマーセンター 電話番号:(0466)30-3012 受付時間:10時~18時(土・日・祝日・年末年始 は除く) 電子メール:info@imagestation.jp

■ gu mantan WEB

デザインエクスチェンジ株式会社 DEXインフォメーション 電子メール:info@dex.ne.jp

Webpocket

ウェブポケットカスタマーセンター 電子メール:wp-info@webpocket.net 受付時間:10時~18時(土・日・祝日・年末年始 は除く)

■イープラス

(株)エンタテインメントプラス
 ホームページ:http://eee.eplus.co.jp/
 電話番号: (03)5749-9911

■ Norton AntiVirus ウイルス定義ファイル購入

ウイルス定義ファイルの有償アップデートに ついて詳しくは、以下のシマンテックホーム ページをご覧になり、お申し込みください。 http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html ウイルス定義ファイルの有償アップデートの お申し込みについては、下記にお問い合わせ ください。 ショップシマンテック 電話番号:(03)3476-1192 FAX:(03)3780-9988 電話受付時間:月~金10時~12時、13時~17 時(土・日・祝日・年末年始を除く)

□ リカバリディスク

VAIOカスタマーリンク

主な仕様

モデル	PCV-RX76	PCV-RX66	
OS	Microsoft [®] Windows [®] VD Home Edition		
プロセッサー			
*****	- 100 / DFendulin 4 2日ビッサー 2.55 GHZ		
	1次キャッシュ 12KU 10节 美行トレースキャッシュ - 78	KB・テータキャッシュ/2次キャッシュ512KB(CPU内蔵)	
	インテル 850		
	533MHz		
	512MB/1GB(FSB533約版 RDRAM PC800-40約版)	256MB/1GB(FSB533对応 RDRAM PC800-40对応) 3	
拡張メモリースロット(空きスロット数)	RIMMスロット(RDR	AM 184ビン)×4(2)	
グラフィックアクセラレーター	NVIDIA GeForce4™ MX4	440(AGP 4×モード動作)	
ビデオメモリー	64MB(DD	R SDRAM)	
表示モード (RGB接続時) ^{*5}	1677万色(1600×1200、1280×1024	I、1024 × 768、800 × 600、640 × 480)	
表示モード (DVI接続時) ^{*5}	1677万色(1280×1024、1024	× 768、800 × 600、640 × 480)	
フロッピーディスクドライブ	3.5型(1.44MB	∕720KB ^{*6})×1	
ハードディスクドライブ	約160GB(Ultra ATA/100) Cドライブ約20GB/Dドライブ約	約120GB(Ultra ATA/100) Cドライブ約15GB/Dドライブ約	
	140GB*7	105GB*7	
MPEG映像録画時間(最大) ^{*8}	高画質 約38時間/標準 約75時間/長時間 約205時間	高画質 約28.5時間/標準 約56.5時間/長時間 約154時間	
DV録画記録時間(最大) ^{*8}	約10時間	約7時間30分	
	DVD-RW ドライブ	DVD-RW ドライブ	
	 ○書送込お:最大8倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)¹⁹、 最大2倍速(DVD-R)¹⁰,等倍速(DVD-RW)¹¹ ・読み出し:最大24倍速(CD-ROM·CD-R·CD-RW)、最大6倍速 (DVD-ROM)、最大2倍速(DVD-R·DVD-RW) Buffer underrun防止機能:CD-R/RW、DVD-R/RW書込時有効 DVD-ROMドライブ CD最大40倍速 	 まさ込み:最大8倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)¹⁹、 最大2倍速(DVD-R)¹¹⁰、等倍速(DVD-RW)¹¹¹ 読み出し:最大24倍速(CD-ROM・CD-R・CD-RW)、最大6倍速 (DVD-ROM)、最大2倍速(DVD-R-10VD-RW) Buffer underrun防止機能: CD-R/RW、DVD-R/RW書込時有効 	
外部接続端子(背面)	 キーボード (PS2, MinDIN×1) マウス (PS2, MinDIN×1) シリアル (RS-232C, D-sub 9ビン×1) パラレル (D-sub 25ピン×1) USB ×2 オーディオ入力 (ライン入力:ステレオミニジャック×1、マイク入力:モノラル、ミニジャック×1) ヘッドホン出力 (ステレオミニジャック×1) マッドホン出力 (ステレイミニジャック×1) マットワーク コネクター (100BASE-TX/10BASE-T×1) ディスアレイ出力 (VGA タイブ, D-sub 15 ピン×1 / DVIタイブ×1)^{*12} 光デジタルオーディオ出力×1 モデム用モジュラージャック×2 (LINE, TELEPHONE) ILINE SAUG(6ビン)×1 		
MPEG2リアルタイムエンコーダーボード用接続端子(背面)	 ビデオ入出力(ビデオ・Sビデオ共用特殊端子、MiniDIN、IN×1/OUT×1) オーディオ入出力(ステレオ、ミンジャック、IN×1/OUT×1) TUアンデキンカ(ZOC) E利コネクター×1 		
外部接続端子(前面)	USB × 2 ・ iLINK \$400(4ピン)×1 ・ MPEG2リアルタイムエンコーダーボード用入力端子 (ビデオナルビデオル・コージーボード用入力端子		
メモリーフティックフロット *13	メモリースティ	ックスロット×1	
	iypeil へ に ・ ビデナキャプチャ機能(ビデナ3 カー MDEC II マルタイト 赤海爆然	<	
	 C J オイドッグ 戦略に C J オノムカーMFEG J カルター A 2 実験(数) T Vチューナー付き (VHF 1 ch-12ch, UHF 1 sch-62ch, UHF 1 sch		
拡張スロット(空きスロット数)	PCI × 3 (1)*1	⁵ AGP × 1 (0)	
拡張ベイ (空きベイ数)	3.5インチ(ハードディスク用)×2(1)、5インチ×2(0)	3.5インチ(ハードディスク用)×2(1)、5インチ×2(1)	
オーディオ機能	AC97準拠オーディオ、3Dオー	ディオ (Direct Sound 3D)対応	
内蔵モデム	最大56kbps(V.90/K56flex™)* ¹⁶ /最大	33.6kbps(V.34)/最大14.4kbps(FAX時)	
キな付属品	「付屋品を確かめる」(24	ページ)をご覧ください。	
雪酒 王····································	11)周田で唯かのつい4ペーン/をご見ください。		
	約85W(最大約300W)/フタンバイ時約3W	約851//(最大約3001//) /フタンパイ時約31//	
(175-10-7) (175-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11		#305W (取入小3500W)/ ヘランハー 町ボ35W	
	K 区方 0.000469	下区方 0.000498	
た作用買電流	3.	の	
电応ての心	LLINK モ源エル・10~12~ 6W(合計) 動作温度:10 ℃~35 ℃(温度勾配10℃(時)以下、動作温度:40%~80%(結露のないこと)、保存 温度:-20℃~60℃(温度勾配10℃(時)以下、温度湿度20%~80%(結露のないこと)		
	約13.5kg(本体) / 約1.65kg(キーボード)	約12.5kg(本体)/約1.65kg(キーボード)	
対応ディスプレイ	PCVD-17SD1/S、PCVD-15XD6/Sなど		
増設メモリモジュール	PCVA-MM512X		

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

*1 2次キャッシュメモリーを512KBに増やした新型コアを採用したPentium[®] 4 2GHzの呼称です。

2 泉大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する問題を不要にします。
3 標準実装されている128MBメモリーモジュールと検を取り外し、512MBメモリーモジュール4枚(PCVA-MM512D)を3枚増設した場合です。
4 標準実装されている256MBメモリーモジュールを取り外し、512MBメモリーモジュール(PCVA-MM512D)を3枚増設した場合です。

*5 本体から出力可能な表示モードです。付属ディスプレイにより表示できない場合があります。

*6 720KBの読み書きは可能ですが、フォーマットはできません。

7 200kDの認が音におり取くタガイスライトは、Cese Live
 7 1GBを 10億パイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを 1,073,741,824パイトで計算しています。Windows起動時に認識できる容量は、PCV-RX76では約149GB(Cドライブ:約19GB,Dドライブ:約130GB)、PCV-RX66では約111GB(Cドライブ:約14GB,Dドライブ:約97GB)、PCV-RX56では約74GB(Cドライブ:約14GB,Dドライブ:約60GB)となります。ファイルシステムはNTFSです。

*8 記録可能な MPEG映像、および AVI (DV) ファイルの容量は、映像の内容によって多少前後することがあります。
	201/201/20
モテル	PUV-RX5b
US	Microsoft [®] Windows [®] XP Home Edition
プロセッサー	インテルPentium [®] 4 プロセッサー 2A GHz ^{*1}
キャッシュメモリー	1次キャッシュ 12Kμ命令 実行トレースキャッシュ ^{*2} /8KB・データキャッシュ/2次キャッシュ512KB(CPU内蔵)
チップセット	SiS650チップセット
システムバス	400MHz
メインメモリー(標進/最大)	256MB /1 5GB (DDR SDRAM DDR266转标)*4
が得くエリーフロット(空きフロット数)	
「「「「「「」」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	
クラブイックアクセラレーダー	SIS 650チックセット内蔵
ビデオメモリー	32MB(メインメモリー共有)
表示モード (RGB接続時) ^{*5}	1677万色(1280×1024、1024×768、800×600、640×480)
表示モード (DVI接続時) ^{*5}	1677万色(1280×1024、1024×768、800×600、640×480)
フロッピーディスクドライブ	3.5型(1.44MB/720KB ^{*6})×1
ハードディスクドライブ	約80GB(11)tra ATA/100) C ドライブ約15GB / D ドライブ約65GB ⁷⁷
MPEG映像發画時間(最大) ^{*8}	高画質 約17.5時間/標準 約35時間/長時間 約95.5時間
	約4時間40分
	لار به البالغاني
	DVD-RWF747 = 書さ込み: 最大2倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW) ^{*9} 、最大2倍速(DVD-R) ^{*10} 、等倍速(DVD-RW) ^{*11} • 読み出し:最大24倍速(CD-ROM·CD-R·CD-RW)、最大6倍速(DVD-ROM)、 最大2倍速(DVD-R·DVD-RW) Buffer underrun防止機能:CD-R/RW,DVD-R/RW書込時有効
外部接続端子 (背面)	 キーボード (PS/2, MiniDIN×1) マウス (PS/2, MiniDIN×1) シリアル (RS-232C, D-sub 9ビン×1) バラレル (D-sub 25ビン×1) USB×2 オーディオ入力(ライン入力:ステレオミニジャック×1、マイク入力:モノラル、ミニジャック×1) ヘッドホン出力(ステレオミニジャック×1) ネットワークコネクター(100BASE-TX/10BASE-T×1) ディスプレイ出力 (VGAタイプ、D-sub 15 ピン×1 / DV/タイプ×1)^{*12} モデム用モジュラージャック×2 (LINE、TELEPHONE) LLINK S400(6ピン)×1
MPEG2リアルタイムエンコーダーボード用接続端子(背面)	 ビデオ入出力(ビデオ・Sビデオ共用特殊端子、MiniDIN、IN×1/OUT×1) オーディオ入出力(ステレオ、ミニジャック、IN×1/OUT×1) TVアンテナ入力(75Ω、F型コネクター×1)
外部接続端子(前面)	 USB × 2 i.LINK S400(4ピン)×1 MPEG2リアルタイムエンコーダーボード用入力端子 (・ビデオ入力:ビデオ×1、Sビデオ×1 ・オーディオ入力:ピンジャック、ステレオ×1)
メモリースティックスロット ^{*13}	メモリースティックスロット×1
PCカードスロット	Typell × 1, CardBus対応
MPEG2リアルタイムエンコーダーボード	 ビデオキャブチャ機能(ビデオ入力→MPEGリアルタイム変換機能) TVチューナー付き(VHF 1ch-12ch, UHF 13ch-62ch, CATV C13-C63^{*14}、ステレオ、2か国語) S・ビデオ、コンポジット入出力端子(入力2系統、出力1系統) オーディオ入出力端子(入力2系統、出力1系統) 圧縮モード(WHEG2 8Mbps 720 × 480 30fps)約17分/1GB - 標準モード(MPEG2 4Mbps 720 × 480 30fps)約134分/1GB - 長時間モード(MPEG1 1.41Mbps 352 × 240 30fps)約94分/1GB
拡張スロット(空きスロット数)	PCI × 3 (1) ^{*15} AGP × 1 (0)
拡張ベイ (空きベイ数)	3.5インチ(ハードディスク用)×2(1)、5インチ×2(1)
オーディオ機能	AC97準拠オーディオ、3Dオーディオ (Direct Sound 3D)対応
内蔵モデム	最大56kbps(V.90/K56flex™) ^{*16} /最大33.6kbns(V.34)/最大14.4kbns(FAX時)
主な付属品	「付風品を確かめる」(34ページ)をご覧ください。
	AC100V + 10% / 50~ 60Hz
"醫療"	約70W/最大約300W/ フロックシバイ店約3W
17月17日	
上 イルナー 消費 刈半 一 佐 ※ 東美法	K区分 U.UU05b3 2 CA
定格消費電流 電源その他	3.54 LLINK電源出力:10~12V 6W(合計)動作温度:10℃~35℃(温度勾配10℃/時)以下、動作湿度:40%~80%(結露のないこと)、保存 温度:20℃~60℃(温度勾配10℃/時)以下、温度湿度20%~80%(結露のないこと)
本体外形寸法	本体::幅203mm × 高さ366mm × 奥行371mm (突起物を除く) キーボード:幅420mm × 高さ48mm × 奥行180mm
質量	約12.5kq(本体)/約1.65ka(キーボード)
対応ディスプレイ	PC/D-17SD1/S. PC/D-15XD6/Sなど
他歌マエリエジュール	
「自民ノレノナン」」と	

^{*9} High Speed対応CD-RWディスクへの書き込みは対応していません。

*10 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*11 DVD-RWはDVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

¹² 本機のDVI端子は、専用ディスフレイPC/LV/201/S-15XDe/S で勤作を確認しています。また、別売りのソニー製ディスフレイでの動作確認状況は、ソニー・コンピューターディスプレイホームページ (http://www.sony.co.jp/sd/products/Consumer/Peripheral/Display/)をご覧ください。

(http://www.sony.co.jp/sdproducts/Consumer/Perpheral/Usplay/)をご覧くたさい。
 ^{*13} 画像ファイルなど、通常のファイルデータの読み出し/書き込み専用です。「マジックゲートメモリースティック」に著作権保護(暗号化)を施して記録された音声ファイルは、このスロットに装備した状態で再生することはできません。
 ^{*14} CATVの受信はサービス(放送)の行われている地域のみ受信可能です。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。ましくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。
 *15 かし、クーマーマーグ、ビンマママク、第レくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。

*15 ボード長が23cmを超えるPCIボードは装着できません。

*16 56kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は 33.6kbpsが最大速度になります。



【ア行】

アイコン79
アクセスポイント113
アクティブスピーカー 46, 60, 172
アクティブなウィンドウ83
アドレスバー141
アナログ入力275
アンテナコネクタ39,40,54
イーサネット226
インターネット101
トラブル104
インターネットサーバー136
インターネットサービス
プロバイダ103
インターネット接続サービス
ワイルス
ワインドウ
切り替える82
最小化83
サイズを変える83
最大化83
閉じる83
開く82
ウェブブラウザ103, 139
映像入力/出力コネクタ
液晶ディスプレイ44
取り扱いについて274
エラーメッセージ205
オフライン作業147
オンラインサインアップ108

【カ行】

拡張デバイスベイ	
取り付ける	
取りはずす	
拡張ボード	
空きスロット	
種類	
増設する	
取り付ける	
取りはずす	
プラグアンドプレイ	231
PCI拡張ボード	
各部のなまえ37,	78, 80, 82
カスタマーご登録	
トラブル	
カタカナ入力	
かな入力	

画面

ЩЩ	
トラブル171	
キーボード	
お手入れ279	
接続47	
トラブル173	
文字の入力86	
結露274	
ごみ箱78,85	
コンピュータウイルス 104, 260	

【サ行】

再セットアップ	262
サイバーサポート5,	152
受信メールサーバー	115
シリアルコネクタ39	9, 40
スクロールバー	82
スタートボタン	78
スピーカー	
トラブル	172
スロット	
拡張メモリ	236
接続	44
アクティブスピーカー	46
アンテナ	54
キーボード	47
ディスプレイ	44
デジタル機器	224
デジタルビデオカメラ	
レコーダー	210
テレビ	219
電源コード	
雷話回線	48
ビデオカメラレコーダー	0
	216
ビデオデッキ57.	216
プリンタ	220
マウス	47
ISDN回線	51
i.LINK対応機器	210
USB機器	221
設置	42
送信メールサーバー	116
〜 <u>「」</u> 、 アの不正コピー ^{本」}	
	276

【夕行】

ターミナルアダプタ	51, 102
タイトルバー	82
ダイヤルアップ接続	114
タスクトレイ	78
タスクバー	78, 83
断片化	270
チルダ	173
ツールバー	82

ディスプレイ
お手入れ278
接続44
トラブル168
デジタルビデオカメラ
レコーダー210
デバイス
増設する251
取り付ける251
取りはずす255
デフラグ(最適化)270
テレビ
地域設定68
テレビにつなぐ
テレビを見る準備をする …66
トラフル168
電源
電源ホタン
電源フンノ
電源を入れる
电标を切る
电丁マーユアル
電士メール
電」スールアドレス
電子メールソフトウェア
トラブル104
やりとりする146
電話回線
電話回線ジャック
電話機ンヤック 39 40 48 50
動画系ソフトウェアの操作の流わ
1111111111111111111111111111111111111
動画/静止画編集
トラブル
トーン式ダイヤル 98 114
ドライバ 220 226 232
トラブルの解決方法 162

【ナ行】

ネゴシエーション	196
ネットワーク	223
ネットワークカード	226
ネットワークコネクタ	223

【八行】

パーティション27	0
ハードディスク	
ドライブを増設する24	5
トラブル17	7
取り扱いについて27	5
取り付ける24	5
取りはずす24	7
バックアップをとる27	5
ハードディスクアクセスランプ	
	8
パームレスト4	7
パスワードリマインダー9	6
パルス式ダイヤル	4
ビデオカメラレコーダー21	6
ビデオデッキ56, 57, 21	6
ひらがな入力8	6
ファイル8	4
削除8	5
ファイルを作る8	4
フォルダを作る8	4
フォルダ8	4
複数ユーザー6	4
付属ソフトウェア	1
付属品3	4
プラグアンドプレイ23	1
プリンタ	0
フロッピーディスク	Ũ
アクセスランプ	8
イジェクトボタン37, 3	8
トラブル17	6
取り扱いについて27	6
フロッピーディスクドライブ	
	8
プロバイダ103, 108, 11	1
ヘッドホンコネクタ 39, 40, 4	6
ヘルプ16	0
ヘルプとサポートセンター6	5
ポインタ8	1
ホームページ13	9
【マ行】	

マイクロホンコネクタ39,	40
マウス	
お手入れ	278
クリック	. 80
接続	.47
ダブルクリック	. 80
ドラッグ	. 80
ドラッグアンドドロップ	. 80
トラブル1	175
ホイールボタン	. 80
ポイント	. 81
マウスコネクタ39,40,	47
マウスの操作	. 80
右クリック	. 80

無線LANカード	226
メニューバー	82
メモリ	229
増設する	236
メモリモジュール	236
メモリースティック	
アクセスランプ	37, 38
メモリカード	
メモリモジュール	
増設する	
取り付ける	236
取りはずす	244
文字入力	86
トラブル	
モデム	
モデム/インターネット	
トラブル	
モニタコネクタ	39, 40, 45

【ラ行】	
ライン入力コネクタ	39, 40
リカバリディスク	
リソース	
リモコン	41, 53
トラブル	172
リモコン用受光ユニット	52
ローマ字入力	87
録画、再生	
トラブル	183

[A]

AC電源入力プラグ 39, 40, 59
ADSL51, 102, 126
AV機器
デジタルビデオカメラ
レコーダー210
テレビ219
ビデオカメラレコーダー
216
ビデオデッキ216
AVマウス機能付きスカイ
パーフェクTV!
(CSチューナー)/
BSデジタルチューナー
57, 58

(B)

BIOS	
------	--

[C]

CD-ROM	
お手入れ	278
トラブル	178
取り扱いについて	276

CD-RW/CD-R

お手入れ	278
トラブル	182
取り扱いについて	276
CyberSupport for VAIO	5, 152

(D)

DVD-ROM

お手人れ2	78
トラブル1	78
取り扱いについて2	76
DVD-ROMドライブ	37
DVD-RWドライブ37,	38
DVD-RW / DVD-R	
お手入れ2	78
トラブル1	81
取り扱いについて2	76

【H】

HTML .		132
--------	--	-----

[]

IRQ	229
ISDN回線51,	102
ISP103,	119
i.LINK	
つなぐ	210
データをやりとりする	
210,	214
トラブル	182
i.LINKケーブル	212
i.LINKコネクタ	
	210
i.LINKコネクタ	211
I/Oポート	230

[L]

(M)

37. 38
Microsoft Internet Explorer
MO225
MS-IMEツールバー86

(N)

Norton AntiVirus260

[0]

OPTICAL OUTコネクタ
OS63, 104
Outlook Express 103, 130, 146

(P)

PCカード225, 2	226
PCカードスロット	
	227
PCI拡張ボード	229
PPP	113

[S]

SCSI	
Smart Connect	214

[U]

URL 1	41
USB機器2	221
USBコネクタ	
37, 38, 39, 40, 51, 52, 2	221

[V]

VAIOカスタマーご登録	
90,	184
VAIOカスタマーリンク	
158,	160

[W]

Windows	
準備する	61
Windowsのヘルプ	65, 160

MEMO



本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書を お読みください。

商標について

- "Memory Stick" ("メモリースティック")および MEMORY STICK wは、ソニー株式会社の商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ 📙 はソニー株式会社の商標です。
- •「CastaDrive」、および CastaDrive はソニー株式会社の商標です。
- •「PercasTV」、および 🖉 はソニー株式会社の商標です。
- 「Webpocket」はソニー株式会社の商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または 商標です。
- IBMおよび PC/AT、PS/2 は米国 International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- ドルビー、DOLBY、ダブルD記号ロロ、AC-3およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Adobe[®], Adobe[®] Photoshop[®], Adobe Premiere[®]およびAdobe[®] Acrobat[®] Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- ダイナフォントは、DynaLab, Inc.の商標です。
- DigiOn、DigiOnSoundは、株式会社デジオンの登録商標です。
- Sonic、Sonic Solutions、DVDit!は米国 Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。
- テレビ王国、iCommand、アイコマンド、iRCommander、アイアールコマンダーは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。
- 「iモード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Copyright 1998-2002 CyberLink Corp. All rights reserved. CyberLink and PowerDVD are trademarks of CyberLink Corp.
- QuickTime and QuickTime Player are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- Recording Technology by VERITAS Software.
- 2002 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。 2002 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
 Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
 Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。 なお、本文中では[™]、[®]マークは明記していません。

VAIOホームページ

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。 ● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ VAIOの最新サポート情報をご案内します。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35 http://www.sony.co.jp/